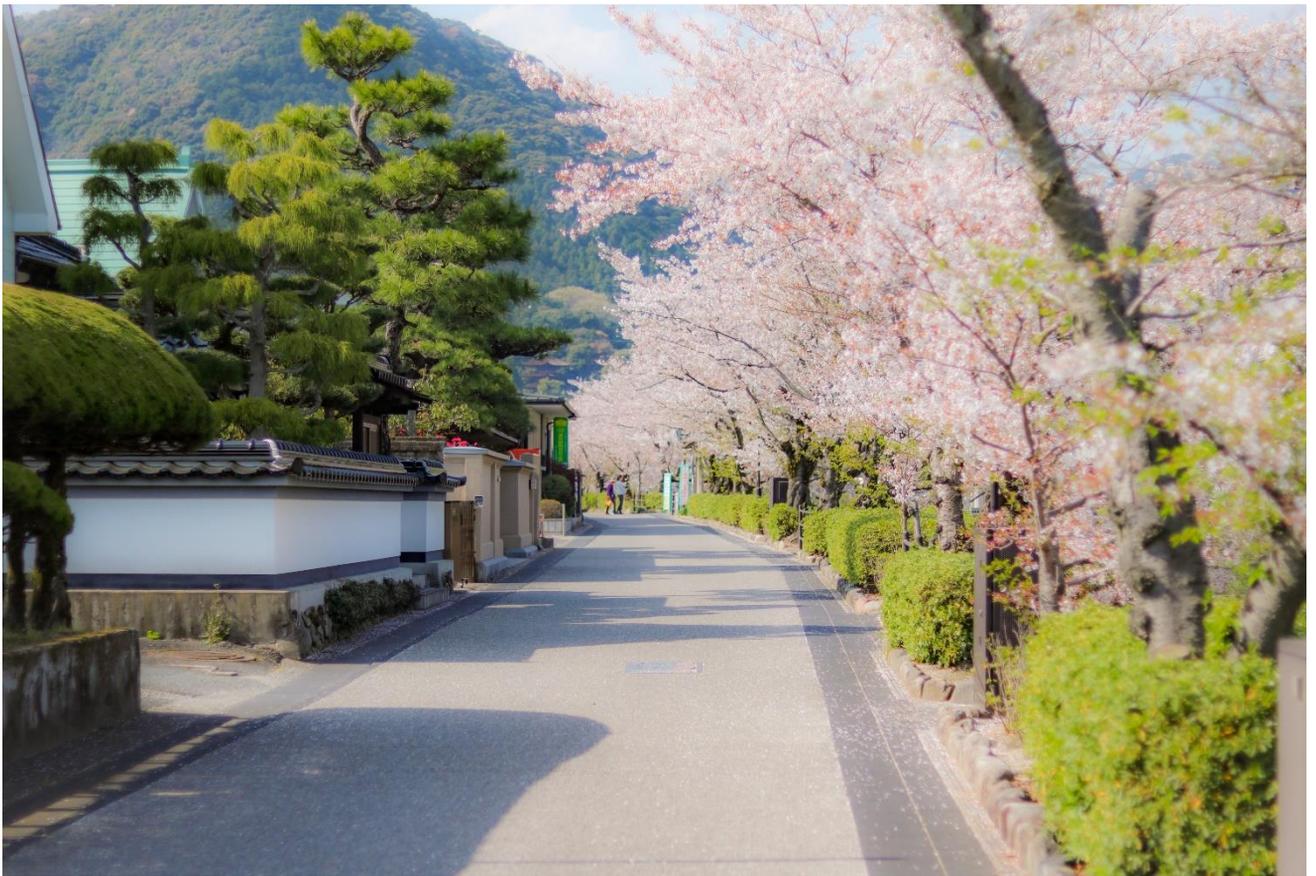


# 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 —教室年報：2021—

Department of Gastroenterological,  
Breast and Endocrine Surgery  
Annual Report 2021



一の坂川の桜並木（山口市）



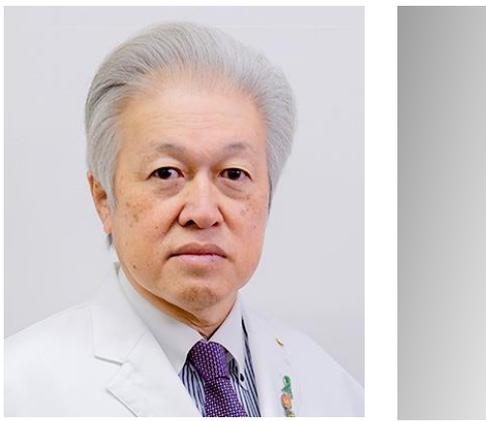
*Department of Gastroenterological,  
Breast and Endocrine Surgery  
Annual Report 2021*



# Contents



Page 1	巻頭言	教授	永野浩昭
Page 4	教室人事	医局長	飯田通久
Page 6	臨床報告（入院）	病棟医長	鈴木伸明
Page 7	臨床報告（外来）	外来医長	吉田 晋
	臨床報告（各グループ）		
Page 8		上部消化管グループ	
Page 11		下部消化管グループ	
Page 14		肝胆膵グループ	
Page 19		乳腺・内分泌グループ	
Page 21		腫瘍センター	
Page 22	教室主宰研究会開催	報告	
Page 26	教室関連研究会開催	報告	
Page 30	業績報告		
Page 31		英文論文	
Page 34		和文論文	
Page 36		国際学会発表・司会	
Page 37		国内学会発表・司会	
Page 47		地方会発表・司会	
Page 51		研究費取得状況	
Page 52		業績その他	
Page 60	Clinical and Research Conference	記録	
Page 61	研究者発表会議	記録	
Page 62	学位取得者報告		
Page 63	新入局者あいさつ		
Page 64	2021年 在籍教室員名簿		
Page 66	学会専門医・指導医・評議員リスト		
Page 68	2021年 年間行事		
Page 85	編集後記		



# 巻頭言

山口大学大学院医学系研究科  
消化器・腫瘍外科学 教授

永野 浩昭  
*Hiroaki Nagano*

2021年、主任教授として、7年目の今年、二度目の世代交代を次年度に控えて、今年から教授直轄PROJECTを二つ立ち上げた。

一つ目は、山口県独自のがん診療における「高齢者研究」を行うこととした。仮に、高齢者癌治療の実態を、NCD (National Clinical Data Base) を用いて把握しようとしても、症例数の都市・地方不均衡により、地方の実態が明らかにできる可能性は極めて低い。というのは、都市部の症例数が大部分を占めるNCDからはその実態に迫ることは不可能である。また、いわゆるHIGH-VOLUMEセンターは、治験、臨床試験による制約のため、本当の高齢者診療の実情を知ることはできない。日本で4番目の高齢県である山口県におけるこの前向き研究の結果から、高齢者に対する癌診療の指針などを提示できることを期待したい。

もう一つは、外科医の生涯教育の具現化である。というより、外科医教育のDx化に対する基盤形成といったほうが良いかもしれない。これまで、シームレスでシークエンシャルな教育を目指して、ESS、WCC、ANIMAL-LAB、CCST、などを断続的に施行してきたが、これらを学部学生、研修医、専攻医、と継続的に修練可能なシステムとするために、AIの力を借りて、VR、XRなどのTECHNOLOGYを集約し、若者にとって魅力的な教育体系の確立を目指したい。

いずれにせよ、これらのPROJECT達成のためには、教室の若手の力を結集することが何よりも肝要で、あるべき理想の姿を構築していくために、教室員一丸となって進めていきたい。

さて、2022年は、研究体制を刷新する。教室関連共同研究（寄付）講座が2022年3月に閉講することで、消化器・腫瘍外科学教室の研究体制が若返ることになる。未来に向けて永続的にRESEARCH-MINDを外科医が持ち続けることができるように、この世代交代が、若手外科医にとっての道標となることを祈りたい。

最後に、第79回日本消化器外科学会総会会長（2024年開催）が決定した。これも、日ごろの教室員の努力と同門の先生方の支援のたまものと心より感謝している。2024年7月、山口県下関の地において、日本全国の消化器外科医が“集い”、そして、消化器外科学の発展を未来へと“紡ぐ”総会にすべく、誠心誠意、準備していききたいと思っている。

## 追伸

2021年、教室が改装のため、一時期別の場所に移動していた。その時、教授室の窓につばめが巣を二つ作ってくれた。古くより“ツバメは幸福を運んできてくれる”といわれている。

なんとなく日々の楽しみと癒しになっていた。



# 医局員一同



渡邊孝啓

金城尚樹

西山光郎

木村祐太

藤原康弘

徳久晃弘

太田啓介

山田健介

中島正夫

小佐々貴博

中上裕有樹

松隈聰

鍋屋まり

鄭桓宇

兼定航

松井洋人

友近忍

徳光幸生

渡邊裕策

新藤芳太郎

中島千代

徐明

前田訓子

吉田晋

鈴木伸明

井岡達也

永野浩昭

碓彰一

武田茂

飯田通久

恒富亮一

# 日常の風景

## カンファレンス風景



## 病棟回診風景



## 外来風景



# 教室人事



山口大学大学院医学系研究科  
消化器・腫瘍外科学 医局長

飯田 通久

*Michihisa Iida*

医局長を務めさせて頂いておりますH11年卒の飯田です。令和3年1月から12月の大学の人事異動は以下の通りです。

同年4月1日付で、H20年卒の藤本拓也が済生会豊浦病院外科部長として赴任しました。1人部長として豊浦地区における救急・外科診療に奮闘しており、また大学病院との連携による地域のがん診療レベル向上にも非常に貢献してくれております。またH22年卒の山本常則先生がセントヒル病院外科部長として赴任しました。セントヒル病院では手術や化学療法等の診療に加え、大学病院のサポート診療を積極的に行ってくれております。またH25年卒の千々松日香里が阿知須共立病院医員として赴任いたしました。大学病院で得た知識、臨床経験を活かして地域での診療に励んでくれております。またH30年卒の尤曉琳が下関医療センターに、酒井豊吾が徳山中央病院に赴任いたしました。両人とも大学病院での研修期間中、診療に積極的に取り組む姿勢を見せており、各病院でも活躍してくれているとのことです。

帰学者および新入局に関してですが、同年4月1日付けで、H22年卒の藤原康弘先生がセントヒル病院から診療助教として帰学しました。前任地での1人外科部長としての経験から外科医として非常に成長しており、大学病院でも大変活躍してくれております。H26年卒の渡邊孝啓が宇部興産中央病院から、H27年卒の小佐々貴博が市立八幡浜総合病院から大学院入学にむけて帰学しました。両名ともすでに高い臨床力があるところを見せてくれておりますが、大学院での研究を経て、高い視点と広い視野をもった消化器外科としてこれからのさらなる成長を望みます。また、研究面では太田啓介と鍋屋まりが大学院に入学しました。教室の一員としての自覚を持って、根拠に基づく科学的考察力を持った消化器外科医、乳腺外科医へと成長していくことを期待しています。新入局員は、H27年卒の兼定弦とH31年卒の金城尚樹の計2名となっております。兼定 弦はH25年卒の兼定航の兄弟で四国がんセンターから新入局となっており、宇部興産中央病院でも活躍してくれているとのことです。また金城尚樹も新入局の外科専攻医として大学病院で孤軍奮闘しております。関連病院の先生方におかれましては、外科医不足でご迷惑をおかけしていますが、医局員一同入局者を増やす努力を続けていますので、今後ともよろしく願いいたします。

## 関連病院人事異動 (令和3年(2021年)1月1日から12月31日)

移動日	卒年	氏名	異動元	異動先
4月1日	S55	清水 良一	小野田赤十字病院	山口リハビリテーション病院
〃	S55	森岡 秀之	美祿市立美東病院	美祿市立美東病院 (非常勤)
〃	H2	安部 俊弘	関門医療センター	美祿市立病院
〃	H15	亀井 滄士	都志見病院	市立八幡浜総合病院
〃	H20	藤本 拓也	山口大学 消化器・腫瘍外科学	済生会豊浦病院
〃	H22	山本 常則	山口大学 消化器・腫瘍外科学	セントヒル病院
〃	H22	藤原 康弘	セントヒル病院	山口大学 消化器・腫瘍外科学
〃	H25	千々松 日香里	山口大学 消化器・腫瘍外科学	阿知須共立病院
〃	H26	渡邊 孝啓	宇部興産中央病院	山口大学 消化器・腫瘍外科学
〃	H27	小佐々 貴博	市立八幡浜総合病院	山口大学 消化器・腫瘍外科学
〃	H27	兼定 弦	入局	宇部興産中央病院
〃	H28	西田 裕紀	徳山中央病院	都志見病院
〃	H29	濱崎 太郎	下関医療センター	関門医療センター
〃	H29	堤 甲輔	市立八幡浜総合病院	関門医療センター
〃	H30	佐伯 晋吾	関門医療センター	都志見病院
〃	H30	酒井 豊吾	山口大学 消化器・腫瘍外科学	徳山中央病院
〃	H30	鈴木 有十夢	都志見病院	徳山中央病院
〃	H30	尤 曉琳	山口大学 消化器・腫瘍外科学	下関医療センター
〃	H31	金城 尚樹	入局	山口大学 消化器・腫瘍外科学

# 臨床報告（各グループ）

入院

外来

各グループ

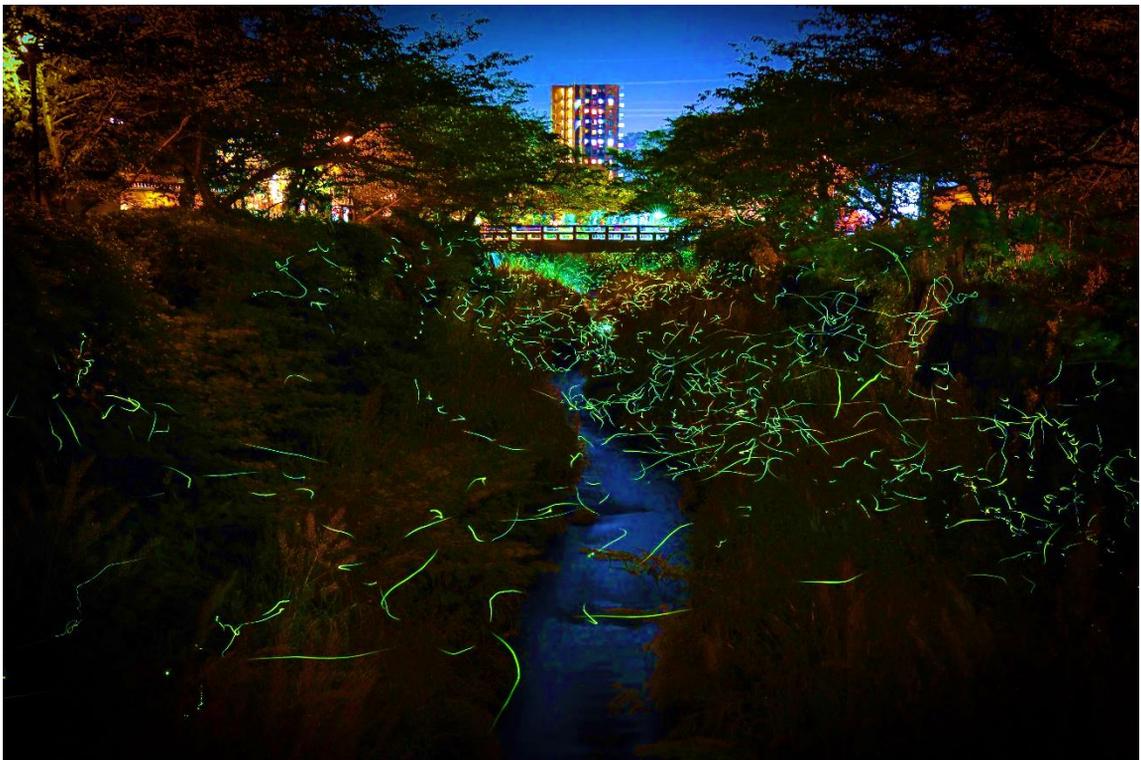
上部消化管

下部消化管

肝胆膵

乳腺・内分泌

腫瘍センター



一の坂川のホタル（山口市）

# 臨床報告 (入院)



山口大学大学院医学系研究科  
 消化器・腫瘍外科学 病棟医長

鈴木 伸明

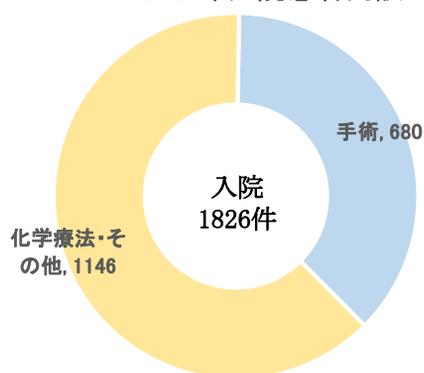
*Nobuaki Suzuki*

2021年の入院診療につきましてご紹介致します。当科では、上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺内分泌の4グループと腫瘍内科で診療体制をとっています。年間手術件数は昨年に引き続きコロナ禍の中、微増で2021年は680件(応援手術、AMEC<sup>3</sup>入院も含む)で、そのうち鏡視下手術は384件(56.5%)でした。手術症例以外では化学療法の入院患者は1昨年の井岡達也医師の赴任以来伸び続け、2021年は術前化学療法も含めて延べ1000件前後と昨年より400件程度増加しました。それに伴い、入院患者数も1826件と右肩上がりとなっています。全体の傾向として合併症のあるハイリスク症例も多く、医療安全の観点からM&M (mortality & morbidity) カンファレンスも定期的に行い診療科全体での意識や情報を統一して、医療の質の向上を心掛けています。病床稼働率はコロナ禍が引き続き影響したものの、95.6%と比較的健闘しました。平均在院日数は化学療法の短期入院が増えたため8.5日と短縮し、入院稼働額は約16.7億円と増加しました。コロナ禍の影響で手術件数は微増でしたが、手術室数は16床あり、まだまだ手術を入れる余力があります。附属病院の再整備事業による、2021年7月からのB棟の改修工事も中盤に差し掛かり、病床数はやや減ですが、看護師長はじめスタッフの涙ぐましい努力とベッドコントロールで影響を極力少なくして患者さんを受け入れる体制が整っています。コロナ禍の終息が見えない中でロシアのウクライナ侵攻と、悲嘆にくれるニュースが目立ちますが、早く元の平穏な世界が戻ることを祈念しつつ、今後も高度で安全な医療を提供できるようスタッフ一同努力致しますので、益々のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

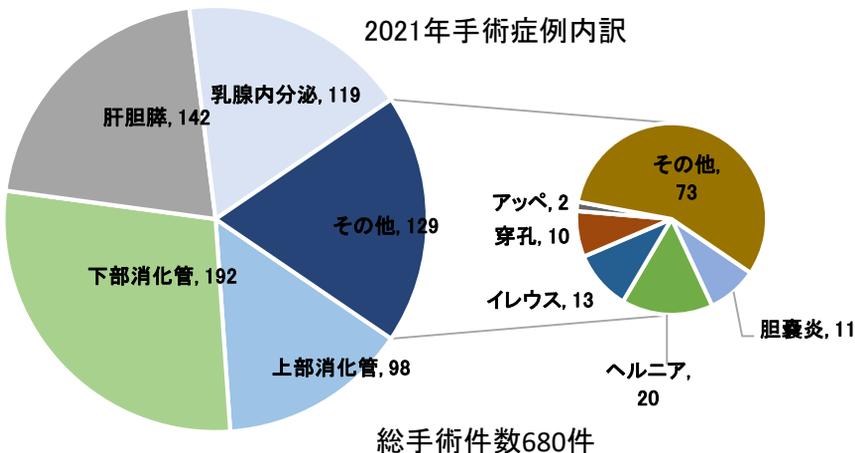
入院・手術件数推移



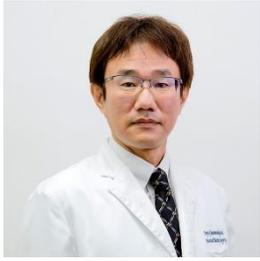
2021年入院患者内訳



2021年手術症例内訳



# 臨床報告 (外来)



山口大学大学院医学系研究科  
消化器・腫瘍外科学 外来医長

吉田 晋  
Shin Yoshida

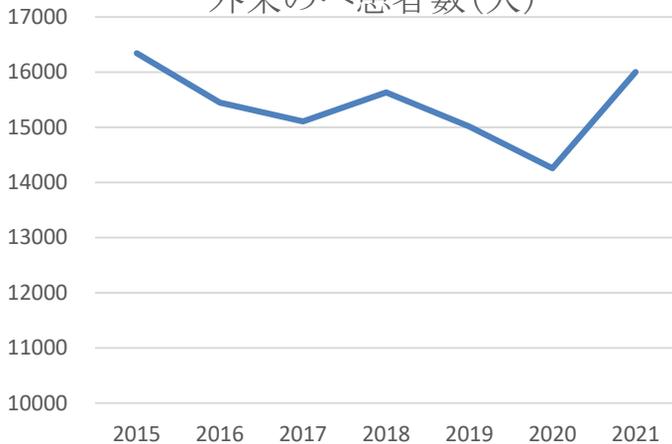
平成11年卒の吉田です。当科外来の診療体制と診療実績を御報告いたします。

御紹介頂いた患者さんの初診は、消化器疾患は永野浩昭教授、武田 茂医師、鈴木伸明医師(火曜、金曜)が、乳腺・甲状腺疾患は前田訓子医師(火曜、金曜)が、薬物療法は井岡達也医師(月曜、木曜)が診察しています。治療方針は、院内のキャンサーボードおよび当科のグループカンファレンスを経て決定されます。初診外来のない曜日に御紹介頂いた場合でも、一旦は当番医が対応いたしますが、上記と同様の診療の流れをとりますので問題ございません。

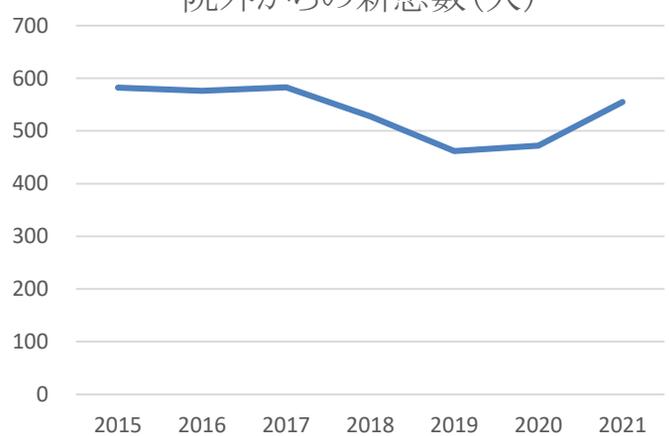
過去7年間の診療実績を下記にお示します。外来のべ患者数や新患数は、新型コロナウイルスの影響で近年減少しておりましたが、2021年は以前の状況に戻りつつありました。外来診療収入額は依然高い水準を保っております。その理由の一つには、化学療法件数を維持できていることが挙げられます。腫瘍内科外来へ切除不能・再発症例を多く御紹介頂けるようになったことや、進行症例に対して化学療法を用いた集学的治療を積極的に行っていることなどが考えられます。

今後も、より質の高い診療を提供するとともに、山口県における高難度手術の集約化に努めて参ります。今後も皆さまからの益々のご指導ご鞭撻を賜ります様、お願い申し上げます。

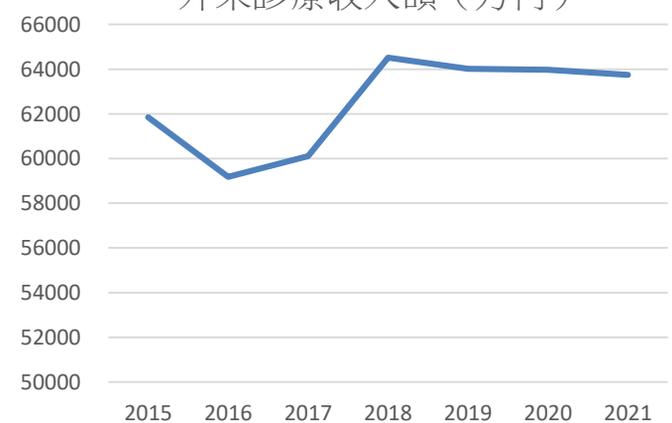
外来のべ患者数(人)



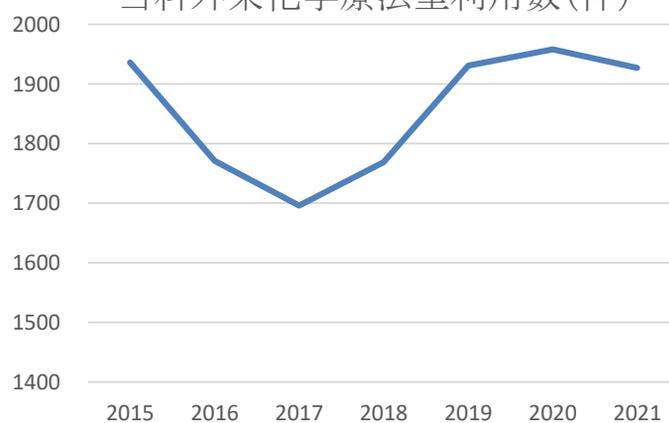
院外からの新患数(人)



外来診療収入額(万円)



当科外来化学療法室利用数(件)



# 上部消化管グループ



## スタッフ

武田 茂 飯田通久  
渡邊裕策 西山光郎 中島千代

上部消化管グループは武田、飯田、渡邊、西山、中島のメンバーで食道・胃疾患の診療を行っております。2021年の新規患者107例、手術は108例で大半が食道癌、胃癌の症例です。当科は食道外科専門医が在籍する食道外科専門医施設で、食道癌に対してロボット支援下食道がん手術をはじめ最新技術を導入して低侵襲で安全な手術を目指しております。NSTや周術期リハビリテーションなどチーム医療も積極的に導入して術後合併症の予防に努めています。胃癌はロボット支援下胃切除術や進行胃癌に対する腹腔鏡手術など、95%以上の症例で鏡視下手術を行っています。最近増えている食道胃接合部癌では腹腔鏡下噴門側胃切除や胸腔鏡を併用した切除・再建などの機能温存を目指した手術も行っています。化学療法は最新のエビデンスに基づく抗がん剤や免疫チェックポイント阻害剤を導入して、進行・再発症例だけでなく術前化学療法、術後補助療法などを腫瘍センターと連携して行っており、地域連携も含めて包括的ながん治療を提供できるように心掛けております。

## 令和3年診療研究情報報告

### 入院患者数

食道疾患	38例
食道癌	33例
食道穿孔	4例
食道裂孔ヘルニア	1例

胃疾患	69例
胃癌	51例
胃GIST	6例
十二指腸腫瘍	4例
内ヘルニア	2例
腹膜炎	3例
その他	1例

### 手術症例数

食道疾患名		42例	術式		42例
食道癌	21例	21例	ロボット支援下食道切除術	11例	
			胸腔鏡下食道切除術	6例	
			右開胸開腹食道切除術	2例	
			頸部食道切除術（サルベージ）	2例	
食道癌関連	15例	15例	胸壁前小腸再建	1例	
			乳び胸	1例	
			食道癌狭窄	3例	
			食道癌CRT後再発	1例	
			下咽頭癌	9例	
			腸瘻部イレウス	1例	
良性疾患	3例	3例	食道穿孔	4例	
			食道裂孔ヘルニア	1例	
			腹腔鏡下噴門形成術	1例	

胃疾患名	66例	術式	66例
胃癌	49例	腹腔鏡下胃全摘術	7例
		腹腔鏡下幽門側胃切除術	23例
		ロボット幽門側胃切除術	2例
		開腹幽門側胃切除術	1例
		腹腔鏡下噴門側胃切除	4例
		腹腔鏡下バイパス術	3例
		審査腹腔鏡	7例
GIST	6例	大動脈LN・腫瘤切除	2例
		腹腔鏡下胃部分切除術	6例
十二指腸腫瘍	4例	LECS（十二指腸部切）	3例
		腹腔鏡下幽門側胃切除術	1例
イレウス・内ヘルニア	3例	腹腔鏡下イレウス解除	3例
腹膜炎	2例	腹腔鏡下大網充填	2例
		腹腔鏡下ドレナージ	1例
その他	1例	腹腔鏡下胃全摘	1例

## トピックス

- 1月 食道外科専門医に認定されました（西山）  
第3回山口食道がん研究会を開催しました
- 3月 第93回日本胃癌学会総会（WEB開催）に参加しました（武田、飯田、中島）  
JCOG食道班会議にWEB参加しました（武田、渡邊、西山）
- 4月 第121回日本外科学会定期学術集会（WEB開催）に参加しました（武田、飯田、渡邊、西山、中島）
- 5月 内視鏡外科技術認定医（胃）に認定されました（飯田）  
第17回山口県消化管セミナーを開催しました
- 6月 第64回関西胸部外科学会学術集会(WEB開催)に参加しました（武田、渡邊、西山）
- 7月 第76回日本消化器外科学会総会(ハイブリッド開催)に参加しました（武田、飯田、渡邊、西山、中島）  
JCOG食道班会議にWEB参加しました（武田、渡邊、西山）
- 9月 第75回日本食道学会学術集会（ハイブリッド開催）に参加しました（武田、渡邊、西山）
- 10月 第59回日本癌治療学会学術集会（ハイブリッド開催）に参加しました（渡邊）
- 11月 JDDW2021に参加しました（武田、渡邊）  
JCOG食道班会議に参加しました（武田、渡邊、西山）
- 12月 第34回日本内視鏡外科学会総会（ハイブリッド開催）に参加しました（武田）  
第34回日本外科感染症学会総会学術集会に参加しました（武田）  
第5回山口消化管内視鏡外科研究会を開催しました

# 令和3年研究報告 (令和3年12月31日現在)

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
UMIN000034178	食道癌術前化学療法時の栄養介入が術前サルコペニアに及ぼす影響に関する後向きならびに探索的研究	食道癌	山口大学	実施中
UMIN000015107	切除不能または再発食道癌に対するCF (シスプラチン+5-FU) 療法とbDCF (biweekly ドセタキセル+CF) 療法のランダム化第III 相比較試験 (JCOG1314)	食道癌	JCOG	実施中
UMIN000017628	臨床病期I/II/III食道癌 (T4を除く) に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験 (JCOG1409)	食道癌	JCOG	実施中
UMIN000031285	切除不能・進行再発胃癌を対象としたweekly nab-Paclitaxel + Ramucirumab併用療法の有用性を検討する第II相臨床試験	胃癌	山口大学	実施中
UMIN000043703	がん化学療法後に増悪した根治切除不能な進行・再発食道扁平上皮癌に対するNivolumab療法におけるバイオマーカー探索を含む前向き観察研究 ANTARES study	食道癌	慶應義塾大学	実施中
UMIN000023065	Ramucirumab抵抗性進行胃癌に対するramucirumab + Irinotecan併用療法のインターグループランダム化第III相試験	胃癌	OGSG	実施中



# 下部消化管グループ

## スタッフ

鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍



2021年、下部消化管グループは鈴木、吉田、友近のメンバーを中心に診療を行いました。手術患者数は192例で、そのうち緊急手術等の症例は26例でした。結腸・直腸癌症例に対する根治的経腹手術は91例、そのうち腹腔鏡手術は83例と91%の症例に施行しました。良性疾患に関しても積極的に鏡視下手術を導入しています。臨床研究にも積極的に参加し、IRB承認のもと症例登録を行いました。大腸班チームカンファレンスを週2回、消化器内科との合同カンファレンス（Cancer Board）を週1回行っています。また、永野教授を中心とした肝胆膵グループ、腫瘍センター・井岡Dr. と連携し、抗がん剤治療先行による切除不能肝転移症例に対するconversion therapy（肝転移切除等）にも積極的に取り組んでいます。2021年の大腸癌肝転移切除症例数は14例でした（詳細は肝胆膵グループ参照）。直腸癌Rb症例に対しては治療成績の向上を目指して術前化学療法による集学的治療も腫瘍センター・井岡Dr. と連携して行っています。手術ではTaTMEの経験も蓄積され、今まで切除に難渋していたBulky tumorに対しても、術前化学療法による腫瘍の縮小、および経肛門の良好な視野により、two team制で時間短縮した手術が可能となっています。

## 令和3年診療研究情報報告

### 入院患者数(化学療法含む)

結腸/直腸癌	145例
盲腸癌・回盲部癌	16例
上行結腸癌	25例
横行結腸癌	14例
下行結腸癌	6例
S状結腸癌	30例
直腸癌	54例

のべ入院患者数 544例

良性疾患	47例
イレウス	14例
直腸脱	2例
炎症性腸疾患	7例
急性虫垂炎	2例
肛門疾患	7例
腸穿孔・汎発性腹膜炎等	8例
出血・虚血性腸炎	3例
その他	4例

### 手術症例内訳

疾患別	手術症例：192例
大腸癌（人工肛門造設含む）	109例
大腸癌再発	7例
直腸NET	2例
クローン病・潰瘍性大腸炎	6例・4例 (Colitic cancer：1例)
イレウス	11例 (緊急：5例、準緊急：3例)
虫垂炎	2例（緊急：1例）
腹膜炎・腹腔内膿瘍	9例 (緊急：4例、準緊急：3例)
小腸疾患	3例
肛門疾患（痔核、痔瘻等）	8例
直腸脱	2例
人工肛門形成状態 （人工肛門閉鎖）	14例
その他	15例

大腸癌根治手術	91例
年齢（平均、範囲）	70.9歳（41-89）
75歳以上（%）	35例（38.5%）

腫瘍局在（重複癌含む）	
盲腸	10例
上行結腸	17例
横行結腸	7例
下行結腸	4例
S状結腸	20例
直腸・肛門	31例・2例

pStage	
0	2例
I	23例
II	26例
III	30例
IV	10例

大腸癌：術式別	91例
回盲部切除	16例
右半結腸切除	12例
横行結腸切除	6例
下行結腸切除	4例
S状結腸切除	18例
高位前方切除	8例
低位前方切除	14例（TaTME 1例）
ISR	4例（TaTME 3例）

大腸癌：術式別	(づつき)
直腸切断術	3例（TpTME 2例）
Hartmann手術	1例
側方郭清施行	4例
経肛門的腫瘍切除	2例
到達法	91例
腹腔鏡補助	83例（開腹移行例なし）
Ta / TpTME	6例
経肛門的	2例
開腹	6例(cT4b症例：4例 Aoリンパ節郭清：1例 両側卵巢切除：1例)

## トピックス

- 1月 東京で開催された第94回大腸癌研究会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、吉田、友近、千々松、兼定、裕）
- 4月 千葉で開催された第121回日本外科学会定期学術集会（WEB開催）に参加しました。（鈴木、吉田、友近、千々松、兼定、裕）
- 7月 旭川で開催された第95回大腸癌研究会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、吉田、友近、兼定、裕）
- 7月 京都で開催された第76回日本消化器外科学会総会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、吉田、友近、千々松、兼定、裕）
- 9月 愛媛で開催された第96回中国四国外科学会総会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、兼定）
- 11月 神戸で開催された第29回日本消化器関連学会週間（JDDW2021）（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木）
- 11月 広島で開催された第76回日本大腸肛門病学会学術集会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、吉田、友近、兼定、裕）
- 11月 東京で開催された第83回日本臨床外科学会総会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、兼定）
- 12月 神戸で開催された第34回日本内視鏡外科学会総会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、友近）



# 令和3年臨床試験一覧

## 終了した臨床試験

管理番号	試験名	対象	実施責任施設	進捗状況
H2020-174	【EnSSURE試験】腹腔鏡下直腸癌切除における技術認定医手術参加の有用性に関する検討	大腸癌（手術）	北海道大学	終了
H30-139	【ロンサーフ+アバスチン】治癒切除不能な進行・再発の結腸直腸癌患者を対象としたTFTD+Bmab療法の治療継続性を検討する第II相臨床試験	切除不能大腸癌	山口大学	終了

## 実施中の臨床試験

管理番号	試験名	対象	実施責任施設	進捗状況
H27-054	【TCR】大腸がん腫瘍浸潤リンパ球のT細胞受容体（TCR）網羅的解析による化学療法剤の効果予測と抗腫瘍特異的免疫誘導効果に関する研究	大腸癌	当院多施設 愛知県がんセンター	実施中
H27-070	【PARADIGM study】RAS遺伝子（KRAS/NRAS遺伝子）野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ペバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第III相無作為化比較試験（PARADIGM study）	切除不能大腸癌	中央病院 国立がん研究センター東病院	実施中
H27-198	【JACCRO CC-13,DEEPER試験】RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ペバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第II相臨床試験（JACCRO CC-13試験）	大腸癌	香川大学	実施中
H27-203	【CpG】進行・再発大腸がんに対する抑制性免疫解除剤+5種類のペプチドカクテル+CpGの複合免疫療法の第I相臨床試験	進行・再発大腸癌	山口大学	実施中
H28-004	【JACCRO CC-13試験 AR】RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ペバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第II相臨床試験におけるバイオマーカー研究（JACCRO CC-13AR）	大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
2018CRB001	【JACCROCC-16】RAS遺伝子野生型切除不能進行・再発大腸癌における二次治療FOLFIRI+ラムシルマブ併用療法の第II相試験	切除不能大腸癌	香川大学医学部 附属病院	実施中
H2019-006	「RAS遺伝子野生型切除不能進行・再発大腸癌における二次治療FOLFIRI+ラムシルマブ併用療法の第II相試験」におけるバイオマーカー研究（JACCROCC-16AR）	切除不能大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
H2019-155	【MOEST study】高齢者StageⅢ大腸癌に対する術後補助化学療法の現状調査	高齢者大腸癌	大腸癌研究会	実施中
H2019-177	「治癒切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療としてのカペシタビン/LV5FU2+ペバシズマブ療法後のXELOX/FOLFOX +ペバシズマブ逐次療法とXELOX /FOLFOX +ペバシズマブ併用療法の多施設共同ランダム化第III相臨床試験」参加者を対象とした追跡予後調査を目的とした観察研究（C <sup>o</sup> -Study）	切除不能大腸癌	川崎医科大学	実施中
2021-032	【RASMEX study】RAS 遺伝子変異型腫瘍を有する切除不能進行・再発大腸癌患者における化学療法後の血中RAS 遺伝子変異を評価する観察研究（JACCRO CC-17）	切除不能大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
2021-061	直腸癌手術における適切なCircumferential resection margin（CRM）とDistal Margin(DM)に関する多施設前向き観察研究	直腸癌	国立がん研究センター東病院	実施中
2021-142	【JACCRO CC-18】BRAF変異型大腸癌に対するBRAF阻害薬併用療法のバイオマーカー探索を含めた観察研究（BEETS試験）	大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中

# 肝胆膵グループ

## スタッフ

徳光幸生、新藤芳太郎、  
松井洋人、松隈 聡、中島正夫



山口県で唯一の、日本肝胆膵外科学会が定める“高度技能修練施設”の中の“認定施設A”（高難度手術を年間50例以上こなす施設）として、肝臓・胆道・膵臓領域の悪性疾患を中心に診療を行っています。肝細胞癌や転移性肝腫瘍などに対しては低侵襲な腹腔鏡下肝切除を第一選択としており、現在では肝切除のうち7割以上の方に対し腹腔鏡手術を行っています。以前は単発腫瘍に対して腹腔鏡手術を行うことがほとんどでしたが、最近は大腸癌多発肝転移などに対し化学療法の後には腹腔鏡手術を行う事も多くなりました。また、これらの疾患では繰り返し肝切除が必要になる方も多く、2回目以降の肝切除にも腹腔鏡手術を積極的に行っています。一方、胆道癌・膵臓癌などの難治癌・進行癌に対しては集学的治療と拡大手術を駆使し、治療成績の向上を目指します。たとえ初診時に根治手術が難しいと判断されるようなケースでも、様々な治療を駆使しながら常に切除の可能性を追求し続けます。

# 令和3年診療研究情報報告

## 入院患者数（化学療法を含む）

肝疾患	113	胆道疾患	88	膵・脾疾患	203
肝細胞癌	44	胆嚢癌	30	膵癌	184
転移性肝腫瘍	18	胆管癌	27	PNET	3
肝内胆管癌	49	十二指腸乳頭部癌	5	IPMN	12
肝良性疾患	1	良性・その他	26	慢性膵炎	4
肝硬変（肝移植）	1				

## 手術症例数

( ) 腹腔鏡手術症例、\*重複あり

	肝切除				生体肝移植							計			
	葉切以上	区域	亜区域	外側区域	部分	ドナー	レシピエント	胆管切除再建	肝膵同時切除	膵頭十二指腸切除	膵体尾部切除		膵全摘	膵中央切除	その他
肝細胞癌	5(2)	5(3)		2(1)	28(24)									1(1)	41(31)
肝内胆管癌	2*	1						1*						2(2)	5(2)
転移性肝腫瘍	1	2		1(1)	12(12)									2	18(13)
その他の肝疾患	1(1)				1(1)									1(1)	3(3)
肝門部・上部胆管癌	3*							4*	1					3(1)	7(1)
中・下部胆管癌										5					5
胆嚢癌	1		1		1(1)			1						5(4)	9(5)
乳頭部癌															0
その他の胆道疾患					1									18(16)	19(16)
膵頭部癌										3				21(21)	24(21)
膵体尾部癌										2	7(5)			15(15)	24(20)
その他の膵疾患										5	3(2)	1	1(1)	3(2)	13(5)
上記以外					1(1)					2	1			12(5)	16(6)
計	13(3)*	8(3)	1	3(2)	44(39)			6*	1	17	11(7)	1	1(1)	73(58)	184(123)

# トピックス

- 1月 胆管癌における動脈合併切除再建に関する論文がGastrointest Tumors誌に掲載されました（新藤）  
膵癌幹様細胞におけるCathepsin B発現に関する論文がOncol Lett誌に掲載されました（藤本）  
九州肝臓外科研究会オンラインセミナー2021にて多施設共同研究報告しました（徳光）
- 3月 膵癌幹様細胞におけるCalreticulin発現に関する論文がPancreas誌に掲載されました（藤原）
- 4月 HSP70-mRNA導入樹状細胞療法を用いた肝細胞癌(HCC)術後補助療法に関する論文がCancer Immunol Immunother誌に掲載されました（松井）  
胆道癌における術中洗浄細胞診に関する論文がCancer Rep誌に掲載されました（松隈）
- 5月 第42回癌免疫外科研究会にて教育講演を行いました（松井）
- 7月 進行膵癌における肝動脈切除再建に関する論文がLangenbecks Arch Surg誌に掲載されました（新藤）  
第9回山口膵・胆道疾患研究会（WEB）を開催しました（全員）
- 11月 腹腔鏡下肝切除におけるSSIに関する論文がSurg Endosc誌に掲載されました（松隈）  
第10回山口膵・胆道疾患研究会（WEB）を開催しました（全員）  
肝細胞癌における外科治療のreviewがApplied Sciencesに掲載されました（中島）



開腹手術風景



松井洋人先生が第42回癌免疫外科研究会にて、教育講演「教室における肝細胞癌に対する免疫療法の開発」を行いました。



腹腔鏡手術風景



松隈聡先生が第33回肝胆膵外科学会のパネルディスカッションで「門脈腫瘍栓を有するHCCに対する集学的治療」に関する発表を行いました。

## 終了した臨床試験

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
	切除不能肝細胞癌に対するレンパチニブ使用による外科的切除可能性の検討（多施設共同臨床研究） LENS-HCC	肝細胞癌	東京大学	終了
UMIN000029794	肝細胞癌腹腔播種に対する後方視的観察研究	肝細胞癌腹腔播種	滋賀医大	終了
	根治切除後胆道癌に対する術後補助療法としてのS-1療法の第III相試験（JCOG1202, ASCOT）	胆道癌	JCOG	終了
	肝門部領域胆管癌に対する肝動脈合併切除・再建術の治療成績の検証	肝門部領域胆管癌	山口大学	終了
	76歳以上の切除非適応膵癌患者に対する非手術療法の前向き観察研究	膵癌	国立がんセンター東病院	終了
	切除不能膵癌形成膵癌治療成績に関する他施設共同後ろ向き観察研究	膵癌	JCOG	終了

## 実施中の臨床試験

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
	肝細胞癌切除後ミラノ基準内再発症例に対する再切除の有用性	再発肝細胞癌	肝胆膵外科学会	実施中
	肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ波焼灼療法施行後の再発治療・長期予後に関する観察研究：SURF trial付随研究	肝細胞癌	東京大学	実施中
UMIN000029991	根治切除可能肝細胞癌(HCC)に対する周術期補助療法としてのHSP70由来ペプチド+GPC3由来ペプチド+IMP321+Hiltonolを用いた複合免疫療法の第I相臨床試験（YCP02試験）	肝細胞癌	山口大学	登録修了
	C型肝炎SVR後発症の肝細胞癌に対する肝切除：IFN治療とDAA治療での臨床病理学的・分子生物学的比較検討に関する多施設共同研究	肝細胞癌	九州大学	実施中
UMIN000040758	ドーム下小肝癌に対する腹腔鏡手術の有用性に関する多施設共同後ろ向き観察研究	肝細胞癌	山口大学	実施中
	Machine learningを用いたCT画像解析による肝細胞癌の悪性度診断	肝細胞癌	熊本大学	実施中
UMIN000036286	大腸癌同時性肝転移に対する腹腔鏡下大腸・肝同時切除の安全性に関する前向き観察研究	大腸癌肝転移	山口大学	実施中
UMIN000030525	臓器移植における抗体関連拒絶反応の新規治療法の開発に関する研究	生体肝移植	東京女子医科大学	実施中
	門脈腫瘍栓を伴う高度進行肝細胞癌に対する集学的治療の安全性、有用性についての前向き観察研究	肝細胞癌Vp3-4	山口大学	実施中
	門脈内腫瘍栓を伴う高度進行肝細胞癌に対する治療方針とその安全性、有用性についての後ろ向き観察研究	肝細胞癌Vp3-4	山口大学	実施中
	肝移植レシピエントにおける周術期腸内細菌叢の変化と感染性合併症の関係および術後敗血症を早期予測するためのバイオマーカー探索研究	肝移植	山口大学	実施中
	切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法、外科的切除を用いた集学的治療の安全性、有効性を検討する多施設共同第2相臨床研究 RACB	肝細胞癌	京都大学	実施中
	免疫チェックポイント阻害剤投与後かつAFP400ng/ml以上の進行肝細胞癌に対するレンパチニブとラムシルマブのランダム化比較第III相試験 JON2101-H	肝細胞癌	神奈川県がんセンター	実施中
	免疫チェックポイント阻害剤投与後の進行肝細胞癌に対するソラフェニブとレンパチニブのランダム化比較第3相試験 JON2102-H	肝細胞癌	神奈川県がんセンター	実施中

# 令和3年診療研究情報報告（令和3年12月31日現在）

## 実施中の臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
胆	UMIN000035352	胆嚢癌疑診例に対する腹腔鏡手術の安全性に関する前向き観察研究	胆嚢癌	山口大学	実施中
		肝内結石症第8期全国横断調査	肝内結石症	杏林大学	実施中
	UMIN000027785	胆嚢癌の診断と予後に関する前向き観察研究（GALLOP）	胆嚢癌	東北大学	登録終了
	UMIN000038239	局所進行胆道癌に対するConversion surgeryの治療成績と予後因子解析に関する後方視的観察研究	胆道癌	日本肝胆膵外科学会	登録終了
		JCOG-バイオバンク・ジャパン連携バイオバンク	胆道癌	JCOG	実施中
	UMIN000036449	肝葉切除を伴わない胆道癌切除例を対象としたゲムシタピン/シスプラチン（GC）併用療法とゲムシタピン/TS-1（GS）併用療法の術後補助化学療法のランダム化第2相試験（KHBO1901）	胆道癌	KHBO 大阪国際がんセンター	実施中
		胆道癌の術後補助療法における薬剤感受性予測因子に関する検討（JCOG1202A1）	胆道癌	JCOG	実施中
		胆管癌E7090試験	胆道癌	イーザイ	実施中
		FGFR2遺伝子再構成を伴う切除不能又は転移性の胆管癌患者を対象に、1次治療としてのPemigatinibの有効性及び安全性をゲムシタピン + シスプラチン併用化学療法と比較して評価する非盲検、ランダム化、実薬対照、多施設共同、第III相試験（FIGHT-302）	胆道癌	INCYTE社	実施中
		切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタピン + シスプラチン + S-1（GCS）療法の第3相試験（JCOG1920）	胆道癌	JCOG	実施中
		肝葉切除を伴う胆道癌に対する術後補助療法としてのカペシタピン療法の第II相試験（KHBO2101）	胆道癌	KHBO	実施中
	UMIN000045156	70才以上の進行胆道癌患者に対する化学療法と高齢者機能評価に関する前向き観察研究 JON2104-B	胆道癌	JON	実施中
膵		進行再発膵癌に対するゲムシタピン/ナブパクリタキセルとFOLFIRINOXもしくはS-1/LOX療法を比較するRCT	膵癌	JCOG	実施中
		ゲムシタピンベースの一次治療後の再発性または転移性膵癌に対するnal-IRIとS-1併用療法の第1/2相臨床試験 Phoenix study	膵癌	国立がん研究センター東病院	承認済
		山口県内の膵癌根治切除症例に関する多施設共同後ろ向き観察研究	膵癌	山口大学	実施中
		慢性膵炎による難治性疼痛に対する内科的インターベンション治療と外科治療の比較解析 -多施設共同前向き実態調査-	慢性膵炎	藤田医科大学	実施中
		膵頭十二指腸切除における幽門輪の意義に関する後方視的観察研究	膵頭十二指腸切除症例	和歌山県立医科大学	実施中
		腹腔鏡下膵体尾部切除術における術前難度評価スコア（difficulty score）の有用性に対する検証研究	膵疾患	九州大学	登録終了
		膵臓癌の診療向上のための分子遺伝学および分子疫学的研究	膵癌	大阪大学	実施中
	UMIN000016380	膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者悉皆登録研究（TRINET1332）	神経内分泌腫瘍	日本神経内分泌腫瘍研究会	実施中
	UMIN000037621	膵切除における抗血栓剤服用歴が術後経過に及ぼす影響に関する研究	膵切除症例	肝胆膵外科学会	実施中
		良性～低悪性度膵腫瘍に対する腹腔鏡下尾側膵切除術の際の脾温存術と脾合併切除術の比較検討；Propensity score matching解析を用いる	良性～低悪性度膵腫瘍	九州大学	実施中
		消化管・膵原発の切除不能進行・再発神経内分泌腫瘍に対するエベロリム単剤療法とエベロリムス＋ランレオチド併用療法のランダム化第III相試験（JCOG1901）	切除不能・再発NET	JCOG	実施中

# 令和3年診療研究情報報告（令和3年12月31日現在）

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
UMIN000014795	消化管・肝胆膵原発の切除不能・再発神経内分泌癌（NEC）を対象としたエトボシド/シスプラチン療法のランダム化比較試験	NEC	JCOG	実施中
UMIN000034265	76歳以上の切除非適応膵癌患者に対する非手術療法の前向き観察研究	膵癌	国立がんセンター東病院	登録終了
	2次化学療法実施中の切除不能膵癌患者におけるePROを用いたQOL調査研究	膵癌	杏林大学	承認済
	十二指腸狭窄を有する切除不能進行膵癌を対象とした初回化学療法導入前の狭窄解除法に関する多施設共同後ろ向き観察研究	膵癌	千葉がんセンター	実施中
UMIN000029147	切除可能境界膵癌に対するGemcitabine/nab-Paclitaxel併用療法もしくはmFOLFIRINOXによる術前化学療法に関する多施設共同前向き観察研究	膵癌	山口大学	登録終了
UMIN000027775	根治切除不能局所進行膵癌に対するGEM+nab-PTX療法の有用性に関する前向き多施設共同研究（GEAR study）	BR-A膵癌	九州大学	登録終了
	アジア人中腸NETの臨床病理学的特性に関する多施設共同研究	中腸NET	東北大学	登録終了
	Invasive intraductal papillary mucinous carcinoma (IPMC)に対する術後補助療法の有用性に関する後ろ向き観察研究	IPMC	和歌山県立医科大学	実施中
	腹膜転移を有する膵がんに対するS-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内投与併用療法の無作為化比較第III相多施設共同臨床試験 SP study	膵癌	関西医科大学	実施中
	膵頭十二指腸切除術後の膵液瘻の術前リスク因子に関する多施設共同後ろ向き観察研究	膵切除症例	山口大学	実施中
	膵癌に対する樹状細胞ワクチンTLP0-001治験	膵癌	和歌山医科大学	実施中
UMIN000043376	膵癌に対する審査腹腔鏡検査の臨床的意義に関する前向き観察研究	膵癌	山口大学	実施中

## 臓器横断的、その他

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
	MSI-High肝胆膵領域癌に対する観察研究	肝胆膵領域癌	国立がん研究センター中央病院	実施中
	膵・胆道癌に対する集学的治療（術前化学療法および手術加療）適格症例および治療法選定のためのバイオマーカー探索試験	膵癌・胆道癌	山口大学	実施中
	十二指腸癌外科的切除症例の臨床病理学的因子と予後に関する研究	十二指腸癌	奈良県立医科大学	登録終了

## 申請中の臨床試験

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
	切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法・外科的切除を用いた集学的治療の安全性、有効性を検討する多施設共同第2相臨床研究 RACB付随研究：治療効果および有害事象予測のバイオマーカー探索	肝細胞癌	京都大学	IRB申請中
	高難度開腹非系統的肝切除の基準作成のための多施設共同研究	肝切除症例	杏林大学	IRB申請中

# 乳腺内分泌グループ



スタッフ  
前田訓子、鍋屋まり

乳腺・甲状腺・副甲状腺の悪性・良性疾患の外科手術および薬物療法などを、診断を含めて幅広く行っています。特に乳癌センチネルリンパ節生検においては、3D CT-リンフォグラフィ、Real-time Virtual Sonography (RVS)、ICGによるセンチネルリンパ節直接マーキング法といった当科オリジナルの方法で、センチネルリンパ節を高精度に同定しています。また、当院では形成外科専門医、乳腺専門医が備わっており、自家組織およびインプラントを考慮した乳房再建手術を保険診療で行うことが可能です。遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）の診断・治療に関しては、遺伝・がんゲノム診療外来、産婦人科との連携のもと行っています。2020年の保険収載以降、当科で加療中の遺伝性乳がん卵巣がん症候群の患者様4名にリスク低減卵巣摘出術が行われました。今後も山口県唯一の遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設として産婦人科や遺伝専門外来と協力し、遺伝性乳がんの診療を進めていきます。引き続き山口県の乳がん診療を充実するため、今後も診療・教育・研究に力を注ぎたいと思います。

## 令和3年診療研究情報報告

### 入院患者数

乳腺疾患	150
乳癌	109
良性疾患	13
マンモトーム検査	21
その他	3

甲状腺・副甲状腺疾患	4
甲状腺癌	2
Basedow病	1
良性腫瘍・その他	1
副甲状腺疾患	0

### 手術症例数

乳腺疾患	126
乳癌に対する手術	113
乳房切除術	99
(うち乳房再建術)	3)
乳房温存術	14
良性・その他	13

甲状腺・副甲状腺疾患	4
甲状腺癌に対する手術	2
甲状腺葉切除+頸部郭清	(1)
甲状腺全摘+頸部郭清	(1)
甲状腺良性腫瘍	1
Basedow病手術	1
副甲状腺手術	0

## トピックス

- 4月 日本外科学会定期学術集会で、前田が発表しました
  - 7月 日本乳癌学会で、鍋屋、前田が発表しました
  - 9月 中国四国外科学会で前田が発表しました
  - 9月 日本乳癌学会中国四国地方会、教育セミナーに鍋屋がパネリストとして参加しました。
- JCOG乳がんグループ班会議にオブザーバー参加（1月、4月、7月、10月）

## 令和3年研究報告（年12月31日現在）

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
000000843	JBCRG-04	病理学的R1乳癌	JBCRG	登録終了
000001090	NSAS BC-06	閉経後乳癌	NSAS	登録終了
000002349	RESPECT	HER2陽性乳癌	NSAS	登録終了
000018202	HER2陽性の進行・再発乳癌に対するペルツズマブ再投与の有用性を検証する第III相臨床研究－ペルツズマブ再投与試験－JBCRG-M05(PRECIOUS)	HER2陽性乳癌	JBCRG	登録終了
000033384	BRCA1/2遺伝子変異陽性者に対するリスク低減乳房切除術の安全性の検討	遺伝性乳癌卵巣癌症候群	山口大学	実施中
	乳癌手術後の整容性に対する患者満足度の調査研究	乳癌術後	山口大学	実施中
000027938	HER2陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を比較検討する第III相臨床研究-JBCRG-M06(EMERALD)	HER2陽性乳癌	JBCRG	登録終了
000039200	乳房専用PET検査の有用性について多施設探索研究	乳癌	山口大学	実施中
	錫(Sn)フィルターを用いた超低線量胸部CT(乳腺領域)の画質評価 (山口大学 放射線科との共同研究)	乳癌	山口大学	実施中
000038065	転移・再発乳癌における遺伝子パネル検査 FoundationOne® CDxの 治療方針決定に与える影響を検討する観察研究 JBCRG-C07 (REIWA study)	乳癌	JBCRG	実施中

# 腫瘍センター

スタッフ  
井岡達也、山田健介



がん薬物療法は進歩を続け、適応となる抗がん薬や疾患は飛躍的に増えています。令和2年に腫瘍センターに赴任し、当院においてがん薬物療法を行う患者さんの数は着実に増えております。疾患や治療はもちろん、年齢から個性、社会的背景もさまざまな患者さんがおられます。私たち腫瘍センターは病気だけにスポットをあてず、患者さんや家族にとって何がベストかを考え、その人らしく治療を続けていけるようなケアを大切にしています。今後、外来化学療法室のベッド数は増える予定で、さらに外来で治療を行える患者さんの数は増えることが予想されます。最新の治療を提供しつつ、AIなどを活用し、業務を円滑に進める一方で、目の前の患者さんと向き合う時間を大事にしていきたいと思っております。がん患者さんのための情報発信や関連医療機関との連携を深めていきたいと常に考えていますので、今後ともご助力の程よろしく願いいたします。

## 令和3年診療研究情報報告

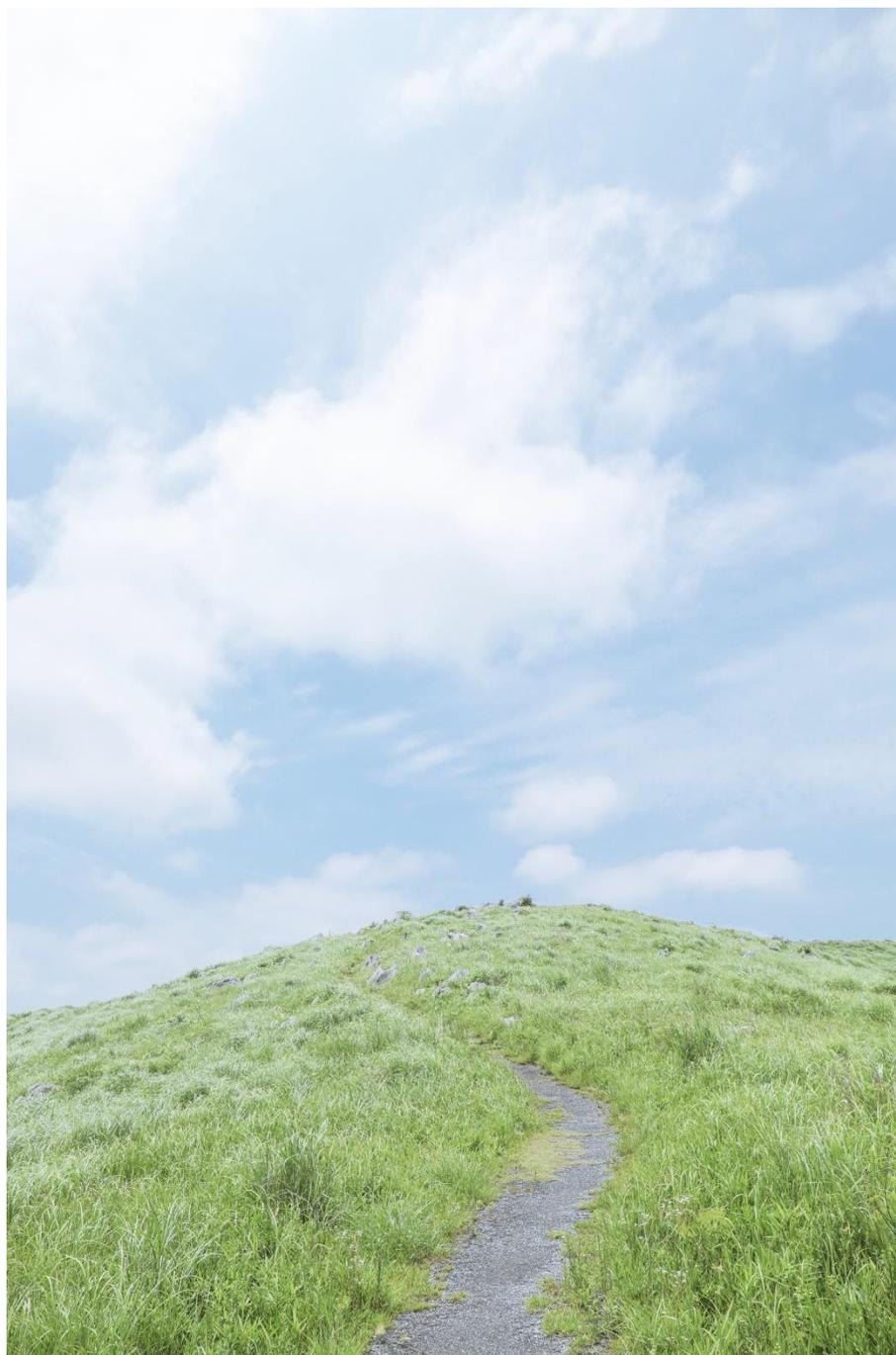
### 診療実績

疾患領域		疾患領域	
食道	16例	肝臓	3例
胃	30例	胆道	31例
大腸	81例	膵臓	73例
小腸・十二指腸	3例	NET・NEC	8例
		肉腫	3例
		原発不明	4例

### 診療実績

食道癌	切除不能	16例	混合型肝癌	3例	
	臨床試験	ANTALES試験	胆道癌	31例	
胃癌	切除可能	2例	膵癌	術前補助	20例
	補助療法	6例		切除不能	53例
	切除不能	22例	臨床試験	JCOG1920試験	4例
大腸癌	切除可能	16例		KHBO1901試験	5例
	術後補助	16例		カベシタピン 術後補助試験	3例
	切除不能	48例		企業治験 (アステラス)	3例
	臨床試験	NAC: FOLFOXIRI±Bmab	16例	JCOG1611試験	2例
		ロンサーフ+Bmab	3例		

# 教室主宰研究会 報告



秋吉台カルスト台地（美祿市）

**開催概要:**

第42回がん免疫外科研究会

会長:永野浩昭

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授

日時:令和3年5月27日・28日

場所:ANAクラウンプラザホテル宇部

**WEB開催(ライブ配信)/誌上发表形式**

**主題Ⅰ 「新規免疫療法への戦略とエビデンス」**

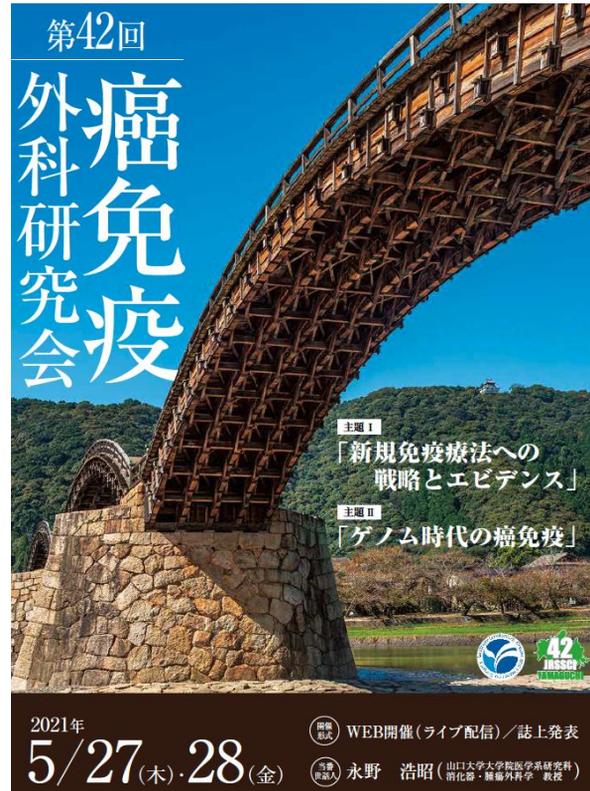
**主題Ⅱ 「ゲノム時代の癌免疫」**

2021年5月27日(木) 28日(金)の2日間に第42回癌免疫外科研究会をWEB開催(ライブ配信)/誌上发表形式で開催いたしました。本会は第1回(1980年)以来、癌に対する免疫療法の臨床応用と発展を目的として開催されてきました。がん治療としての免疫療法は、2018年の免疫チェックポイント阻害剤開発に対するノーベル賞受賞を契機に、その顕著な臨床効果により認知され、各種学会でも活発な討論が続いています。その中で今回の研究会の主題は、前年の主題「新規免疫療法への戦略とエビデンス」を継続主題とし、新たに「ゲノム時代の癌免疫」を新規主題とさせて頂きました。“Precision medicine”の実際、がん治療にパラダイムシフトを起こした“免疫チェックポイント阻害剤”の治療効果予測因子の解明や各種抗癌療法との複合治療の将来展望、さらには“neo-antigen”を標的にした免疫応答等について多くの演題をご応募頂きました。

山口大学が主幹となるのは、第22回(2001年)を教室前任教授の岡正朗先生が主催されて以来20年ぶりのこととなります。また岡先生はその後、本研究会・会長となられ、長年勤められたのち今回の研究会開催の年に退任されるタイミングでありました。そのため、教室員一同現地での開催に向けて準備を重ねてまいりましたが、残念ながら蔓延するCOVID-19の影響でそのことは叶いませんでした。今回、主題・一般演題は誌上发表で一部セッションのみWEBによるライブ配信をさせて頂きました。WEB視聴者数は延べ519名、参加者数は287名と盛会の裡に無事終了することが出来ました。今回は特別講演に岡山大学大学院消化器外科分野教授で、次期本研究会会長の藤原俊義先生をお招きし、「次世代のがん治療のための遺伝子工学に基づく生物製剤の創薬研究」と題して大変貴重なご講演を拝聴することができました。また神奈川県立がんセンター消化器内科 上野誠先生と金沢医科大学 一般・消化器外科教授の宮下知治先生にも特別講演として貴重なご講演を賜りました。教育講演では、川崎医科大学 臨床腫瘍学講座 永坂岳司先生、富山大学大学院 消化器・腫瘍・総合外科教授 藤井努先生そして慶應義塾大学医学部 病理学教授 坂元亨宇先生に貴重なご講演を賜りました。イブニングセミナーでは、福島県立医科大学 消化管外科学講座教授の河野浩二先生と香川大学大学院臨床腫瘍学教授の辻晃仁先生に貴重なご講演を賜りました。本研究会での情報を共有し、それぞれの地域でのがん診療の向上のお役に立てることを祈念して稿を終えたいと思います。

最後になりましたが、この学会・研究会の開催にあたり御支援と御力添えをいただきました関係各位にこの場をお借りして深甚なる感謝の意を表します。皆様のご健勝とより一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(文責:鈴木伸明)



## 2021年5月27日(木) ライブ配信

### 開会式

15:55~16:00

### イブニングセミナー 1 消化器がんにおける免疫環境を考える—免疫チェックポイント阻害剤の最適化には？

16:00~16:50

司会：吉田 和弘（岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍制御学講座 腫瘍外科学分野）  
演者：河野 浩二（福島県立医科大学 消化器外科学講座）

共催：小野薬品工業株式会社/プリストル・マイヤーズ スクイフ株式会社

### 特別講演 1 次世代のがん治療のための遺伝子工学に基づく生物製剤の創薬研究

17:00~17:50

司会：岡 正明（山口大学）  
演者：藤原 俊義（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学分野）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

### 特別講演 2 HCCにおけるがん免疫療法、Atezolizumab+Bevacizumab併用療法への期待

18:00~18:50

司会：森 正樹（東海大学医学部）  
演者：上野 誠（和歌山県立がんセンター 消化器内科、新規治療開発支援センター）

共催：中外製薬株式会社

### 教育講演 1 リンチ症候群鑑別診断用DNA Chip（ジーンシリコン）の開発について

19:00~19:50

司会：和田 尚（大阪大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学講座）  
演者：永坂 岳司（川崎医科大学 臨床腫瘍学講座、川崎医科大学附属病院 臨床腫瘍科・遺伝診療部）

共催：東洋鋼板株式会社

## 2021年5月28日(金) ライブ配信

### イブニングセミナー 2 胃癌薬物療法の新たなる戦略

16:00~16:50

司会：北川 雄光（慶應義塾大学医学部 外科学）  
演者：辻 晃仁（香川大学医学部 臨床腫瘍学）

共催：大野薬品工業株式会社

### 教育講演 2 変わりつつある胃癌治療～新規薬物療法と手術戦略

17:00~17:50

司会：山上 裕義（和歌山県立医科大学 第二外科）  
演者：藤井 勇（富山大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍・総合外科）

共催：日本セルヴィエ株式会社/株式会社ヤクルト本社

### 特別講演 3 がん微小環境の改変を旨とした化学・免疫療法の可能性と今後の課題

18:00~18:50

司会：遠藤 格（横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科学）  
演者：宮下 知治（金沢医科大学 一般・消化器外科）

共催：MSD株式会社

### 教育講演 3 肝細胞癌における病理学的特異性と免疫療法への応用の可能性

19:00~19:50

司会：玉田 耕治（山口大学大学院医学系研究科 免疫学講座）

教室における肝細胞癌に対する免疫療法の開発  
演者：松井 洋人（山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学）

肝細胞癌の病理診断と免疫微小環境  
演者：坂元 亨子（慶應義塾大学医学部 病理学）

共催：サイトリミック株式会社

### 閉会式

19:50~19:55

## 誌上発表セッション(WEB配信、スライド公開はありません)

### 主題I 新規免疫療法への戦略とエビデンス

司会：森田 昌彦（福島県立医科大学 地域包括的診療研究講座）  
大辻 英吾（京都府立医科大学大学院 消化器外科）

SI-1 術前補助化学療法により産生されるIL-34が食道扁平上皮癌の増進マクロファージおよび薬剤感受性に及ぼす影響  
福島県立医科大学 消化器外科学講座/福島県立医科大学 肥満・体内炎症解析研究講座  
中崎正太郎

SI-2 新規免疫チェックポイント分子PTPN3を標的とする新たな免疫療法の可能性  
九州大学大学院医学研究科 先端医療学部門 腫瘍制御学分野  
益田 昌吾

SI-3 肺癌に対するp53拮抗薬腫瘍融解アデノウイルス製剤のCD8陽性エフェクターメモリーT細胞増加による長期的抗腫瘍免疫増強効果  
岡山大学医歯薬学総合研究科 消化器外科学教室  
橋本 祥志

SI-4 iPS細胞由来樹状細胞を用いた癌ワクチン療法  
和歌山県立医科大学 第2外科  
尾島 敏康

### 主題II ゲノム時代の癌免疫

司会：山口 住之（川崎医科大学 臨床腫瘍学）  
馬場 秀夫（熊本大学大学院生命科学研究部 消化器外科学）

SI-I dMMR大腸癌におけるTn抗原の発現と免疫抑制  
福島県立医科大学医学部 消化器外科学講座  
松本 拓朗

SI-II p53拮抗薬腫瘍融解ウイルスはゲムシタン耐性腫瘍が誘導する免疫抑制性の腫瘍微小環境を改善する  
岡山大学大学院医学系総合研究科消化器外科学  
梶原 義典

SI-III 大腸癌術前のKRAS変異circulating tumor DNA測定の再発予測因子としての有用性  
和歌山県立医科大学 第2外科  
中村 有貴

SI-IV 胆管癌におけるKras変異の検出  
日本医科大学付属病院  
神田 知洋

### 一般演説 1 炎症・癌局所微小環境

司会：大平 雅一（大阪市立大学大学院医学研究科消化器外科学 乳腺・内分泌外科学）

O1-1 大腸癌微小環境における高関連性癌細胞(CAF)が抗アポトーシス蛋白に及ぼす影響  
名古屋大学 消化器外科  
高橋 広成

O1-2 長期間の化学療法後では腫瘍浸潤リンパ球浸潤度は必ずしも予後と相関しない  
大阪市立大学大学院医学研究科 消化器外科  
王 恩

O1-3 口腔扁平上皮癌における腫瘍免疫様式と腫瘍免疫学的因子の関連性の検討  
大阪大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍免疫学/大阪大学大学院医学研究科 口腔外科学第2教室  
梶川ひとみ

O1-4 原因に関わらず大腸癌術後の高度炎症は長期予後の悪化に影響する  
大阪市立大学大学院医学研究科 消化器外科  
岡崎 由季

O1-5 肝細胞癌の予後因子としてのリンパ球CRP比の影響  
九州大学大学院 消化器・総合外科  
富野 高広

O1-6 胃癌における局所TLS形成と全身免疫指標NLRとの関係  
大阪市立大学大学院 消化器外科  
田中 浩明

O1-7 食道扁平上皮癌における術前化学療法によるTLS成熟化と予後の関係  
大阪市立大学大学院医学研究科 消化器外科学  
出口 悠大

O1-8 大腸癌における炎症と腸内細菌叢に関する検討  
滋賀医科大学 外科学講座  
三宅 亨

O1-9 直腸癌術前化学療法施行例における腫瘍免疫の微小環境と化学療法の効果との関連  
横浜国立大学 消化器・腫瘍外科学  
中川 和也

## 一般演題2 新規薬剤・化学療法・分子標的薬

司会：中村 聡史（九州大学大学院 臨床・腫瘍外科）

- O2-1 臨床応用を目指した天然化合物エシンの腫瘍に対する抗腫瘍効果の検討  
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学  
大見 潤
- O2-2 進行再発大腸癌に対するFOLFIRI+ramucirumab療法の検討  
川崎医科大学 消化器外科学/済生会栗橋病院 外科  
吉松 和彦
- O2-3 Rheumatrex投与中に発症した高齢者男性乳癌の1例  
日本歯科大学附属病院 乳腺内分泌外科/医療法人社団 藤崎病院 外科  
櫻井 健一
- O2-4 CDK4/6阻害剤が長期間奏功している高齢者乳癌多発肺転移症例  
日本歯科大学附属病院 乳腺内分泌外科/医療法人社団 藤崎病院 外科  
櫻井 健一
- O2-5 進行性腎細胞癌におけるNivolumab単独療法の効果に対する抗生剤の影響  
久留米大学医学部泌尿器科学教室  
植田 浩介
- O2-6 stagelV大腸癌に対するregorafenib投与で長期生存が得られた1例  
埼玉済生会栗橋病院 外科/東京女子医科大学東医療センター 外科  
河野 鉄平
- O2-7 CEA,リンパ球-単球比は新規分子標的薬のバイオマーカーとなる  
日本医科大学 消化器外科  
栗山 潤
- O2-8 HER2陽性消化管腫瘍の治療抵抗性に対する患者組織由来動物モデル(PDX)を用いた研究  
千葉大学大学院医学研究科 先端応用外科学  
平澤社一朗
- O2-9 コピキチンプロテアソーム系を応用した新規IPS細胞由来樹状細胞ワクチン療法の開発  
和歌山県立医科大学 第二外科  
富水 信太
- O2-10 XCR1+DCをターゲットとしたワクチンの開発  
和歌山県立医大 第2外科  
宮本 篤

## 一般演題3 基礎研究

司会：市川 大輔（山梨大学医学部 外科学講座第1教室）

- O3-1 口腔扁平上皮癌におけるHLA class Iおよび腫瘍浸潤リンパ球発現の予後因子としての有用性の検討  
札幌医科大学医学部 口腔外科学  
小池 和茂
- O3-2 大腸癌免疫微小環境に対するメトホルミンの影響  
自治医科大学附属病院 消化器一般移植外科学  
齋藤 晶
- O3-3 トリプルネガティブ乳癌におけるERO1L $\alpha$ をターゲットとする免疫複合療法の開発  
札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科  
九富 五郎
- O3-4 癌血管新生を標的としたアクチン結合タンパクGirdinの機能解析と治療への応用  
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学  
林 祐一
- O3-5 新規治療薬の開発を目指した消化器癌におけるProtein Kinase Dの機能解析  
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学  
松尾 洋一
- O3-6 2種類の同系大腸がんマウスモデルを用いた免疫応答誘導性化学療法  
松江赤十字病院 外科  
谷浦 隆仁
- O3-7 M2マクロファージの酸化ストレス抵抗性についての検討  
福島県立医科大学 消化器外科学講座  
伊藤 美郷

## 一般演題4 免疫チェックポイント

司会：松原 久裕（千葉大学大学院医学研究科 先端応用外科学）

- O4-1 胃癌患者におけるニボルマブ治療前後の血中治療効果予測マーカーの同定  
大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科  
齊藤 隆平
- O4-2 当科における11例の切除不能進行・再発食道癌に対するNivolumabの使用経験  
名古屋市立大学 大学院医学研究科 消化器外科学  
早川 俊輔
- O4-3 肺癌における腫瘍浸潤リンパ球のCTLA-4発現率と、腫瘍のPD-L1発現率との関係  
福島県立医科大学 呼吸器外科学  
武藤 哲史

- O4-4 癌関連線維芽細胞による免疫抑制環境での免疫チェックポイント阻害薬の有効性の探求  
岡山大学大学院医歯薬総合研究科 消化器外科学  
河崎 健人
- O4-5 当院における切除不能進行・再発食道癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の治療成績  
大阪大学大学院医学系研究科 外科系臨床医学専攻 外科学講座 消化器外科学  
林 寿延
- O4-6 非小細胞肺癌に対する免疫療法においてPD1高発現三次リンパ様構造は独立した長期抗腫瘍効果予測因子である  
福島県立医科大学呼吸器外科学講座  
松村 勇輝

## 一般演題5 バイオマーカー・個別化

司会：五井 季夏（福井大学医学部 第一外科）

- O5-1 胃癌組織内tertiary lymphoid structureとNivolumab治療効果の関連  
大阪市立大学大学院消化器外科  
森 拓哉
- O5-2 可溶性PD-L1の胃癌予後予測バイオマーカーとしての有用性  
千葉大学大学院医学研究科 先端応用外科  
佐々木拓馬
- O5-3 肺癌患者の病態把握を目的とした癌抗原特異的CD8T細胞反応解析  
大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科  
村上 弘大
- O5-4 腫瘍内CD8陽性T細胞浸潤は食道扁平上皮癌の予後を規定する  
千葉大学大学院医学研究科 先端応用外科学  
豊住 武司
- O5-5 緩和ケア介入を行ったがん患者の栄養評価  
八尾市立病院  
川田 純司
- O5-6 右側大腸癌におけるPIK3CA変異  
日本医科大学付属病院 消化器外科  
宮坂 俊光

## 一般演題6 症例・その他

司会：庄 龍之（奈良県立医科大学 消化器・総合外科学）

- O6-1 食道癌術後難治性リンパ胸に対してリンパ管造影が有用であった1例  
横浜南共済病院 外科  
澤崎 潤
- O6-2 腹腔鏡補助下に切除した小腸原発悪性リンパ腫による膵膵炎の1例  
東京品川病院 研修医  
大倉 拓
- O6-3 腹腔鏡下門側胃切除後早期に広範な残胃粘膜壊死をきたした1例  
東京品川病院 外科  
高橋 大志
- O6-4 胃癌術後に右腎転移を認めた1例  
横浜南共済病院 外科/横浜市立大学 外科治療学  
秋元 規宏
- O6-5 Ramucirumab+Nab-Paclitaxel併用療法中に虫衝瘻室に穿孔を来した胃癌の1例  
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院  
栗原 正尊
- O6-6 FOLFOXIRI/Bevacizumab療法により二期的RO切除が可能となった膵臓癌合併穿孔性BRAF変異陽性大腸癌の1例  
日本医科大学 消化器外科  
南野光太郎
- O6-7 mFOLFOX6療法が奏効した進行胃癌の1例  
八尾市立病院 外科  
川田 純司
- O6-8 化学療法に抵抗性を示したMSI-High進行胃癌の1例  
千葉大学大学院医学研究科 先端応用外科  
木下 和也
- O6-9 短期照射によるTotal Neoadjuvant Therapyを施行した局所進行直腸癌の1例  
日本医科大学付属病院 消化器外科  
林 光希
- O6-10 大腸癌の閉塞の程度が周期期に及ぼす影響について  
東京女子医科大学東医療センター 外科  
佐川まさの

# 教室関連研究会開催 報告



別府弁天池（美祿市）

# 第3回 山口食道がん研究会

2021.1.20

総合司会：永野 浩昭 先生

## 基調講演

当科におけるロボット支援下食道癌手術の導入と初期経験

演者：武田 茂 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座 診療准教授

## 特別講演

ロボット支援下食道癌手術の導入と展開

演者：白川 靖博 先生

広島市立広島市民病院 外科部長

## 第3回 山口食道がん研究会

日時 2021年1月20日(水) 18:30~20:00

実施形式 オンライン講演会

配信方法 Zoom(事前にアプリのダウンロードをお願いいたします。)  
※事前申し込み締め切り:1月18(月)18:00まで



参加の申し込みは左の二次元バーコードを  
読み取っていただくか  
「こちらをクリック」から入室ください

こちらをクリック

【開会のご挨拶】18:30~18:35

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座  
教授 永野 浩昭先生

【情報提供】18:35~18:45

『オラネジン液1.5%消毒用アプリケーションについて』 株式会社大塚製薬工場

【トピックス】18:45~19:00

『当科におけるロボット支援下食道がん手術の導入と初期経験』  
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座  
診療准教授・副科長 武田 茂先生

【特別講演】19:00~20:00

座長 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座  
教授 永野 浩昭先生

### 『ロボット支援下食道癌手術の導入と展開』

地方独立行政法人 広島市立病院機構  
広島市立市民病院 外科部長  
白川 靖博先生

【閉会のご挨拶】 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座  
教授 永野 浩昭先生

※ 当日はご参加頂いた確認のため、ご施設名、ご芳名、のご記憶をお願い申し上げます。  
尚、ご記入頂きました個人情報には、本講演会のご出席者の確認及び次回のご案内の為に共催関係者のみで使用し、  
その他の第三者に提供することはありません。また、適切に管理し、使用目的達成後にすみやかに廃棄いたします。  
共催 山口食道がん研究会 株式会社大塚製薬工場

# 第7回 山口乳癌研究会

2021.4.28

## Session1

司会：永野 浩昭 先生

山口県高齢乳癌診療の現状

～アンケート結果を踏まえて～

演者：前田 訓子 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 助教

## Session2

司会：濱野 公一 先生

HER2陽性乳癌の初期治療

～高齢者を中心にザンクトガレン2021を踏まえて～

演者：澤木 正孝 先生

愛知県がんセンター 乳癌科部 医長

## 第7回 山口乳癌研究会

日時 2021年4月28日(水) 19:00~20:30

配信方法 オンライン(ZOOM) 配信

(発信会場：山口グランドホテル 2階「鳳凰」)  
※事前参加登録をお願いいたします(裏面参照)

### PROGRAM

#### Session1

司会 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座  
教授 永野 浩昭 先生

### 『山口県高齢者乳癌診療の現状 ～アンケート結果を踏まえて～』

演者 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座  
助教 前田 訓子 先生

#### Session2

司会 山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学講座  
教授 濱野 公一 先生

### 『HER2陽性乳がんの初期治療 ～高齢者治療を中心にザンクトガレン2021を踏まえて～』

演者 愛知県がんセンター 乳癌科部  
医長 澤木 正孝 先生

共催 山口乳癌研究会・中外製薬株式会社

# 第9回 山口腓・胆道疾患研究会

2021.7.27

## 特別講演

座長：永野 浩昭 先生

膵癌の外科治療-現状と課題-

演者：田島 義証 先生

島根大学医学部 消化器・総合外科学 教授

## 第9回 山口腓・胆道疾患研究会

開催日 2021年7月27日 (火)  
時間 19:30～20:30

ZOOM Live配信  
本研究会は事前申し込み制でございます  
右のQRコードまたは下記URLより事前申し込みをお願いいたします  
<https://bit.ly/3hp8YG3>



## 特別講演



永野 浩昭 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授

「膵癌の外科治療- 現状と課題 -」



田島 義証 先生

島根大学医学部 消化器・総合外科学 教授

共催：日本セルヴィエ株式会社 株式会社ヤマト本社

# 第10回 山口腓・胆道疾患研究会

2021.11.16

## 特別講演

座長：永野 浩昭 先生

膵臓外科の進歩—臓器温存膵切除—

演者：堀口 明彦 先生

藤田保健衛生大学 消化器外科学講座 主任教授

## 第10回 山口腓・胆道疾患研究会

日時：2021年 11月 16 日(火) 19:30～20:30

インターネットLIVE配信

本会はZoomのシステムを利用した講演会となりますので、  
PC上での視聴となります。申し込み方法は裏面をご覧ください。

特別講演：19:30～20:30

座長 山口大学大学院医学系研究科  
消化器・腫瘍外科学 教授 永野 浩昭 先生

『膵臓外科の進歩  
—臓器温存膵切除—』

演者 藤田医科大学医学部 消化器外科学講座  
主任教授 堀口 明彦 先生

主催 大鵬薬品工業株式会社  
DAIKO PHARMACEUTICAL CO., LTD.

## 特別講演1

座長：濱野 公一 先生

Embryological planeを大切にした結腸癌に対する  
腹腔鏡下手術と内視鏡外科学という研究

演者：恵木 浩之 先生

愛媛大学大学院医学系研究科 消化器腫瘍外科 准教授

## 特別講演2

座長：永野 浩昭 先生

EBMとしての鏡視下胃切除とその先

演者：市川 大輔 先生

山梨大学医学部外科学講座 第一教室 教授

2021  
12/1  
[Wednesday]  
19:00-21:10

### 第5回山口消化管内視鏡外科研究会 (Web開催)

中継会場：ANAクラウンプラザホテル宇木

ZOOM参加：URL：<https://bit.ly/3EH8vl2>  
ミーティングID 968 3603 4959  
パスコード 708514



19:00 開会挨拶 濱野公一先生

19:05 特別講演1  
座長 濱野公一先生 山口大学 大学院医学系研究科  
器官病態外科学 教授  
「Embryological plane を大切にした  
結腸癌に対する腹腔鏡下手術と内視鏡外科学という研究」  
演者 恵木浩之先生 愛媛大学 大学院医学系研究科医学専攻  
消化器腫瘍外科 准教授

20:05 休憩

20:10 特別講演2  
座長 永野浩昭先生 山口大学 大学院医学系研究科  
消化器・腫瘍外科学 教授  
「EBMとしての鏡視下胃切除とその先」  
演者 市川大輔先生 山梨大学医学部外科学講座  
第一教室 教授

21:10 閉会の挨拶 永野浩昭先生

ETHICON  
山梨大学医学部外科学講座 第一教室 教授

# 2021年 業績報告



関門海峡花火大会（下関市）

# 英文論文

1. Shindo Y, Kobayashi S, Wada H, Tokumitsu Y, Matsukuma S, Matsui H, Nakajima M, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Hoshii Y, Eguchi H, Nagano H. Short- and Long-Term Outcomes of Simultaneous Hepatic Artery Resection and Reconstruction for Perihilar Cholangiocarcinoma. *Gastrointest Tumors*. 2021 Jan ; 8(1) 25-32
2. Amo-Shiinoki K, Tanabe K, Hoshii Y, Matsui H, Harano R, Fukuda T, Takeuchi T, Bouchi R, Takagi T, Hatanaka M, Takeda K, Okuya S, Nishimura W, Kudo A, Tanaka S, Tanabe M, Akashi T, Yamada T, Ogawa Y, Ikeda E, Nagano H, Tanizawa Y. Islet cell dedifferentiation is a pathologic mechanism of long-standing progression of type 2 diabetes. *JCI Insight*. 2021 Jan ; 6(1) e143791
3. Yamada K, Hazama S, Suzuki N, Xu M, Nakagami Y, Fujiwara N, Tsunedomi R, Yoshida S, Tomochika S, Matsukuma S, Matsui H, Tokumitsu Y, Kanekiyo S, Shindo Y, Watanabe Y, Iida M, Takeda S, Ioka T, Ueno T, Ogihara H, Hamamoto Y, Hoshii Y, Kawano H, Fujita T, Kawakami Y, Nagano H. Siglec-7 is a predictive biomarker for the efficacy of cancer vaccination against metastatic colorectal cancer. *Oncol Lett*. 2021 Jan ; 21(1) 10
4. Fujimoto T, Tsunedomi R, Matsukuma S, Yoshimura K, Oga A, Fujiwara N, Fujiwara Y, Matsui H, Shindo Y, Tokumitsu Y, Suzuki N, Kobayashi S, Hazama S, Eguchi H, Nagano H. Cathepsin B is highly expressed in pancreatic cancer stem-like cells and is associated with patients' surgical outcomes. *Oncol Lett*. 2021 Jan ; 21(1) 30
5. Kang CM, Suh KS, Yi NJ, Hong TH, Park SJ, Ahn KS, Hayashi H, Choi SB, Jeong CY, Takahara T, Shiozaki S, Roh YH, Yu HC, Fukumoto T, Matsuyama R, Naoki U, Hashida K, Seo HI, Okabayashi T, Kitajima T, Satoi S, Nagano H, Kim H, Taira K, Kubo S, Choi DW. Should Lymph Nodes Be Retrieved in Patients with Intrahepatic Cholangiocarcinoma? A Collaborative Korea-Japan Study. *Cancers (Basel)*. 2021 Jan ; 13(3) 445
6. Ueno M, Morinaga S, Hashimoto Y, Umemoto K, Sasahira N, Saiura A, Seyama Y, Honda G, Ioka T, Takahashi H, Miyamoto A, Nakamori S, Unno M, Takadate T, Mizuno N, Shimizu Y, Ueno H, Sugiyama M, Fukutomi A, Shimizu S, Okusaka T, Furuse J. Tolerability of Nab-Paclitaxel Plus Gemcitabine as Adjuvant Setting in Japanese Patients With Resected Pancreatic Cancer: Phase I Study. *Pancreas*. 2021 Jan ; 50(1) 83-88
7. Fukuda J, Ikezawa K, Nakao M, Okagaki S, Ashida R, Ioka T, Takada R, Yamai T, Fukutake N, Uehara H, Nagata S, Takahashi H, Tabuchi T, Tanaka S, Ohkawa K, Katayama K. Predictive Factors for Pancreatic Cancer and Its Early Detection Using Special Pancreatic Ultrasonography in High-Risk Individuals. *Cancers (Basel)*. 2021 Jan ; 13(3) 502
8. Ioka T, Furuse J, Fukutomi A, Mizusawa J, Nakamura S, Hiraoka N, Ito Y, Katayama H, Ueno M, Ikeda M, Sugimori K, Okano N, Shimizu K, Yanagimoto H, Okusaka T, Ozaka M, Todaka A, Nakamori S, Tobimatsu K, Sata N, Kawashima Y, Hosokawa A, Yamaguchi T, Miyakawa H, Hara H, Mizuno N, Ishii H. Randomized phase II study of chemoradiotherapy with versus without induction chemotherapy for locally advanced pancreatic cancer : Japan Clinical Oncology Group trial, JCOG1106. *Jpn J Clin Oncol*. 2021 Feb ; 51(2) 235-243
9. Shinozaki K, Yamada T, Nasu J, Matsumoto T, Yuasa Y, Shiraishi T, Nagano H, Moriyama I, Fujiwara T, Miguchi M, Yoshida R, Nozaka K, Tanioka H, Nagasaka T, Kurisu Y, Kobayashi M, Tsuchihashi K, Inukai M, Kikuchi T, Nishina T. A phase II study of FOLFOXIRI plus bevacizumab as initial chemotherapy for patients with untreated metastatic colorectal cancer: TRICC1414 (BeTRI). *Int J Clin Oncol*. 2021 Feb ; 26(2) 399-408
10. Saito A, Toyoda H, Kobayashi M, Koiwa Y, Fujii H, Fujita K, Maeda A, Kaneoka Y, Hazama S, Nagano H, Mirza AH, Graf HP, Cosatto E, Murakami Y, Kuroda M. Prediction of early recurrence of hepatocellular carcinoma after resection using digital pathology images assessed by machine learning. *Mod Pathol*. 2021 Feb ; 34(2) 417-425
11. Maruki Y, Morizane C, Arai Y, Ikeda M, Ueno M, Ioka T, Naganuma A, Furukawa M, Mizuno N, Uwagawa T, Takahara N, Kanai M, Asagi A, Shimizu S, Miyamoto A, Yukisawa S, Kadokura M, Kojima Y, Furuse J, Nakajima TE, Sudo K, Kobayashi N, Hama N, Yamanaka T, Shibata T, Okusaka T. Molecular detection and clinicopathological characteristics of advanced/recurrent biliary tract carcinomas harboring the FGFR2 rearrangements: a prospective observational study (PRELUDE Study). *J Gastroenterol*. 2021 Mar ; 56(3) 250-260 and 297
12. Takaichi S, Tomimaru Y, Kobayashi S, Takeda Y, Nakahira S, Tsujie M, Yukawa M, Shimizu J, Murakami M, Miyamoto A, Asaoka T, Sakai K, Morimoto O, Tori M, Yamamoto T, Fukuchi N, Nagano H, Doki Y, Eguchi H. Drainage after laparoscopic liver surgery in the CSGO-HBP-004 study propensity score-matched analysis. *Br J Surg*. 2021 Mar ; 108(2) e57-e58

13. Fujiwara Y, Tsunedomi R, Yoshimura K, Matsukuma S, Fujiwara N, Nishiyama M, Kanekiyo S, Matsui H, Shindo Y, Tokumitsu Y, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Hazama S, Nagano H. Pancreatic Cancer Stem-Like Cells With High Calreticulin Expression Associated With Immune Surveillance. *Pancreas*. 2021 Mar ; 50(3) 405-413
14. Marubashi S, Nagano H. Laparoscopic living-donor hepatectomy : Review of its current status. *Ann Gastroenterol Surg*. 2021 Mar ; 5(4) 484-493
15. Matsui H, Hazama S, Nakajima M, Xu M, Matsukuma S, Tokumitsu Y, Shindo Y, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Ueno T, Oka M, Nagano H. Novel adjuvant dendritic cell therapy with transfection of heat-shock protein 70 messenger RNA for patients with hepatocellular carcinoma : a phase I/II prospective randomized controlled clinical trial. *Cancer Immunol Immunother*. 2021 Apr ; 70(4) 945-957 and 959
16. Matsukuma S, Nagano H, Kobayashi S, Wada H, Seo S, Tsugawa D, Okuyama H, Iida K, Ohmura Y, Takeda Y, Miyamoto A, Nakashima S, Yamada T, Ajiki T, Tsuji A, Yoshimura K, Eguchi H, Hatano E, Ioka T. The impact of peritoneal lavage cytology in biliary tract cancer (KHBO1701) : Kansai Hepato-Biliary Oncology Group. *Cancer Rep (Hoboken)*. 2021 Apr ; 4(2) e1323
17. Miyasaka Y, Ohtsuka T, Eguchi S, Inomata M, Nishihara K, Shinchi H, Okuda K, Baba H, Nagano H, Ueki T, Noshiro H, Nakamura M. Neoadjuvant Chemotherapy with Gemcitabine Plus Nab-Paclitaxel Regimen for Borderline Resectable Pancreatic Cancer with Arterial Involvement : A Prospective Multicenter Single-Arm Phase II Study Protocol. *Int J Surg Protoc*. 2021 Apr ; 25(1) 55-60
18. Suzuki N, Yoshida S, Tomochika S, Nakagami Y, Shindo Y, Tokumitsu Y, Iida M, Takeda S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Determining the protective characteristics and risk factors for the development of anastomotic leakage after low anterior resection for rectal cancer. *Surg Today*. 2021 May ; 51(5) 713-720
19. Tomochika S, Suzuki N, Yoshida S, Fujii T, Tokumitsu Y, Shindo Y, Iida M, Takeda S, Hazama S, Nagano H. Laparoscopic Sutureless Rectopexy Using a Fixation Device for Complete Rectal Prolapse. *Surg Laparosc Endosc Percutan Tech*. 2021 May ; 31(5) 608-612
20. Kuhara K, Kitagawa T, Baron B, Tokuda K, Sakamoto K, Nagano H, Nakamura K, Kobayashi M, Nagayasu H, Kuramitsu Y. Proteomic Analysis of Hepatocellular Carcinoma Tissues With Encapsulation Shows Up-regulation of Leucine Aminopeptidase 3 and Phosphoenolpyruvate Carboxykinase 2. *Cancer Genomics Proteomics*. 2021 May-Jun ; 18(3) 307-316
21. Takayama W, Endo A, Murata K, Hoshino K, Kim S, Shinozaki H, Harada K, Nagano H, Hagiwara M, Tsuchihashi A, Shimada N, Kitamura N, Kuramoto S, Otomo Y. The impact of blood type on the mortality of patients with severe abdominal trauma: a multicenter observational study. *Sci Rep*. 2021 Aug ; 11(1) 16147
22. Yamagata H, Kobayashi A, Tsunedomi R, Seki T, Kobayashi M, Hagiwara K, Chen C, Uchida S, Okada G, Fuchikami M, Kamishikiryo T, Iga JI, Numata S, Kinoshita M, Kato TA, Hashimoto R, Nagano H, Okamoto Y, Ueno S, Ohmori T, Nakagawa S. Optimized protocol for the extraction of RNA and DNA from frozen whole blood sample stored in a single EDTA tube. *Sci Rep*. 2021 Aug ; 11(1) 17075
23. Kobayashi S, Ueno M, Ogawa G, Fukutomi A, Ikeda M, Okusaka T, Sato T, Ito Y, Kadota T, Ioka T, Sugimori K, Sata N, Nakamori S, Shimizu K, Mizuno N, Ishii H, Furuse J. Impact of Renal Function on S-1 + Radiotherapy for Locally Advanced Pancreatic Cancer : An Integrated Analysis of Data From 2 Clinical Trials. *Pancreas*. 2021 Aug ; 50(7) 965-971
24. Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsukuma S, Matsui H, Nakajima M, Suzuki N, Takeda S, Hoshii Y, Nagano H. Hepatic artery resection and reconstruction using the right gastroepiploic artery during pancreaticoduodenectomy in advanced pancreatic cancer. *Langenbecks Arch Surg*. 2021 Sep ; 406(6) 2075-2080
25. Elbadawy M, Hayashi K, Ayame H, Ishihara Y, Abugomaa A, Shibutani M, Hayashi SM, Hazama S, Takenouchi H, Nakajima M, Tsunedomi R, Suzuki N, Nagano H, Shinohara Y, Kaneda M, Yamawaki H, Usui T, Sasaki K. Anti-cancer activity of amorphous curcumin preparation in patient-derived colorectal cancer organoids. *Biomed Pharmacother*. 2021 Oct ; 142 112043

26. Tanaka Y, Takeuchi H, Nakashima Y, Nagano H, Ueno T, Tomizuka K, Morita S, Emi Y, Hamai Y, Hihara J, Saeki H, Oki E, Kunisaki C, Otsuji E, Baba H, Matsubara H, Maehara Y, Kitagawa Y, Yoshida K. Effects of an elemental diet to reduce adverse events in patients with esophageal cancer receiving docetaxel/cisplatin/ 5-fluorouracil : a phase III randomized controlled trial-EPOC 2 (JFMC49-1601-C5). *ESMO Open*. 2021 Oct ; 6(5) 100277
27. Kubo M, Gotoh K, Kobayashi S, Iwagami Y, Yamada D, Tomimaru Y, Akita H, Noda T, Marubashi S, Nagano H, Dono K, Doki Y, Eguchi H. Modified Cavoportal Hemitransposition for Severe Portal Vein Thrombosis Contributed to Long-term Survival After Deceased Donor Liver Transplantation-Insight Into Portal Modulation for Improving Survival: A Case Report. *Transplant Proc*. 2021 Oct ; 53(8) 2580-2587
28. Namba S, Ueno T, Kojima S, Kobayashi K, Kawase K, Tanaka Y, Inoue S, Kishigami F, Kawashima S, Maeda N, Ogawa T, Hazama S, Togashi Y, Ando M, Shiraishi Y, Mano H, Kawazu M. Transcript-targeted analysis reveals isoform alterations and double-hop fusions in breast cancer. *Commun Biol*. 2021 Nov ; 4(1) 1320
29. Matsukuma S, Tokumitsu Y, Nakagami Y, Shindo Y, Matsui H, Nakajima M, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Nagano H. Laparoscopic resection reduces superficial surgical site infection in liver surgery. *Surg Endosc*. 2021 Dec ; 35(12) 7131-7141
30. Fujimoto Y, Suehiro Y, Kaino S, Suenaga S, Tsuyama T, Matsui H, Higaki S, Fujii I, Suzuki C, Hoshida T, Matsumoto T, Takami T, Nagano H, Sakaida I, Yamasaki T. Combination of CA19-9 and Blood Free-Circulating Methylated RUNX3 May Be Useful to Diagnose Stage I Pancreatic Cancer. *Oncology*. 2021 ; 99(4) 234-239
31. Nakajima M, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Matsukuma S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H. The Recent Development of the Surgical Treatment for Hepatocellular Carcinoma. *Applied Sciences*. 2021 ; 11(5) 2023

# 和文論文

1. 前田訓子 乳がんの診療について 2021年1月1日 55-59
2. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、永野浩昭 肝移植後にみられる肝疾患 別冊 日本臨床 領域別症候群シリーズ No.14 肝・胆道系症候群(第3版) (Ⅱ) 肝臓編(下) - その他の肝・胆道系疾患を含めて - 2021年2月 367-371
3. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、吉田 晋、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 生体肝移植ドナーにかかわる諸問題 臨床雑誌 外科 第83巻 第2号(2月号) 2021年2月 109-113
4. 井岡達也、永野浩昭、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、山田健介 切除不能胆道がんに対する化学療法のエビデンス 腫瘍内科 第27巻 第2号(通巻158号) 2021年2月 157-161
5. 千々松日香里、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 術前化学放射線療法後に腹腔鏡補助下骨盤内臓全摘術を完遂した直腸癌吻合部再発の1例癌と化学療法 第48巻 第2号 2021年2月 242-244
6. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、木村相泰、永野浩昭 メシル酸イマチニブの術前投与により低侵襲根治手術を施行し得た直腸 GIST の1例癌と化学療法 第48巻 第2号 2021年2月 269-272
7. 友近 忍、桑原太一、鈴木伸明、碓 彰一、永野浩昭 大腸癌治療切除後の予後予測マーカーとしての免疫関連因子 癌と化学療法 第48巻 第3号 2021年3月 325-330
8. 亀井滝士、山本達人、藤原康弘、坂本和彦、北村義則、安藤静一郎、松井洋人、吉野茂文、永野浩昭 Imatinib が長期奏効している多発肝転移・腹膜播種・骨転移を認めた原発不明GIST の1例 癌と化学療法 第48巻 第4号 2021年4月 560-562
9. 渡邊裕策、武田 茂、飯田通久、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 貧血 消化器外科 2021年5月 臨時増刊号 第44巻 第6号 通巻第553号 2021年5月 1072-1074
10. 松井洋人、永野浩昭 肝切除 改訂5版 必ず役立つ! 肝炎診療バイブル 研修医・レジデント必携 第5版 第1刷 2021年8月 280-286
11. 日比泰造、武富紹信、池田徳彦、永野浩昭、小野稔、北川雄光、森正樹 日本医学会連合緊急提言: コロナ禍における医療提供体制-日本外科学会および外科系学会の取り組み 学術の動向 第26巻 第9号(通巻306号) 2021年9月 53-59
12. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、白濱つづり、河野裕夫、池田栄二、永野浩昭 腹腔鏡下腹会陰式直腸切断術を施行した直腸肛門部悪性黒色腫の3例 日本消化器外科学会雑誌 第54巻 第9号 2021年9月 644-656
13. 兼定 航、恒富亮一、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 膵癌 modified FOLFIRINOX療法における副作用と関連する遺伝子多型の探索 山口医学 第70巻 第3号 2021年9月 143
14. 井岡達也、波多野悦朗、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、山田健介、永野浩昭 切除不能胆道癌に対する1次薬物療法 胆と膵 第42巻 臨時増刊特大号 2021年11月 1141-1144
15. 井岡達也、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、山田健介、永野浩昭 膵がん 腫瘍内科 第28巻 第6号(通巻168号) 2021年12月 622-627
16. 古谷 圭、井岡達也、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、山田健介、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 レンバチニブを含む集学的治療を行った混合型肝癌の1切除例 癌と化学療法 第48巻 第13号(通巻665号) 2021年12月 1694-1696
17. 尤 曉琳、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、山本常則、中島千代、西山光郎、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 術後胸水コントロールに苦慮した肝硬変併存胸部食道癌の1切除例 癌と化学療法 第48巻 第13号(通巻665号) 2021年12月 2036-2038
18. 山田健介、井岡達也、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 進行下部直腸癌に対し FOLFOXIRI + Cetuximab 療法による術前化学療法を施行した1例 癌と化学療法 第48巻 第13号(通巻665号) 2021年12月 2067-2069
19. 藤原康弘、井岡達也、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、山田健介、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 術前化学療法により治療切除し得た高齢者の進行肝内胆管癌の1例 癌と化学療法 第48巻 第13号(通巻665号) 2021年12月 2085-2087

20. 濱崎太郎、西村拓、来嶋大樹、太田啓介、徳久善弘、瀬戸口美保子 切除不能進行胃癌に対しSOX/T-mab療法後に Conversion Surgery を施行し pCR を得た1例 癌と化学療法 第48巻 第13号 (通巻665号) 2021年12月 2124-2126
21. 酒井豊吾、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、兼定 航、飯田通久、武田 茂、  
井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 盲腸癌卵巣転移によるPseudo-Meigs症候群の1例 癌と化学療法 第48巻 第13号 (通巻665号) 2021年12月 2142-2144

# 国際学会発表・司会

**JSH International Liver Conference 2021 Pioneering New Frontier in Liver Cancer**

— From Bench to Bedside and Beyond —

**Fukuoka, Hakata International Exhibition Hall & Conference Center. 2021 October 2-3**

Chair man, Nagano H, Poster Session 5. Loco-regional therapy.

**Asia Pacific Cholangiocarcinoma Virtual Meeting 2021 October 1**

Presenter, Ioka T, Nara S. The perioperative trial for biliary tract cancer in Japan (JCOG1920).

# 国内学会・研究会 発表・司会

## 第29回日本癌病態治療研究会 1/14-1/15 誌上開催

1. 永野浩昭 ワークショップ3 がん研究の未来を拓く若手研究者 ワークショップ 司会
2. 裕 彰一 ポスター16 大腸3 ポスター 司会
3. 中上裕有樹、裕 彰一、玉田耕治、安達圭志、坂元亨宇、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聡、徳光幸生、友近 忍、飯田通久、吉田 晋、鈴木伸明、武田 茂、加藤直也、永野浩昭 HCCに対する新規術前後ワクチン療法施行症例のマスサイトメトリーによる免疫チェックポイントの解析 ワークショップ
4. 山本常則、裕 彰一、桑原太一、中上裕有樹、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、飯田通久、吉田 晋、鈴木伸明、武田 茂、河上 裕、永野浩昭 大腸癌腫瘍内リンパ球浸潤並びにサイトカイン mRNA 発現解析研究の成果 ポスター

## 第96回大腸癌研究会 1/21-1/22 東京 浜松町コンベンションホール ハイブリッド開催

1. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、松隈 聡、松井洋人、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 下部直腸癌に対する経肛門的腫瘍切除術の検討 口演
2. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 SM以深の直腸肛門部悪性黒色腫に対するリンパ節郭清範囲の検討—自験例3例と併せて—示説
3. 千々松日香里、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 Pseudo-Meigs 症候群を呈した盲腸癌卵巣転移の1例 示説
4. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における潰瘍性大腸炎に伴うColitis associated cancer の外科治療成績 示説

## 第8回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会 1/23 WEB開催

1. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 脳神経内分泌腫瘍に対する至適切除術式の検討 一般演題

## 第32回日本肝胆膵外科学会学術集会 2/23 WEB開催

1. Nagano H. Debate 3Advanced gallbladder carcinoma : Hepatopancreatoduodenectomy vs. chemotherapy Moderators
2. Matsukuma S, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Nakajima M, Kanekiyo S, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Wada H, Takahashi H, Noda T, Kobayashi S, Eguchi H, Nagano H. Multidisciplinary treatment for hepatocellular carcinoma with tumor thrombus in inferior vena cava or right atrium. Panel Discussion
3. Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Kanekiyo S, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. The laparoscopic approach to secure the cystic plate as the landmarks of anatomical liver resection and gallbladder dissection for suspected gallbladder cancer Mini Video Symposium
4. Nakajima M, Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsukuma S, Matsui H, Kanekiyo S, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Therapeutic efficacy of the neoadjuvant chemotherapy for borderline-resectable pancreatic ductal adenocarcinoma. Mini Panel Discussion
5. Matsui H, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsukuma S, Nakajima M, Kanekiyo S, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Verification of the optimal surgical method and Usefulness of preoperative PET for pNET. Selected Oral
6. Kimura Y, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Kanekiyo S, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Significance of 99mTc-GSA scintigraphy for preoperative assessment of liver function in hepatocellular carcinoma patients. Poster

7. Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Kanekiyo S, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Predictive Factors for Early Recurrence of Resectable Pancreatic Cancer. Poster
8. Fujimoto T, Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Kanekiyo S, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Successful management with intra-aortic balloon occlusion for rupture of the splenic artery aneurysm after pancreaticoduodenectomy: a case report. Poster
9. Yamada K, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Kanekiyo S, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. A resected case of solid pseudopapillary neoplasm of the pancreas with difficulty in preoperative diagnosis. Poster

#### 第93回日本胃癌学会総会 3/3-3/5 WEB開催

1. 中島千代、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、山本常則、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 当科における胃癌に対する脾合併切除胃全摘術の手術成績 一般演題口演
2. 飯田通久、武田 茂、渡邊裕策、山本常則、中島千代、西山光郎、永野浩昭 内臓脂肪面積はCRPによる胃癌術後感染性合併症予測に影響する 一般演題口演
3. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 高齢者胃癌手術の短期および長期成績のリスク因子の検討 一般演題口演

#### 第33回日本内視鏡外科学会総会 JSES 2020 3/10-3/15 パソフィコ横浜 ハイブリッド開催

1. 永野浩昭 緊急特別企画4 遠隔教育がもたらす内視鏡外科教育の未来 特別発言
2. Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Kanekiyo S, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Yoshino S, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Efficacy of laparoscopic liver resection for hepatocellular carcinoma located in the hepatic dome 一般演題
3. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 多発肝腫瘍に対する腹腔鏡下多部位肝部分切除術の適応と治療成績 デジタルポスター
4. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 膵頭部の非機能性神経内分泌腫瘍に対し腹腔鏡下核出術を施行した1例 デジタルポスター

#### 第121回日本外科学会定期学術集会 4/8-4/10 WEB開催

1. 永野浩昭 ワークショップ 21 肝内胆管癌の外科治療の現状と課題：成績向上はあるのか？ 司会
2. 碓 彰一 サージカルフォーラム (031) 大腸-バイオマーカー 司会
3. 武田 茂、飯田通久、西山光郎、中島千代、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 反回神経周囲リンパ節郭清における術中神経モニタリングの有用性 パネルディスカッション
4. 山本常則、武田 茂、飯田通久、西山光郎、渡邊裕策、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 胃癌切除症例におけるサルコペニア肥満の臨床的意義 サージカルフォーラム
5. 西山光郎、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、中島千代、山本常則、松隈 聡、松井洋人、前田訓子、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術後1年の経口摂取と栄養状態の推移について サージカルフォーラム
6. 太田啓介、武田 茂、兼清信介、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、山本常則、松隈 聡、松井洋人、前田訓子、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 切除不能・再発食道癌に対する biweekly docetaxel/nedaplatin 療法の検討 サージカルフォーラム
7. 飯田通久、武田 茂、渡邊裕策、山本常則、中島千代、西山光郎、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 高齢者胃癌に対する胃切除における長期的成績の予測因子 サージカルフォーラム
8. 尤 曉琳 CRP による胃癌術後の感染性合併症予測は内臓脂肪面積に影響される ポスターセッション

9. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、藤本拓也、山田健介、木村祐太、中上祐有樹、渡邊裕策、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝切除における腹腔鏡アプローチの導入は術後感染性合併症軽減に寄与する ポスターセッション
10. 徳久晃弘、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肥満症例に対する腹腔鏡下肝切除術の検討 ポスターセッション
11. 酒井豊吾、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 教室における IPMN 切除症例の治療成績 ポスターセッション
12. 藤本拓也、恒富亮一、松隈 聡、吉村清、小賀厚徳、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、小林省吾、井岡達也、江口英利、永野浩昭 CathepsinB は肝癌 stem like cells に高発現し治癒切除後の予後と関連している ポスターセッション
13. 山本 滋、西田裕紀、得能和久、河岡徹、為佐卓夫、長島由紀子、久保秀文、前田訓子、永野浩昭 当科でルーチンに施行している乳腺専用鉗子を用いた円柱状乳腺部分切除後の欠損部部分的補填手技と整容性 ポスターセッション
14. 千々松日香里、鈴木伸明、友近 忍、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科の人工肛門閉鎖術式の変遷と成績比較 ポスターセッション
15. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 進行下部直腸癌に対する予防的側方郭清の治療成績 ポスターセッション
16. 古谷 圭、徳光幸生、中島正夫、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、渡邊裕策、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 肝後上領域初発肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除術とラジオ波焼灼療法の検討 ポスターセッション
17. 山田健介、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 75 歳以上の初発肝細胞癌患者に対する肝切除術とラジオ波焼灼療法の検討 ポスターセッション
18. 木村祐太、恒富亮一、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝癌細胞株から誘導したがん幹細胞様細胞の免疫逃避能に関する研究ポスターセッション
19. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 肝葉切除を伴う進行胆道癌に対する集学的治療の意義 ポスターセッション
20. 碓 彰一、玉田耕治、加藤直也、坂元亨宇、永野浩昭 消化器癌に対する新規複合免疫療法 特別企画
21. 渡邊裕策、武田 茂、飯田通久、山本常則、中島千代、西山光郎、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術後再発症例の検討 ワークショップ
22. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、松井洋人、藤本拓也、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 リンパ節転移陽性肝内胆管癌に対する術前化学療法の検討 ワークショップ
23. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 直腸癌手術における ICG 蛍光法の有用性 サージカルフォーラム
24. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 Surgical trunk を意識した頭側アプローチ先行による腹腔鏡下右側結腸切除術の工夫 サージカルフォーラム
25. 中島千代、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、山本常則、松隈 聡、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科で施行した上部進行胃癌に対する胃全摘術・脾合併切除の検討 ポスターセッション
26. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における局所進行直腸癌に対する術前化学療法の安全性および治療効果について ポスターセッション

**第107回日本消化器病学会総会 4/15-4/17 東京 京王プラザホテル ハイブリッド開催**

1. 永野浩昭 ワークショップ19：消化器領域の救急医療，急性肝不全 司会

**第75回手術手技研究会 5/14-5/15 三島市民文化会館 ハイブリッド開催**

1. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 門脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌手術に対する「胆嚢牽引法を用いた肝門部グリソン一括確保」の応用。デジタルポスター

#### 第43回日本癌局所療法研究会 5/21 WEB開催

1. 尤 曉琳、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、山本常則、中島千代、西山光郎、中島正夫、松隈 聰、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 術後胸水コントロールに苦慮した肝硬変合併胸部食道癌の1切除例 一般演題
2. 山田健介、井岡達也、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聰、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 進行下部直腸癌に対し、FOLFOXIRI+Pmab 療法による術前化学療法を施行した一例 一般演題
3. 酒井豊吾、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聰、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 盲腸癌卵巣転移による Pseudo-Meigs 症候群の1例 一般演題
4. 藤原康弘、井岡達也、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聰、中島正夫、藤本拓也、中島千代、西山光郎、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、裕 彰一、永野浩昭 術前化学療法を行い治癒切除が得られた高齢者肝内胆管癌の一例 一般演題
5. 古谷 圭、井岡達也、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聰、中島正夫、山田健介、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 レンパチニブを含む集学的治療を行った混合型肝癌の1例 一般演題。
6. 濱崎太郎、西村拓、来嶋大樹、太田啓介、徳久善弘、瀬戸口美保子 切除不能進行胃癌に対し、SOX+T-mab 療法後に Conversion Surgery を施行し pCR を得た1例 一般演題
7. 来嶋大樹、濱崎太郎、太田啓介、徳久善弘、西村拓、瀬戸口美保子 盲腸癌に対し腹腔鏡下回盲部切除後に臍部ポートサイトと吻合部近傍小腸に再発した1例 一般演題

#### 第18回日本免疫治療学会学術集会 5/23 WEB開催

1. 永野浩昭 特別講演 司会
2. 裕 彰一 教育講演2 司会
3. 裕 彰一、恒富亮一、玉田耕治、宇高恵子、永野浩昭 消化器がんの高免疫原性ネオアンチゲン同定におけるAIの有用性 シンポジウム
4. 中島正夫、裕 彰一、玉田耕治、宇高恵子、土肥 俊、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、恒富亮一、永野浩昭 進行消化器癌患者を対象とした新規ペプチドワクチン療法の第1相臨床試験 ポスター
5. 中上裕有樹、裕 彰一、玉田耕治、土肥俊、中島正夫、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聰、徳光幸生、永野浩昭 免疫染色と CyTOF による切除可能な肝細胞癌に対する新規術前ペプチド+免疫アジュバント併用療法施行症例の治療前生検と切除標本のTIL解析 ポスター
6. 松井洋人、裕 彰一、新藤芳太郎、徳光幸生、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 肝細胞癌術後再発予防を目的とした HSP70mRNA 導入樹状細胞療法の第 I / II 相ランダム化比較臨床試験 ポスター

#### 第42回癌免疫外科研究会 5/27-28 WEB開催

1. 松井洋人 教室における肝細胞癌に対する免疫療法の開発 教育講演3

#### 第33回日本肝胆膵外科学会学術集会 6/2 WEB開催

1. Nagano H. Afternoon Seminar 2 Moderator
2. Nagano H. Panel Discussion 3 Therapeutic strategy for advanced hepatocellular carcinoma Moderators
3. Nakajima M, Hazama S, Nakagami Y, Tamada K, Udaka K, Sakamoto M, Kato N, Akinaga S, Saito A, Adachi K, Matsui H, Matsukuma S, Shindo Y, Tokumitsu Y, Iida M, Tsunedomi R, Suzuki N, Doi S, Ioka T, Nagano H. Histopathological and mass cytometry analyses of tumor microenvironments after a novel neoadjuvant peptide vaccination therapy for resectable HCC. Workshop
4. Matsukuma S, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Nakajima M, Kimura Y, Watanabe Y, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Hazama S, Ueno T, Nagano H. Liver resection with thrombectomy following concurrent hepatic arterial infusion chemotherapy and radiotherapy for patients with hepatocellular carcinoma and tumor thrombus in the first-order or main trunk or contralateral portal vein. Panel Discussion
5. Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Watanabe Y, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Hazama S, Ueno T, Ioka T, Nagano H. Laparoscopic partial liver resection for small lesion located in the hepatic dome Oral

6. Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Ueno T, Nagano H. Pancreatectomy with arterial resection for pancreatic cancer. Oral
7. Kimura Y, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Matsukuma S, Watanabe Y, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Hazama S, Ueno T, Ioka T, Nagano H. Clinical outcomes after total pancreatectomy. Poster

### 第30回日本癌病態治療研究会 6/11 WEB開催

1. 裕 彰一 特別講演2 最近の免疫研究をふり返って～免疫研究の今後～ 特別講演

### 第57回日本肝臓学会総会 6/17-6/18 京王プラザホテル札幌ロイトン札幌 ハイブリッド開催

1. 永野浩昭 ワークショップ1 肝移植の現状と課題Liver transplantation in Japan : current status and challenges for the future 司会
2. 中島正夫、江口英利、永野浩昭. C型肝炎ウイルスに起因する肝細胞癌の外科治療成績はDAAによるウイルス排除により改善されうる～多施設共同研究～ パネルディスカッション
3. 徳光幸生、新藤芳太郎、永野浩昭、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、裕 彰一. 肝 S7/8 領域肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除術とラジオ波焼灼療法の検討 一般演題 (口演)

### 第39回日本肝移植学会学術集会 6/24-6/25 WEB開催

1. 永野浩昭 ワークショップ2 肝硬変診療の進歩と肝移植適応の変化 司会

### 第95回大腸癌研究会 7/1-7/2 北海道 旭川市民文化会館 ハイブリッド開催

1. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、橋本真一、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における内視鏡的切除後 pT1 大腸癌に対する外科的追加切除の治療成績 示説
2. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下回盲部切除術における体腔内吻合法の検討 示説
3. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 高齢者 (70歳以上) に対する StageIII 結腸癌術後補助療法の現状 示説

### 第29回日本乳癌学会学術総会 7/1-7/3 神奈川県 パシフィコ横浜ノース ハイブリッド開催

1. 山本 滋、為佐路子、西田裕紀、得能和久、長島由紀子、久保秀文、前田訓子、永野浩昭 乳腺専用鉗子を用いた円柱状乳腺部分切除後の欠損部部分的補填手技と整容性 e-ポスター
2. 長島由紀子、村上知之、前田訓子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 病理学的に鑑別が可能であった副乳癌の1例と汗腺癌の1例 e-ポスター
3. 佐藤陽子、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 HER2陽性再発乳癌で完全奏効を維持し薬物治療中止後、長期生存が得られている症例の検討 e-ポスター
4. 鍋屋まり、前田訓子、佐藤陽子、鈴木伸明、武田 茂、久保秀文、長島由紀子、山本 滋、永野浩昭 乳癌術後7年経過後に再建術を施行し、乳房内局所再発からリンパ節転移の経過を辿った1例 e-ポスター
5. 前田訓子、鍋屋まり、佐藤陽子、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 オンコタイプDX乳がん再発スコア™検査を用いた再発スコアと臨床病理学的因子の検討 e-ポスター

### 第25回日本がん免疫学会総会 7/1-7/3 和歌山 和歌山県民文化会館

1. 裕 彰一、玉田耕治、宇高恵子、加藤直也、坂元亨宇、土肥俊、中上裕有樹、中島正夫、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 新しいがん免疫療法 - Cold tumor を Hot tumor に -シンポジウム
2. Nakagami Y, Hazama S, Tamada K, Sakamoto M, Kato N, Ssaito A, Akinaga S, Adachi K, Xu M, Nakajima M, Matsui H, Shindo Y, Matsukuma S, Tokumitsu Y, Tsunedomi R, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Doi S, Nagano H. Co-inhibitory marker analysis by CyTOF of novel neoadjuvant peptide vaccination (CYT001) patients with resectable HCC 一般演題

3. 鈴木伸明、裕 彰一、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、飯田通久、武田 茂、井岡達也、玉田耕治、宇高恵子、土肥俊、永野浩昭 進行消化器癌患者を対象とした新規複合免疫・ペプチドワクチン療法の第1相臨床試験 一般演題（ポスター）

#### 第76回日本消化器外科学会総会 7/7-7/9 京都 国立京都国際会館 ハイブリッド開催

1. 永野浩昭 招待講演2 司会
2. 永野浩昭 ランチョンセミナー9 座長
3. 裕 彰一 一般演題161 大腸:基礎1 座長
4. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、徳光幸生、新藤芳太郎、飯田通久、武田 茂、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 TaTME 導入後の短期治療成績と今後の展望 一般演題
5. 徳久晃弘、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 残胃・血流評価からみた幽門側胃切除後の臍体尾部切除術 6 例の検討 一般演題
6. 千々松日香里、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、飯田通久、徳光幸生、新藤芳太郎、武田 茂、裕 彰一、永野浩昭 当科における pStage III 大腸癌術後補助化学療法の検討 一般演題
7. 太田啓介、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、新藤芳太郎、徳光幸生、吉田 晋、鈴木伸明、永野浩昭 食道癌手術症例における重複癌の検討 一般演題
8. 古谷 圭、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 臍神経内分秘腫瘍に対する至適切除術式の検討 一般演題
9. 尤 曉琳、徳光幸生、永野浩昭 腹腔鏡・胸腔鏡併用下で切除し得た婦人科領域癌横膈膜転移の3例 専攻医セッション
10. 酒井豊吾、飯田通久、永野浩昭 Nivolumab 投与により完全寛解を得られた後に肺結核を発症した切除不能進行胃癌の一例 専攻医セッション
11. 藤本拓也、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 認知機能評価スケール YDS と E-PASS を用いた高齢者消化器癌における術後せん妄リスク評価と予後検討 要望演題
12. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 当科での人工肛門閉鎖時における創管理法の変遷と治療成績 一般演題
13. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 下部直腸癌の臨床的側方リンパ節転移陽性症例における治療成績 一般演題
14. 山田健介、井岡達也、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 高齢者臍癌に対する GEM+nab-PTX 療法による術前補助療法は安全か? 一般演題
15. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、徳光幸生、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 高齢者胸部食道癌に対する手術成績 一般演題
16. 恒富亮一、新藤芳太郎、兼定 航、徳光幸生、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 臍癌 FOLFIRINOX 療法における副作用関連遺伝子多型の探索 一般演題
17. 中島千代、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、徳光幸生、新藤芳太郎、吉田 晋、鈴木伸明、永野浩昭 当科における胃癌術後合併症と予後の検討 一般演題
18. 中上裕有樹、裕 彰一、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、恒富亮一、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 HCC に対する新規術前ワクチン療法施行症例の治療前生検と切除標本の免疫染色による解析 一般演題
19. 山本常則、武田 茂、中島千代、西山光郎、渡邊裕策、飯田通久、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 Propensity score matching を用いたサルコペニア併存食道癌切除例の術後成績の検討 一般演題
20. 飯田通久、武田 茂、中島千代、渡邊裕策、新藤芳太郎、徳光幸生、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 高齢者胃癌術後の短期および長期成績に影響を及ぼす術前因子の解析 一般演題
21. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、裕 彰一、永野浩昭 当科における横行結腸癌に対する腹腔鏡下頭側アプローチ先行 D3 郭清の検討 一般演題
22. 木村祐太、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎、飯田通久、武田 茂、永野浩昭 科における腹腔内・後腹膜脂肪肉腫切除例の検討 一般演題
23. 西山光郎、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、徳光幸生、新藤芳太郎、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道癌術後の身体機能の変化について 一般演題
24. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 右葉系区域切除における胆嚢牽引を用いたグリソン確保 一般演題

25. 松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 教室の局所進行膵癌手術における血管再建手技及び治療成績 主題関連演題
26. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 BR-A 膵癌に対する術前化学療法の治療成績 主題関連演題
27. 渡邊裕策、武田 茂、西山光郎、飯田通久、中島千代、徳光幸生、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道癌周術期の取り組み 一般演題
28. 中島正夫、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における切除不能膵癌に対する Conversion surgery の治療成績 一般演題
29. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 高齢者胆道癌に対する胆管切除を伴う肝葉切除の安全性 一般演題

#### 第57回日本肝癌研究会 7/22-7/23 鹿児島 城山ホテル鹿児島 ハイブリッド開催

1. 永野浩昭 一般演題17 バイオマーカー・肝機能評価 (2) 司会
2. 中島正夫、碓 彰一、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聡、徳光幸生、中上裕有樹、恒富亮一、土肥俊、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、加藤直也、秋永史郎、齋藤 彰、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 肝細胞癌に対する新規がんワクチン療法による腫瘍微小環境の改変と複合免疫療法の提案 一般演題
3. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、山田健介、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 リンパ節転移を伴う肝内胆管癌に対する術前化学療法 ワークショップ

#### 第30回日本がん転移学会学術集会・総会 7/29-7/30 WEB開催

1. 永野浩昭 ワークショップ7 転移とバイオマーカー 座長
2. 恒富亮一、吉村清、木村祐太、西山光郎、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 肝転移能亢進を示す肝癌幹細胞における免疫逃避 ワークショップ

#### 第48回日本膵切研究会 8/27-8/28 WEB開催

1. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 幽門側胃切除後の膵体尾部切除術における残胃血流評価の検討 アンケート調査関連演題

#### 第96回中国四国外科学会総会・第26回中国四国内視鏡外科研究会 9/3-9/4 愛媛 ANAクラウンプラザホテル松山 ハイブリッド開催

1. 永野浩昭 シンポジウム2 合併症軽減のための取り組み 座長
2. 鈴木伸明 イブニングセミナー <特別講演 I> 司会
3. 前田訓子、佐藤陽子、鍋屋まり、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 術前化学療法中に増大した乳癌 metaplastic carcinoma の一例 一般演題
4. 古谷 圭、飯田通久、武田 茂、渡邊裕策、中島千代、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 胃軸捻転を伴う成人 Bochdalek 孔ヘルニアに対して腹腔鏡下手術を行った1例 一般演題
5. 新藤芳太郎、徳光幸生、中島正夫、松井洋人、松隈 聡、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 局所進行膵癌に対する動脈合併切除術の意義とその成績 一般演題
6. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科の結腸癌に対する腹腔鏡下体腔内吻合の取り組み 一般演題

#### 第57回日本移植学会総会 9/18-9/20 東京 京王プラザホテル

1. 永野浩昭 分野別シンポジウム6 生体肝ドナーの安全性向上（腹腔鏡下手術の適応も含む）座長

#### 第75回日本食道学会学術集会 9/23-9/24 東京 ヒルトン東京お台場 ハイブリッド開催

1. 武田 茂 ポスター10 化学療法2 座長
2. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 胸部食道癌手術の予後因子と高齢者に対する手術成績 ワークショップ

3. 渡邊裕策、武田 茂、飯田通久、西山光郎、中島千代、山本常則、永野浩昭 当教室における食道癌周術期の取り組み ポスター
4. 西山光郎、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、中島千代、山本常則、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 ミニトラック + TAZ/PIPC による術後肺炎の抑制効果について ポスター

#### 第80回日本癌学会学術総会 9/30-10/2 神奈川 パシフィコ横浜 ハイブリッド開催

1. 中上裕有樹、裕 彰一、玉田耕治、坂元亨宇、加藤直也、齋藤 彰、秋永士朗、安達圭志、徐明、中島正夫、新藤芳太郎、徳光幸生、恒富亮一、土肥俊、永野浩昭 切除可能な肝細胞癌に対する新規術前後ワクチン療法症例の免疫反応—免疫染色とCyTOF データ解析から— ポスターセッション
2. 徐明、裕 彰一、飯田通久、恒富亮一、松井洋人、鈴木伸明、松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、中上裕有樹、前田訓子、吉田 晋、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 大腸癌肝転移に関与する癌細胞由来マイクロ RNA の同定と制御するメカニズムの解明 ポスターセッション
3. 恒富亮一、吉村清、松隈 聡、松井洋人、兼清信介、新藤芳太郎、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 治療抵抗性肝癌幹細胞様 Sphere 細胞における RAB3B の役割 一般口演
4. 藤原信行、恒富亮一、鈴木伸明、大浜剛、裕 彰一、永野浩昭 PP6 は Hypoxia Inducible Factor (HIF) により発現誘導され、大腸癌細胞の幹細胞性を制御している ポスターセッション

#### 第57回日本胆道学会学術集会 10/7-10/8 東京 ベルサール虎ノ門 ハイブリッド開催

1. 井岡達也 ランチョンセミナー3 最新の胆道癌治療～術前治療から個別化医療まで～ 座長

#### 日本外科代謝栄養学会第58回学術集会 10/7-10/9 兵庫 神戸国際会議場 ハイブリッド開催

1. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 大腸癌に対する Oxaliplatin 併用薬物療法における減量・休薬のリスク因子と患者栄養状態 要望演題
2. 松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 臍頭十二指腸切除における栄養学的指標を含めた術後臍液瘦の危険因子の検証 要望演題

#### 第4回日本腫瘍循環器学会学術集会 10/12-10/14 WEB開催

1. 井岡達也 一般演題9 がん関連血栓症2 座長

#### 第59回日本癌治療学会学術集会 10/21-10/23 神奈川 パシフィコ横浜 ハイブリッド開催

1. 渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、中島千代、西山光郎、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 高齢者胃癌に対する胃切除後長期予後の予測因子 ワークショップ
2. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 切除可能境界および局所進行切除不能臍癌に対する術前化学療法 ワークショップ
3. 中島正夫、鈴木伸明、徳光幸生、山田健介、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、兼定 航、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 根治術不能大腸癌肝転移に対する conversion therapy の検討 ワークショップ

#### 第29回日本消化器関連学会週間 11/4-11/7 兵庫 神戸コンベンションセンター ハイブリッド開催

1. 永野浩昭 肝移植医療—内科と外科の融合— パネルディスカッション 司会
2. 中島正夫、玉田耕治、永野浩昭 肝細胞がん微小環境の改変を目的とした新規ペプチドワクチン療法および複合免疫療法の提案 シンポジウム
3. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における80歳以上高齢者大腸癌患者に対する大腸癌治療の現状と対策 デジタルポスターセッション
4. 渡邊裕策、武田 茂、永野浩昭 食道癌根治術後のサーベイランス～再発、異時性重複癌の検討～ パネルディスカッション
5. 武田 茂、飯田通久、永野浩昭 Stage3食道癌における予後因子の検討 ワークショップ
6. Tokumitsu Y, Shindo Y, Nagano H. The Glissonian pedicle approach and short-term outcomes of the laparoscopic anatomical liver resection International Session (Symposium)

**第76回日本大腸肛門病学会学術集会 11/12-11/13 広島 リーガロイヤルホテル広島・NTTクレドホール ハイブリッド開催**

1. 裕 彰一 外科26 補助化学療法2 一般演題 座長
2. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科での腹腔鏡下結腸切除術における体腔内吻合法の導入 一般演題
3. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における大腸癌同時性肝転移根治手術症例の予後リスク因子の検討 一般演題
4. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 術後補助療法に nivolumab を使用した直腸肛門部悪性黒色腫の1例 一般演題

**第83回日本臨床外科学会総会 11/18-11/20 東京 京王プラザホテル ハイブリッド開催**

1. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科の局所進行直腸癌に対する術前化学療法としての FOLFOXIRI の経験 一般演題 (口演)
2. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、松井洋人、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 リンパ節転移陽性肝内胆管癌に対する術前化学療法の検討 一般演題 (口演)
3. 金城尚樹、松隈 聡、中島正夫、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 術前に診断困難であった原発性肝血管肉腫の例 一般演題 (示説)
4. 小佐々貴博、中津宏基、的場勝弘 術前に小腸 GIST が疑われたが、審査腹腔鏡にて後腹膜腫瘍の診断となり、一次的に腹腔鏡下切除し得た仙骨前面巨大後腹膜神経鞘腫の1例 一般演題 (口演)
5. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 切除可能肝癌に対する術前化学療法における modified Frailty Index の検討 シンポジウム
6. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、裕 彰一、上野富雄、井岡達也、永野浩昭 門脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌手術における「胆嚢牽引法」を用いた肝門部グリソン一括確保を応用した肝流入血コントロール ビデオシンポジウム
7. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 進行横行結腸癌に対する頭側アプローチ先行 D3 郭清の検討 ワークショップ

**第34回日本内視鏡外科学会総会 12/2-12/4 兵庫 神戸国際会議場・神戸国際展示場・神戸ポートピアホテル**

**ハイブリッド開催**

1. 永野浩昭 Mini Oral 54 腹腔鏡下肝切除-手術手技1 司会
2. 武田 茂 Mini Oral 261 胃・十二指腸悪性・高齢者 司会
3. 鈴木伸明 Mini Oral 6 Tailgut cyst他 司会
4. 友近 忍 Mini Oral 146 憩室炎3 司会
5. 徳光幸生 Mini Oral 78 腹腔鏡下肝切除-症例報告2 司会
6. 新藤芳太郎 Mini Oral 277 腹腔鏡下胆道手術-症例報告2 司会
7. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、裕 彰一、上野富雄、井岡達也、永野浩昭 腹腔鏡下右葉系系統的肝切除における胆嚢牽引法を用いた Glisson 確保の工夫 パネルディスカッション
8. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、中島正夫、西山光郎、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 進行大腸癌に対するステント留置後の腹腔鏡手術と治療成績 Mini Oral
9. 小佐々貴博、堤 甲輔、中津宏基、的場勝弘 干し柿による食餌性小腸閉塞に対して単孔式腹腔鏡補助下イレウス解除術を施行した1例 Mini Oral

**第34回日本バイオセラピー学会学術集会総会 12/16-12/17 和歌山 ホテルアバローム紀の国**

1. 永野浩昭 シンポジウム2 消化器がんに対するバイオセラピーの最前線 座長
2. 碓 彰一 消化器がんに対する免疫療法の最前線 基調講演シンポジウム
3. 中島正夫、碓 彰一、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中上裕有樹、恒富亮一、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、加藤直也、齋藤 彰、土肥俊、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 肝細胞癌に対する新規がんワクチン療法による腫瘍微小環境の改変と複合免疫療法の提案 シンポジウム
4. 古谷 圭、碓 彰一、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 進行・再発大腸癌の予後バイオマーカーとしての血清 Proteinase-3 の検討 一般演題
5. 千々松日香里、碓 彰一、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、兼定 航、恒富亮一、中上裕有樹、中島千代、松隈 聡、新藤芳太郎、松井洋人、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 Stage4 大腸癌の新規予後予測バイオマーカーとしての MCP-3 の検討 一般演題
6. 山本常則、碓 彰一、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、中上裕有樹、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、藤田知信、河上裕、永野浩昭 大腸癌切除例における腫瘍組織内サイトカイン発現と血中サイトカイン濃度の関係 一般演題

**第34回日本外科感染症学会総会学術集会 12/17-12/18 WEB開催**

1. 武田 茂 パネルディスカッション2 癌集学的治療における周術期炎症・感染と癌の転移、再発、予後 座長
2. 松隈 聡 一般演題14 チーム医療・栄養管理を含んだ院内感染対策 座長
3. 松隈 聡、武田 茂、中島千代、伊瀬知美加、河口義隆、敷地恭子、丸田順子、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、永野浩昭 多職種連携チームによる包括的な外科関連感染症に対する介入 ワークショップ
4. 徳久晃弘、松隈 聡、武田 茂、中島正夫、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 早期肝細胞癌に対する肝切除における術後感染性合併症と予後の関連 一般演題

# 地方会司会・発表

## 第3回山口食道がん研究会 1/20 山口 (ZOOM)

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演 司会
2. 武田 茂 当科におけるロボット支援下食道がん手術の導入と初期経験 トピックス

## 九州肝臓外科研究会 オンラインセミナー2021 1/30 (ZOOM)

1. 徳光幸生 九州肝臓外科研究会 多施設共同研究報告 研究報告

## 第一三共 抗血栓Webセミナー 2/4 (抗血栓シアター)

1. 井岡達也 膵癌の最新治療と抗凝固療法

## 膵癌リモート講演会in島根 2/25 (ZOOM)

1. 井岡達也 膵癌化学療法 Update 特別講演
2. 井岡達也 膵癌二次化学療法について ディスカッション

## 山口県がん化学療法チーム研修会 3/6 (WEB開催)

1. 永野浩昭 オリエンテーション 司会
2. 井岡達也 グループワークの症例提示
3. 井岡達也 免疫チェックポイント阻害薬の有害事象マネジメント 司会
4. 山田健介 免疫チェックポイント阻害薬の有害事象マネジメント 司会

## 第1回消化器癌 Expert Meeting in MIE 3/9 (web開催)

1. 井岡達也 膵癌化学療法の up to date ~今使える武器をいかに使いこなすか~ 特別講演
2. 井岡達也 遠隔転移切除不能膵癌をどう治療する: 化学療法は? conversion surgeryは? パネルディスカッション

## 山口県 胃がん リモート 講演会 3/10 (ZOOM)

1. 永野浩昭 特別講演 司会
2. 井岡達也 山口大学における irAE マネジメント 一般演題

## Medical Advisory Meeting 3/11 (WEB開催)

1. 井岡達也 消化器癌治療の今後の展開について 司会

## 第7回山口乳癌研究会 4/28 (ZOOM)

1. 永野浩昭 Session1 司会
2. 前田訓子 山口県高齢者乳癌診療の現状-アンケート結果を踏まえて- Session

## Pfizer Breast Cancer Web Symposium in Yamaguchi 5/12 山口 国際ホテル宇部

1. 永野浩昭 講演II 講演 司会

## Update on Treatment Strategy for Pancreatic Cancer 2021 ~from Scientific Evidence to Clinical Practice~ 5/15 (WEB開催)

1. 井岡達也 特別講演 司会

## 第17回山口県消化管セミナー 5/19 (ZOOM)

1. 永野浩昭 特別講演 司会

## オブジーボ・ヤーボイ併用療法 がん免疫療法適正使用セミナー in宇部 5/28 山口宇部医療センター

1. 井岡達也 特別講演 司会
2. 井岡達也 山口大学のマネジメント体制について 特別講演

## 第119回日本臨床外科学会北海道支部総会 5/29 (WEB開催)

1. 永野浩昭 特別講演 肝細胞癌外科治療の現状と展望 司会

## 第79回山口県臨床外科学会 6/6 徳山中央病院

1. 永野浩昭 特別講演 I 血管合併切除を伴う肝胆膵外科手術 特別講演
2. 武田 茂 教育講演 食道がん治療の最前線 教育講演
3. 徳光幸生 一般演題セッションIV 一般演題 座長
4. 鈴木伸明 一般演題セッションV 一般演題 コメンテーター
5. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、中島正夫、松隈 聡、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭、局所進行膵癌に対する動脈合併切除術の安全性と有効性 一般演題
6. 古谷 圭、飯田通久、武田 茂、渡邊裕策、中島千代、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 胃軸捻転を伴う成人 Bochdalek孔ヘルニアに対して腹腔鏡下手術を行った1例 一般演題
7. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科の結腸癌に対する腹腔鏡下体腔内吻合の取り組み 一般演題

## 山口県大腸がんリモート講演会 6/9 (ZOOM)

1. 永野浩昭 座長

## ペマジール®錠4.5mg Digital Launch Summit

## 肝内胆管癌を含む胆道癌における 個別化治療のパラダイムシフト 6/11 (WEB開催)

1. 井岡達也 Lecture 1 肝内胆管癌を含む胆道癌の診断と治療 Lecture

**Basic&Clinical 10 Research Seminar in Chugoku/Shikoku 6/12 (ZOOM)**

1. 井岡達也 特別講演Ⅱ 肝癌における免疫チェックポイント阻害薬の Pivotal Study 特別講演
2. 井岡達也 血管新生阻害剤とICI、細胞障害性抗がん剤とICI ディスカッション

**第64回関西胸部外科学会学術集会 6/17-19 (WEB開催)**

1. 渡邊裕策 Case Presentation Award 食道 Case Presentation Award 座長
2. 渡邊裕策、武田 茂、西山光郎、飯田通久、中島千代、山本常則、井岡達也、永野浩昭 教室における高齢者食道癌手術の成績要望演題
3. 西山光郎、武田 茂、飯田通久、中島千代、山本常則、井岡達也、永野浩昭 腹部食道に発生した気管支原性嚢胞の1例 一般演題

**TAIHO Web Lecture on Biliary Tract Cancer 6/22**

井岡達也 座長

**高齢者がん診療講演会 in Yamaguchi 6/23 (ZOOM)**

1. 永野浩昭 特別講演 座長
2. 井岡達也 一般講演 座長
3. 吉田 晋 外科的治療における高齢者機能評価の取り組み～消化器癌・乳癌～ 一般講演

**第26回Cancer Forum in Yamaguchi 6/25 (ハイブリッド開催 ANAクラウンプラザホテル)**

1. 永野浩昭 特別講演2 手術手技 座長

**九州胆・膵癌治療フォーラム 6/29 (ZOOM)**

1. 井岡達也 Session1 胆道癌の集学的治療 Session

**山口大腸癌病診連携セミナー 7/1 (WEB開催)**

1. 井岡達也 特別講演② 大腸癌化学療法の実際 特別講演

**Cancer Total Management Seminar in Yamaguchi 7/2 (ZOOM)**

1. 永野浩昭 座長
2. 井岡達也 座長

**irAE Management WEB Seminar in Yamaguchi ～病病・院内連携の充実を目指して～ 7/15 (WEB開催)**

1. 井岡達也 テーマ：山口大学医学部附属病院への紹介/院内連携 座長

**第9回山口膵・胆道疾患研究会 7/27 (ZOOM)**

1. 永野浩昭 特別講演 座長

**YAMAGUCHI CRC seminar 8/2 (WEB開催)**

1. 井岡達也 特別講演 座長
2. 井岡達也 パネルディスカッション 座長
3. 鈴木伸明 パネルディスカッション ディスカッサント
4. 徳光幸生 パネルディスカッション ディスカッサント

**がん治療 Total Care Web Seminar 8/31 (WEB開催)**

1. 井岡達也 抗がん剤に起因する末梢神経障害性疼痛について 講演

**がん治療におけるACPを考えるワークショップ in山口 9/4 (WEB開催)**

1. 井岡達也 ACPに関する最新の話題 Opening remarks

**第160回山口県医師会生涯研修セミナー 日本医師会生涯教育講座 9/5 山口 ホテルニュータナカ**

1. 井岡達也 集学的治療によって山口県のがん治療成績は改善する 特別講演

**Medical Oncology Seminar ～エビデンスが変わる論文を読み込む 腫瘍内科医に向けて～ 9/9 (WEB開催)**

1. 井岡達也 取り上げる論文 Atezolizumab plus Bevacizumab in Unresectable Hepatocellular Carcinoma ACPに関する最新の話題 プレゼンター

**第18回日本乳癌学会中国四国地方会 9/10-11 (WEB開催)**

1. 前田訓子 チーム医療・その他 一般演題 座長
2. 鍋屋まり 周術期化学療法の最適化～適応とレジメン 教育セミナー パネリスト

**2021年度第6回山口県病院薬剤師会学術講演会 9/15 (WEB開催)**

1. 井岡達也 免疫チェックポイント阻害薬関連有害事象のマネージメント 講演

**がん悪液質治療セミナー～エドルミズの適正使用を考える～ 9/16 (WEB開催)**

1. 井岡達也 特別講演 Discussion 座長
2. 山田健介 テーマ 症例提示から、がん悪液質の診断・治療を考える Discussion

**第27回外科侵襲とサイトカイン研究会 10/7 (ハイブリッド開催 兵庫 神戸国際会議場)**

1. 永野浩昭 ワークショップ4 座長
2. 山本常則、碓 彰一、中上裕有樹、桑原太一、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、飯田通久、吉田 晋、鈴木伸明、武田 茂、藤田知信、河上裕、永野浩昭 大腸癌切除例の予後因子としての腫瘍浸潤リンパ球の有用性と血中サイトカインの関係 ワークショップ
3. 古谷 圭、碓 彰一、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 大腸癌の予後バイオマーカーとなりうる血性 Proteinase-3 の検討 ワークショップ

**FoundationOne Liquid 発売記念講演会 in 山口 10/11 (オンライン開催)**

1. 井岡達也 特別講演 座長

**JB・消化器外科WEBセミナー 10/15 (ZOOM)**

1. 永野浩昭 特別講演 座長
2. 永野浩昭 教育講演

**JOIN 2021 in Yamaguchi 10/27 (WEB開催)**

1. 永野浩昭 Cancer Treatment Part 座長

**第21回山口消化器病態研究会 10/28 (WEB開催)**

1. 永野浩昭 特別講演 特別講演 座長

**山口県大腸癌治療Up date on line 11/11 (ZOOM)**

1. 永野浩昭 特別講演 座長

**Pancreatic Cancer Online Seminar 鳥取 11/12 (WEB開催)**

1. 井岡達也 膵癌化学療法の最新情報について 特別講演

**第10回山口膵・胆道疾患研究会 11/16 (ZOOM)**

1. 永野浩昭 特別講演 座長

**第15回肝臓内視鏡外科研究会、第13回膵臓内視鏡外科研究会 11/17 (ハイブリッド開催 紀尾井カンファレンス)**

1. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 教室における腹腔鏡下尾状葉部分切除の治療成績と腹腔鏡補助下尾状葉全切除の経験 ワークショップ
2. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 胆嚢板牽引法を用いた腹腔鏡下右葉系解剖学的肝切除におけるGlisson 確保の工夫 一般演題

**Okayama iCCA Web Seminar 11/18 (ZOOM)**

1. 井岡達也 肝内胆管癌に対する治療戦略 特別講演
2. 井岡達也 Q&Aセッション～iCCA治療を考える～ コメンテーター

**Gastric Cancer Expert Meeting in Yamaguchi 2021 11/26 (ZOOM)**

1. 永野浩昭 腹膜転移を有する切除不能胃癌における後方ラインの治療戦略 パネルディスカッション 座長
2. 井岡達也 腹膜転移を有する切除不能胃癌における後方ラインの治療戦略 パネルディスカッション コメンテーター
3. 飯田通久 腹膜転移を有する切除不能胃癌における後方ラインの治療戦略 パネルディスカッション ディスッカサント

**令和3年度 (公社)山口県栄養士会生涯教育実務研修会 11/28 (ハイブリッド開催 山口大学医学部)**

1. 井岡達也 がん治療と栄養管理最新の治療や高齢者や糖尿病患者のがん対策や栄養管理について学んでみませんか? 研修会

**胆道がん分子標的治療フォーラム 11/29 (ZOOM)**

1. 井岡達也 胆道がんにおける個別化治療の実践 講演

**第2回irAE Management WEB Seminar in Yamaguchi ～病病・院内連携の充実を目指して～ 11/30 (ZOOM)**

1. 井岡達也 山口大学医学部附属病院への紹介/院内連携 司会

**第5回山口消化管内視鏡外科研究会 12/1 (WEB開催)**

1. 永野浩昭 特別講演 座長

**Scientific Exchange Meeting ～KHBO Oncology Seminar～ 12/7 (ZOOM)**

1. 永野浩昭 Session1 肝細胞癌治療におけるカンサーボードの構築 特別講演
2. 井岡達也 Session2 : Pros&Cons 実際どうする切除不能胆道癌の薬物治療 Short Lecture 座長

**Medical Advisory Meeting 12/7 (ハイブリッド開催 山口大学医学部附属病院)**

1. 井岡達也 消化器癌治療の今後の展開について 講師

**山口大腸癌病診連携セミナー 12/8 (WEB開催)**

1. 井岡達也 大腸癌化学療法の実際 特別講演
2. 永野浩昭 教育講演

**第4回東京肝胆膵外科フォーラム 12/9 (WEB開催)**

1. 井岡達也 胆道がんの周術期化学療法 特別講演

**第44回日本肝臓学会西部会 12/9-12/10 岡山コンベンションセンター ANAクラウンプラザ ホテル岡山 岡山県医師会館**

1. 永野浩昭 胆管細胞癌の治療成績と予後 シンポジウム 司会
2. 井岡達也 肝細胞癌の予防改善をめざして 特別発言・総括
3. 中島正夫、井岡達也、永野浩昭 リンパ節転移陽性肝内胆管癌に対する術前化学療法の検討 シンポジウム
4. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 腹腔鏡下肝切除術における肥満症例の治療成績 一般演題

**山口消化器・感染症フォーラム 12/16 (WEB開催)**

1. 永野浩昭 特別講演 座長
2. 武田 茂 特別講演 座長

**第11回東京周術期管理講演会 12/21 (WEB開催)**

1. 永野浩昭 大阪の外科医が山口で進める肝胆膵外科 特別講演

**山口irAE対策リモートセミナー 12/22**

1. 井岡達也 山口大学のirAEの取り組み 講演

**大腸癌病診連携講演会 in Yamaguchi 12/23 (ハイブリッド開催 山口 ホテルニュータナカ)**

1. 永野浩昭 ミニレクチャー 座長
2. 井岡達也 肝転移を伴う大腸癌に対する術前補助化学療法 ミニレクチャー

# 研究費取得状況

種別	事業名	研究者名	代表・分担	交付額	研究課題名
科研費	基盤研究(C)	吉田 晋	代表	1,000,000	CyTOFによる大腸腫瘍浸潤CD4+FOXP3+細胞の解析と予後因子としての役割
科研費	基盤研究(C)	裕 彰一	代表	1,200,000	消化器癌の遺伝子変異に由来する腫瘍抗原ペプチドの同定と新規免疫療法の開発
科研費	基盤研究(C)	鈴木 伸明	代表	1,000,000	大腸癌に対するFOLFOXIRI療法における副作用診断チップの開発
科研費	基盤研究(C)	友近 忍	代表	1,600,000	抗EGFR抗体は大腸癌を"Hot tumor"に変えることができるか
科研費	基盤研究(C)	徐 明	代表	1,100,000	大腸癌肝転移に関する癌細胞由来マイクロRNAの役割と制御するメカニズムの解明
科研費	基盤研究(C)	恒富亮一	代表	800,000	肝癌幹細胞特異的RAB3Bを標的とした術後肝内再発抑制のための新規治療法開発
科研費	若手研究	新藤芳太郎	代表	1,000,000	肝細胞癌術前がん免疫療法症例の腫瘍浸潤リンパ球を用いた抑制性免疫の解明
科研費	若手研究	松隈 聡	代表	1,000,000	術前腫瘍量因子と血清メチル化遺伝子による肝癌予後予測システムの構築
科研費	若手研究	西山 光郎	代表	1,300,000	胃癌腹膜播種を亢進する独自の誘導胃癌幹細胞からの播種再発抑制標的の同定
科研費	若手研究	兼清 信介	代表	1,300,000	術後肝内再発抑制法開発に向けた肝癌幹細胞特異的なHLA抗原ペプチドの同定
科研費	若手研究	渡邊 裕策	代表	1,400,000	独自に誘導した食道癌幹細胞様細胞を用いた食道癌治療抵抗性の解析
科研費	若手研究	中島 正夫	代表	1,800,000	腫瘍および宿主両面からみた複合バイオマーカー探索にもとづく肺癌個別化治療への展開
科研費	若手研究	松井 洋人	代表	1,600,000	肺癌におけるがん微小環境に関連した新規バイオマーカーと治療標的の探索

# 業績その他

## 2021 メディア

- ① 国民のための名医ランキング 2021～2023 2020年9月1日 初版第1刷発行 肝胆膵外科 永野浩昭
- ② 国民のための名医ランキング 2021～2023 2020年9月1日 初版第1刷発行 肝胆膵内科 井岡達也
- ③ 都志見新聞 地域がん診療医療従事者研修会 2021年1月4日 地域がん診療医療従事者研修会 井岡達也
- ④ 最新治療データで探す 名医のいる病院 2021年1月10日発行 永野浩昭、井岡達也
- ⑤ 山口大学医学部 霜仁会会報 2021年4月発行 第292号 令和元年度 山口大学医学会 小西賞  
「Rapid and sensitive detection of UGT1A1 polymorphisms associated with irinotecan oxicity by a novel DNA microarray.」 恒富亮一
- ⑥ Club Kirara MAGAZINE VOL. 69 山口県がん治療最前線 膵がん 今までの治療とは何が違う？  
2021年4月～2021年6月 永野浩昭
- ⑦ 毎日新聞 医療最前線 ～山口県～食道がん～最近の治療法、そして、手術支援ロボットを用いた治療とは？～  
2021年6月28日 武田茂
- ⑧ 読賣新聞 病院の実力 山口・九州編 がん拠点 コロナ下でも受診を 全入院患者にPCR検査  
2021年7月28日 永野浩昭
- ⑨ Club Kirara MAGAZINE VOL. 70  
山口県がん治療最前線 治らない進行大腸癌（肝転移）を治せる時代になってきた！  
－集学的治療（化学療法・大腸切除・肝切除）の現状と可能性－ 2021年7月～2021年9月 鈴木伸明
- ⑩ Club Kirara MAGAZINE VOL. 71  
山口県がん治療最前線 高齢者がん診療 2021年10月～2021年12月 永野浩昭 井岡達也
- ⑪ 朝日新聞 対談 外科医と腫瘍内科医がタッグを組んで挑戦する「膵臓がん」の診療  
2021年10月27日 永野浩昭、井岡達也
- ⑫ DOCTOR'S MAGAZINE 12 No.263 医局紹介 山口大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科  
最先端の医療と医学を世界に向けて発信する 永野 浩昭 教授
- ⑬ 最新治療データで探す 名医のいる病院 2022 肝胆膵がんの名医 2021年12月10日 第1刷発行  
永野浩昭 井岡達也

①



永野 浩昭 ながのひろあき

山口大学医学部附属病院  
(電話) 0836-22-2111  
山口県宇部市南小串 1-1-1  
●消化器外科、消化器病、肝臓専門医

### 診療内容

肝細胞がん、胆管細胞がん、転移性肝がん、肝門部胆管がん、中・下部胆管がん、胆嚢がん、十二指腸乳頭部がん、膵がん、末期肝硬変

肝胆膵・移植外科は肝胆膵外科領域では山口県で唯一の肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設(A)です。肝がん手術は年間70例を超え、単純肝切除は腹腔鏡下肝切除を第一選択とし70%を占めます。治療成績も良好で、他施設との共同研究や独自に開発した免疫療法の開発にも取り組んでいます。また肝硬変に対する生体部分肝移植を2016年に再開し、現在までに8例施行しました。進行胆嚢がん・肝門部胆管がんの治療も幅広く行い、特に胆道がんについては血管(門脈、肝動脈)合併切除再建の併施により手術適応が広いことが特徴です。さらに膵がん症例は着任後年間40例を超え、治療成績向上のために術前治療を含めた血管合併切除を基軸とする集学的治療を行っています。

②



井岡 達也 いおかたつや

山口大学医学部附属病院 腫瘍センター  
(電話) 0836-22-2111  
山口県宇部市南小串 1-1-1  
●消化器内視鏡、がん薬物療法専門医

### 診療内容

膵がん、胆管がん、胆のうがん

膵がんおよび胆道がんの抗がん剤化学療法および放射線療法の開発を得意とします。日本膵臓学会膵がん診療ガイドライン(2016年版および2019年版)にて化学療法の章を担当。一般的な治療以外に、新薬などの治験治療についても、経験豊富です。日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)肝胆膵グループの代表委員、関西肝胆道オンコロジーグループ(KHBO)の代表世話人を兼務し、膵がんおよび胆道がんの抗がん剤を用いた治療の第一人者です。大阪国際がんセンターでは検診部に在籍し、膵がんの早期診断を目指した検診方法開発を実施。ミルクチーを用いた特殊なエコー検査を、膵がんの高危険要因をもつ患者さんに定期的に実施し、大半の患者さんを切除可能な早期がんで診断して大きな実績を残しています。その様子はNHK「ためしてガッテン」でも2回紹介されました。



# 都志見新聞

(医)医誠会都志見病院  
http://tsushimi.jp

発行部数 500部  
発行月 1, 4, 7, 10月  
発行人 都志見病院  
広報委員会



## 地域がん診療医療従事者研修会

新型コロナウイルス感染症のために4月以降院内講演会が開催できませんでしたが、感染予防対策を万全に行いやっと院内講演会を開催することができました。今回は山口大学医学部附属病院腫瘍センター准教授の井岡達也先生をお招きいたしました。

井岡先生は2020年4月前任地の大阪国際がんセンターから山口大学に赴任されました。ご専門は消化器がん特に肝胆膵がん化学療法のエクスパートで山口県では数少ない日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医でございます。その他、消化器病専門医・指導医、消化器内視鏡専門医・指導医、日本膵臓学会、日本胆道学会の指導医をお持ちです。日本臨床腫瘍学会肝胆膵グループ代表委員、関西肝胆道オンコロジーグループ代表世話人、膵癌診療ガイドライン改訂委員、肝内胆管癌診療ガイドライン改訂委員を務められています。また、日本の名医(肝胆膵がんの名医)に選出されています。当日は消化器がん化学療法: Updateの演題名で特に膵臓がん、胆道がんの最新の化学療法や臨床試験についてわかりやすく解説いただきました。さらに、先生が赴任されてからの大腸がん



症例を提示していただき当院の外科医とディスカッションを行いました。リモート講演会では伝わり難い熱のこもった講演会でした。

今後、井岡先生には腫瘍内科医として当院で化学療法のご指導をお願いする予定となっております。地域がん診療病院として救いのがん診療向上を目指して山口大学と密に連携していきたいと思っております。

副院長 山本達人



### 巻頭特集

- 難症例に立ち向かう 医師たちの軌跡
- 新型コロナについて知るための12講
- 親子で考えよう子宮頸がん予防ワクチン
- 人間ドックの施設とメニューの選び方
- 脳梗塞治療の新時代へ  
「一次脳卒中センター」

# 最新治療データで探す 名医のいる病院 2021

徹底独自調査! シリーズ最多  
**脳・心臓・がんの  
名医488人**

全26疾患・治療別/名医による  
解説付き 最新治療実績  
**8109病院 一挙掲載**

巻頭インタビュー  
**伍代 夏子さん**  
C型肝炎闘病生活の体験記



mn 医療新聞社

## 最新治療データで探す 名医のいる病院 2021



mn 医療新聞社

永野 浩昭	山口大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 山口県宇部市	肝切除・肝移植	早期がんに対する腹腔鏡下肝切除、進行がんに対する血管合併肝切除、さらには肝移植。
井岡 達也	山口大学医学部附属病院 腫瘍センター 山口県宇部市	肺がん、胆管がん、 化学療法、 集学的治療	豊富な経験をもとに、内科と外科治療の良い部分を組み合わせる最新の治療に取り組んでいる。

### 令和元年度

## 山口大学医学会 小西賞

「Rapid and sensitive detection of UGT1A1 polymorphisms associated with irinotecan toxicity by a novel DNA microarray」

山口大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科学

恒 富 亮 一

(山口大学農学部 平11年卒)



この度は、名譽ある山口

大学医学会小西賞を賜り、大変光栄に存じます。選考いただきました先生方、関係者の皆様、厚く御礼申し上げます。

今回、受賞対象となりました研究は、UGT1A1遺伝子多型を測定する目的に、DNAマイクロアレイを用いた新規の方法について発表された論文であります。抗がん剤イリリノテカンの投与対象となる患者に対して、右記遺伝子多型を事前に測定することで、投与後の副作用発現リスクを予測し、患者に合わせた副作用を回避するための投与量を決定する、いわゆる個別化医療

比を向上させました。その結果、現行のUGT1A1遺伝子多型体外診断に用いられているインベーター法と比べ、1/40~1/400倍の微量なDNA量で遺伝子多型を測定できました。また、所要時間も従来法と比較して1.5倍短縮されました。

最後に、長年にわたり、ご指導・ご鞭撻をいただいた岡正朗先生(山口大学学長)、多大なるご協力をいただきました永野浩昭先生(山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学教授)、砂彰一先生(山口大学医学部先端がん治療開発学教授)、岡山直子先生(山口大学医学部附属病院検査部)に深く感謝申し上げます。

最後に、長年にわたり、ご指導・ご鞭撻をいただいた岡正朗先生(山口大学学長)、多大なるご協力をいただきました永野浩昭先生(山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学教授)、砂彰一先生(山口大学医学部先端がん治療開発学教授)、岡山直子先生(山口大学医学部附属病院検査部)に深く感謝申し上げます。

## 山口県がん治療 最前線

### すい臓がん

## 今までの治療とは何が違う？

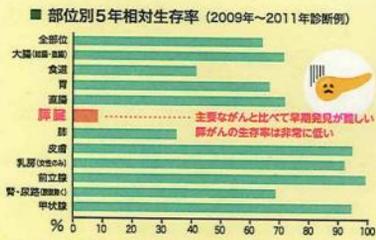
膵がんの死亡者数は年々増加する傾向にあり、国立がん研究センターの登録・統計によると2019年は36,356人であり、臓器別では肺がん、大腸がん、胃がんに次いで第4位となっています。

膵がんの5年相対生存率(がんと診断された患者さんのうち5年後に生存している人の割合が、一般の日本人全体で5年後に生存している人の割合に比べてどのくらい低いかで表します)は8.5%であり、他のがん種に比べて極めて予

後不良なことが分かります。膵がんには特徴的な症状が乏しく、進行が早いいため、診断がついた時点でかなり進行しており、手術できる患者さんの割合は約20%と非常に難しい病気です。

がんが膵臓のまわりにある門脈、上腸間膜動脈または腹腔動脈という大切な血管に広がっている場合や、他の臓器に転移している場合は、いきなり手術を行ってもがんが残ってしまうため化学療法や放射線療法が選択されます。しかし残念ながら、化学療法や放射線療法で膵がんを完全に治すことは困難なのが現状であります。

当科では消化器内科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、集中治療科、病理医の専門家からなるチームで化学



療法、放射線療法を組み合わせ治療(集学的治療といいます)を行い、進行膵がんの治療に取り組んでおります。さらに2020年4月から当院に膵がん診療ガイドライン改訂委員、日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)肝胆膵グループ代表委員を務めておられる腫瘍内科医の井岡達也先生が着任されました。山口県では初めての腫瘍内科医であり、まさに膵がん化学療法のスぺシャリストがこのチームに加わったことから山口県の膵がん治療成績の向上が期待されます。

近年、診断時に切除不能と診断された膵がん患者さんに対しても集学的治療を行うことで手術が可能となる患者さんが増えてきております(Conversion手術といいます)。このような治療後の



山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学 教授 永野 浩昭

膵臓手術は血管を一緒に切除する(合併切除)こともあり非常に難易度が高く、高度な技術と周術期(手術前、術中、術後の一連の期間)管理が必要となります。手術症例数が多いハイボリュームセンターでは、特に血管の合併切除を行うような膵切除術において、手術に関連する合併症率、死亡率の割合が低くなることが知られております。

当科は、山口県内唯一の日本肝胆膵外科学会が定める修練施設A(肝胆膵高難度手術が50例/年以上実施)としての認定を受けており、豊富な手術経験を有していますので安全で確実な手術を提供することができます。

私たちは、この難治がんである膵がんに対して手術、化学療法、放射線療法などの専門領域の技術を組み合わせ集学的治療を行い、患者さんと一緒に闘ってまいります。

山口大学大学院 医学系研究科 消化器・腫瘍外科学  
TEL.0836-22-2264 <http://www.yamadai-gesurgery.jp>  
山口大学医学部附属病院 腫瘍センター  
TEL.0836-22-2170 <http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/shuyou/index.html>

山口大学医学部附属病院  
〒755-8505 山口県宇部市南小串 1-1-1  
TEL.0836-22-2111(代)



# 食道がん～最近の治療法、そして、手術支援ロボットを用いた治療とは？～



山口大学医学部附属病院 消化器外科 副科長 武田 茂

■食道がんはどんな病気でしょうか？

食道がんは、70歳代の男性が多く、食道の内側の粘膜に発生し、進行すると胸の奥に入り込み、大きく腫れ、呼吸が苦しくなり、咳を伴って外に腫瘍まで広がります。早い段階からリンパ節などに転移しやすく悪性の高いがんの一つです。

■どのようながんが罹りやすいのでしょうか？

日本での食道がんの発生率は喫煙と飲酒で、両方の習慣がある人は食道がんのリスクが30～50倍に高くなること知られています。摂取したアルコールを代謝する酵素の働きが弱い人では、その働きが弱くして食道がんのリスクが高くなり、日本人に多いこの傾向がみられます。飲酒後に胸が赤くなるのは、そのため、注意が必要です。

■からたにどんな変化や症状が現れますか？

初期症状はないですが、食物を飲み込むときに痛みを感じたり、熱いものを飲み込むときにむせそうに感じたりすることがあります。がんが大きくなると食道の内側に狭くなり、食べ物がかたまりやすくなります。あまり噛まずに飲み込んだ際に突然生じることがあります。がんがさらに大きくなると、食道をさいで水を通さなくなり、唾を飲み込みにくくなります。さらに、食物がつかえやすくなり、体重が減少して体力が落ちます。がんが進行すると、胸の奥に腫瘍が成長し、リンパ節に転移することがあります。進行した場合は、胸の奥に痛みや腫瘍が広がると、呼吸が苦しくなったり、食事がとれなくなったり、体重が減少したりすることがあります。

■どのような検査を行いますか？

もともと有用な胃内視鏡検査で、病変のわずかな色調や凹凸の変化を捉えるために、早期のがんを診断することがあります。胃内視鏡検査は、胃カメラを挿入して、食道の内側を詳しく観察し、がんの有無や進行度を調べることで、がんの増殖や転移の程度を調べることを指します。

■がんの進行度によって診断と治療法が決まりますか？

早期の段階のがんが粘膜の表面に止まると、進行は口から内臓へは広がらず、切除が可能で、手術で根治することがあります。手術支援ロボットを用いた治療法は、手術の精度を高め、手術の負担を減らすことができます。また、手術は放射線や抗がん剤による副作用の有無も考慮し、体力の低下に注意しながら治療を進めたいと選択することもあります。がんがより進行した状態では、これらの治療を組み合わせて抗がん剤治療の後に手術を行うことも少なくありません。がんの状態や患者さんの体力などを総合的に判断して最適な治療法を相談します。

■主な治療法や新たに増進の少ない治療法があれば教えてください

外科手術はがんの根治できる最も有用な治療法ですが、患者さんご自身の体力も大きくなります。食道は首の近くを走行しているため、心臓や肺に開かれます。さらに、これは胸壁を開いて、開胸手術で大きく胸を切開いて手術は必要になります。おおよそ20年前から胸腔鏡を用いた手術が主流となり、手術の負担を減らすことができます。胸腔鏡手術は、胸の奥に小さな穴を開けて、カメラや手術器具を入れて手術を行います。手術の負担は小さく、手術後は早く退院できる治療法ですが、腫瘍が広がらないように注意する必要があります。

■手術支援ロボットを用いた治療とは？

ロボット手術は、従来の手術よりも精度が高く、手術の負担を減らすことができます。ロボット手術は、胸の奥に小さな穴を開けて、カメラや手術器具を入れて手術を行います。手術の負担は小さく、手術後は早く退院できる治療法ですが、腫瘍が広がらないように注意する必要があります。

■治療は手術になりますか？再発予防のためのアドバイスをお願いします。

食道がんは、再発予防のために、手術後は定期的な検査を受けることが重要です。また、喫煙や飲酒を控えることも大切です。また、定期的な検査を受けることが重要です。また、喫煙や飲酒を控えることも大切です。

■最後にメッセージをお願いします。

食道がんは早期に発見し、適切な治療を行うことが大切です。日頃から適切な生活習慣に気を付け、早期に検査を受けることが大切です。高年齢の食道がんは手術で、ロボット手術のように治療法を進歩しています。手術の負担を減らすことが、がんの再発予防に繋がります。食道がんの再発予防に繋がります。

# コロナ下でも受診を



## がん拠点

今回は「がん診療連携拠点病院」を対象に、新型コロナウイルスの感染拡大の「がん治療への影響について」調べた。

## 全入院患者にPCR検査



真井はこり（感染集団）

が、2割に上った。手術件数の減少の理由について、「感染が拡大する中で、患者の受診控えが目立っている」「コロナ患者を受け入れた影響で、一般診療を一部制限せざるを得なかった」などを挙げる病院が多かった。そのほか、「がん検診を一時中止した」「がん検診を受ける人が減っている」など、声もあつた。感染対策のために、入院患者の面会を制限する病院も多いが、病院がタラレタ末端を貸し出すなどしてオンライン面会を支援するケースもある。がんは時間とともに進行する。早期発見・早期治療が望ましいので、コロナ下でも自己判断で受診を抑制することは避けてほしい。

一覽表には、▽コロナ下の2020年と、その前の19年のがん手術件数（内視鏡治療含む）▽病室の公衆無線LAN「Wi-Fi」の有無▽オンライン面会の有無▽オンライン面会の支援の有無――を並べた。2年分の手術件数の回答があった全国219病院のうち、20年の手術件数が19年より10%以上減った病院が研究科の永野浩昭教授に「写真」を並べた。全国的な傾向と同じく、感染拡大の影響で同病院でも早期がんの手術件数は減りました。全国的な傾向と同じく、感染拡大の影響で同病院でも早期がんの手術件数は減りました。

## 病院の実力「がん拠点病院」

医療機関別治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	手術総件数		病室の面会対策	
	2020年(件)	2019年(件)	Wi-Fi環境の設置	オンライン面会支援
<b>広島県</b>				
福山市民	1456	1458	×	×
広島市立安佐市民	1397	1730	×	×
国・呉医療セ	1200	1217	×	×
J A尾道総合	1150	1412	×	×
県立広島	890	1027	○	×
市立三次中央	735	755	×	×
広島大	—	3086	×	×
J A広島総合	—	1031	×	×
<b>山口県</b>				
山口大	1482	1532	○	×
J CHO徳山中央	1127	1126	×	×
<b>福岡県</b>				
九州大	3351	3511	×	×
久留米大	2169	2221	○	×
産業医大	1543	1801	×	×
北九州市立医療セ	1476	1684	×	×
国・九州医療セ	1445	1596	×	×
国・九州がんセ	1322	1388	○	×
福岡大	1294	1360	×	×
浜の町	826	814	×	×
九州労災	574	590	×	×
大牟田市立	490	499	×	×
戸畑共立	370	421	○	○

「国・」は国立病院機構、「J CHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター、「—」は無回答または不明。※一部、2018年実績の施設も含む。

### 治らない進行大腸癌（肝転移）を 治せる時代になってきた！

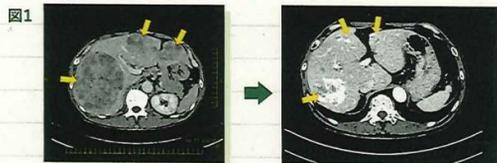
一集学的治療(化学療法・大腸切除・肝切除)の現状と可能性

進行大腸癌には局所進行大腸癌と転移性進行大腸癌があります。大腸癌は消化器癌の中では珍しく、ステロイド(遠隔転移がある状態)でも転移を切除すれば、完治が見込める癌種です。

大腸癌の肝転移には大腸癌と診断された時点からある同時性肝転移と、大腸癌切除後時間をおいて出てくる

異時性肝転移があります。ざっくり言うと、同時性肝転移は約15%、異時性肝転移は約10%、全体で約25%に肝転移が合併すると推定できます。

2020年4月から赴任された腫瘍内科医の井岡達也医師が化学療法を行い、我々下部消化管チームが大腸癌自体を、肝胆膵チームが肝転移を切除することで、ひと昔前なら切除不能



薬物療法前 (CT画像)

薬物療法後 (CT画像)

薬物療法が奏功し、その後の外科切除で転移性肝腫瘍を完全に切除することができました。

■ 山口大学大学院 医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 TEL.0836-22-2264 <http://www.yamadai-gesurgery.jp>

■ 山口大学医学部附属病院 腫瘍センター TEL.0836-22-2170 <http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/shuyou/index.html>



山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学 下部消化管グループ チーフ

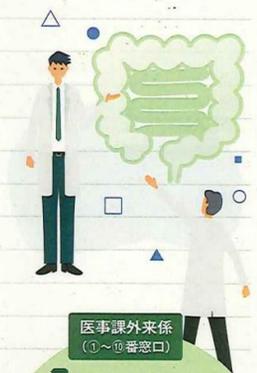
鈴木 伸明



と判断された症例でも積極的に切除を行っています(図1)。

一般的には異時性肝転移の方が予後良好で、当科でも永野浩昭教授赴任後の5年間で約60例の異時性肝転移切除を行っています。同時性肝転移に関しては、過去10年間で35例切除し、5年生存率は36%でした。つまり、5人中2人は発見時に肝転移があっても5年以上生きられるということになります。

たとえ転移がある状態で大腸癌と診断された方でも、患者さんファーストの精神で今後も大腸癌の高度先進医療に邁進する所存ですので、いつでも気軽にご相談下さい。



医事課外来係 (①~⑩番窓口)

0836-22-2068

受付時間 診療受付時間 / 午前 8:30~午前 11:00

診療開始時間 / 午前 8:30

休診日 土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12月29日~1月3日)

医師が不在の場合もあります。事前に診療科へお問い合わせ下さい。

山口大学医学部附属病院

〒755-8505 山口県宇部市南小1-1-1

TEL.0836-22-2111 (代表)

### 高齢者がん診療



山口県におけるがん罹患者のうち、65歳以上の高齢者が占める割合は79%(9.5千人/12千人;2018年)であり、今後その割合は増加することが予想されています。過去5年間に当科で施行したがん手術症例の年齢別割合をみてみると、65歳以上が6割を占めています(図1)。

【図1】 当科における年齢別がん手術件数の割合



高齢者は非高齢者に比べて、さまざまな合併症を抱えていることが多く、低栄養であり、心身機能(運動機能・臓器機能・認知機能など)が低下しています。そのため高齢者に対して、非高齢者と同じ標準治療を行うのが難しいケースも少なくありません。その一方で、高齢者には一人暮らしをされている方が多く、手術を受ける前に化学療法を受けてから、肝臓を半分切除する

らしをされていたり、運動や仕事を続けておられる元気な方もたくさんいらっしゃいます。つまり、高齢者ががん診療において、年齢だけで標準治療を行えるか否かを決定することはできないのです。

例えば、80歳の女性で胆管細胞癌の患者さんは、手術の前に化学療法を受けてから、肝臓を半分切除する

### オーダーメイド治療の 提供を目指しています



山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学 教授 永野 浩昭



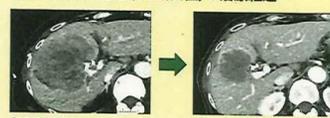
山口大学医学部附属病院 腫瘍センター 准教授 井岡 達也

手術を受けられて、現在、ご自宅でお元気にされておられます。(図2)

現在、山口大学消化器・腫瘍外科学講座では、手術を予定している65歳以上の消化器癌および乳癌の患者さんに対して、手術前後に高齢者機能評価とQOL(生活の質)評価を行

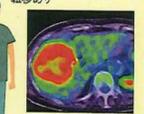
ています。それは、高齢者ががん診療では、根治だけでなく手術後長期的に日常生活ができることも重要な目標のひとつになるからです。そして、将来的に個々の患者さんにあつた最適な治療(オーダーメイド治療)が提供できることを目指して、山口県から日本に向けて発信していきたいと思っています。

【図2】 胆管細胞癌(80歳女性)の治療経過



初診時造影CT 右葉に87mm大腫瘍。肝十二指腸間膜内にリンパ節転移あり

治療後の造影CT 原発巣:87mm\*48mmに縮小リンパ節のサイズも縮小



治療前のPET-CT 肝右葉腫瘍:SUVmax 19.0 肝十二指腸間膜内リンパ節にもFDG集積あり

治療後のPET-CT 原発巣:SUVmax 19.0\*3.3に低下 肝十二指腸間膜内リンパ節のFDG集積消失

ご協力の程、何とぞよろしくお願い致します。

山口大学医学部附属病院

〒755-8505 山口県宇部市南小1-1-1 TEL.0836-22-2111 (代表)

広告特集 企画・制作 朝日エージェンシー西部

対談

外科医と腫瘍内科医が タッグを組んで挑戦する

「膵臓がん」の診療

難治性で手術難易度も高い 「膵臓がん」

近年、国内で急増している「膵臓がん」。がんの部位別罹患数で見れば上位5位に入らないが、部位別死亡数で見れば男性の4位、女性は3位、男女ともに4位と高位に入る。難治がんの一つだが、最近はやり低侵襲な外科手術と強力な抗がん剤を組み合わせた集学的な治療が相乗効果を示して、治療成績が向上している。今回は山口大学医学部附属病院腫瘍センターのセンター長で消化器外科医の永野浩昭氏と同副センター長で腫瘍内科医の井岡達也氏に、膵臓がん治療の集学的治療の現状についてお話をいただいた。



永野浩昭氏

ホルモンや酵素を分泌する機能があります。体幹部から腹部・臀部・膵臓部といふ、膵臓の周囲には動脈と重要な血管が数多く集中しているため、膵臓がんは非常に治療が難しく、手術難易度の高いがんとされます。

井岡 膵臓がんは早期では自覚症状に



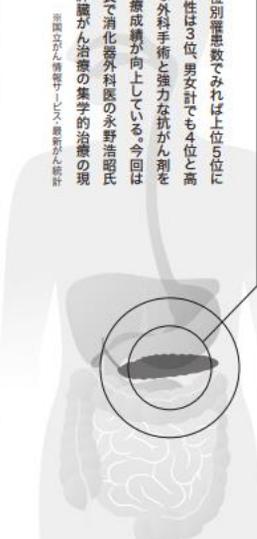
井岡達也氏

乏しく、診断されにくい病気で、また、膵臓がんは、隣接している重要な血管にがんが浸潤しやすいため、血管を通じて肝臓などに転移しやすい。症状が出た時は既に切除不能なステージⅣに進行している患者さんが多く、難治がんの一つといえます。

消化器外科と腫瘍内科、一体となって治療を推進

永野 膵臓がんは術後半年以内に再発したり転移したりする症例が多いので、これまでも術後化学療法(抗がん剤)が行

膵臓がん治療の集学的治療の現状



われてきました。また進行がんで見えなくなる病期が多いため手術(切除)困難なケースが多かったのですが、近年は手術前に化学療法を行い手術可能な状態に持ち込み、手術と術後化学療法で再発率を下げる治療へと大きく進歩しています。

井岡 手術前の画像診断の進歩や審査段階の導入により、外科切除により治療が期待できる患者さんがわかるようになってきました。私たちが、数種類の抗がん剤を同時に投与する強力な化学療法を手術前に投与し、膵臓がんを十分に叩いてから手術を行うようにしています。効果が高い抗がん剤は、副作用も強いのですが、近年、副作用を和らげる薬剤の開発も進み、嘔吐しなくなったり白血球数の低下を抑制したり、さらに患者さんごとの遺伝子レベルで事前に副作用の出やすさも解るようになりました。

私たちが、個々の患者さんの病気の進行度や体調に合わせて、抗がん剤の量や期間を決定しています。膵臓がんの外科手術は、膵臓部で約7〜9時間、膵体尾部にいっては腹腔鏡下手術が可能になったとはいえ4時間半も要する難手術です。化学療法の副作用で体力が低下し、外科手術に耐えられなくなることがないよう、化学療法を行っている間も、手術に臨む気力や体力を維持するにも、手術に臨む重要な仕事です。

永野 昨年4月に井岡先生が着任されたことで腫瘍内科医と外科医の高度な連携が可能になり、どの段階でどのような手術や化学療法を行うか、非常に専門性の高い治療方針を安心して組み立てることができています。

治療成績も確実に向上していますが、生存率が向上するということは術後の外科化学療法が増えることでもあります。そこで県下2カ所、大学病院と連携して治療継続できる病期の体制を整備するなど新たな病診連携も進めています。

豊富な経験とハイレベルな集学的治療で臨む最新治療

井岡 難治がんの治療には、様々な治療の良い部分を集結させることが重要です。山口大学では、消化器外科医と腫瘍内科医が相互信頼に基づいてチーム治療をおこな

つており、十分な議論やコミュニケーションの上で、最適な治療方針を患者さんに提案しています。一方で、病状の変化に臨機応変に対応できる柔軟さを併せ持ち、常に患者さんにとって最高の医療を目指しています。

膵臓がんの早期発見は難しいですが、私の前職、大阪国際がんセンターにて取り組んできたミルクルーをいっている膵臓がんのCT検査を開発病院で行っています。

永野 ハイリスクなのは膵臓病や急性膵炎の病歴がある方、膵管が太い方や膵臓癌がある方です。膵臓病では膵糖が急に悪化した場合は膵臓がんが疑われますので注意してください。

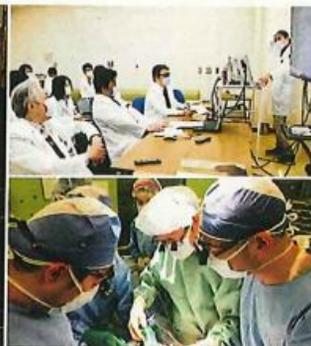
膵臓がん治療は専門性、難易度が高く全くは難しいので、経験豊富な専門医がいる医療施設で受診していただきたいです。医療全体の中でも、がん治療は重要な化・拠点化を図って最新治療を行うのが望ましいと考えます。今は一つの疾患に対する治療科に、診療科に隣接なく連携して臨む集学的治療の時代です。

Grid of medical advertisements for various hospitals including Fujimoto Clinic, Onoda Red Cross Hospital, Yamamoto Clinic, Kaneda Hospital, Sagami University Hospital, and others.

全国の医局情報をピックアップ!

MEDICAL OFFICE

医局紹介



## 山口大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科

最先端の医療と医学を世界に向けて発信する

永野 浩昭 教授

【医局紹介】 当講座は、1951年7月、山口大学外科学講座が第一講座と第二講座の2講座制になった際に、外科学第二講座（旧）として開講し、2015年3月より現在の6代目永野浩昭教授が教室を主宰しています。開講以来、現在に至るまで山口県の消化器外科、乳腺・内分泌外科の中核として、この地域の外科診療を担っています。当科は伝統的に医局員のチームワーク重視の風潮があり、花見、納涼会、忘年会などの親睦会、ゴルフコンペ、医局旅行などのイベントが定期的に開催されており（最近はコロナ禍で自粛中です）、医局内での交流が盛んなことが特徴です。

【教育】 臨床外科学講座の社会責務は、最先端医療の供給と未来医療の開発を行いつつ、明日の医療を支える未来の外科医を育てることと考え、卒前・卒後教育を行っています。当科の専門研修プログラムでは、入局した専攻医は原則3年間のうち、1年間を当科で、残る2年間を関連施設で、外科指導医の下、専門医取得に向けた外科研修を積んでいきます。また、専門医取得に必要な臨床経験や業績作成をサポートする専門医育成会議を毎年開催しており、外科学会専門医取得に向けてバックアップしています。当科は、日本外科学会、日本消化器外科学会の専門医修練施設に加え、肝胆膵外科高度技能専門医修練施設（A）に認定されており、また、食道外科専門医、内視鏡外科技術認定医、肝胆膵高度技能医、乳がん専門医、がん薬物療法専門医など各領域の専門医、指導医が在籍しているため、外科、化学療法に関する幅広い領域の専門医研修が可能です。

【診療】 当科では消化器がん、および乳腺がんをはじめとする悪性腫瘍を中心に、胆石やヘルニアなどの良性疾患、腹部救急疾患などを対象に診療に当たっています。上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺内分泌の4グループからなるチーム診療制での専門診療が特徴です。上部・下部消化管は鏡視下手術率が高く、食道がん、胃がん、大腸がんの手術は9割程度が鏡視下手術となっています。肝胆膵領域では鏡視下手術に加え、高度進行肝胆膵領域がんに対する拡大切除を基軸とした集学的治療に積極的に取り組んでおり、肝不全治療としての生体部分肝移植も施行しています。乳がんでは放射線科と共同開発した3D-CTリンフォグラフィを用いたセンチネルリンパ節生検などを駆使して、乳房温存療法など整容的にも満足できる手術を実践しています。

【研究】 当科では、がん診療における問題点を基礎的研究からのアプローチで解決することは、外科学講座の社会的使命であるとの考えの下、がんの基礎的研究を進めています。現在はがん細胞が免疫細胞の攻撃をかくぐる免疫逃避機構の研究や、がんの転移に関わるがん幹細胞の研究など最先端のがん研究を行っています。特に高度進行がん患者さんに対して、当科で開発したペプチドワクチンを投与する免疫療法は現在、臨床試験として患者さんに投与され、効果を検証中です。また抗がん剤の副作用を予測する遺伝子多型による高精度毒性予測チップの開発・製品化をしており、実際に患者さんに臨床応用できるトランスレーショナルリサーチを展開しています。文責：飯田 通久（医局長）

### HOSPITAL DATA

山口大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1  
問い合わせ ▶ [miida@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:miida@yamaguchi-u.ac.jp)  
HPにはこちらの2次元コードから ▶



医局員	31人
指導医	12人
専攻医	4人



**巻頭特集**

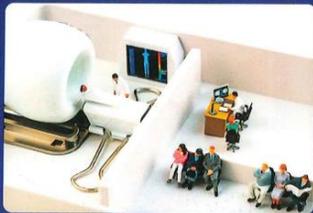
低侵襲手術で難症例に立ち向かう名医たち  
**肝胆膵・心疾患、大動脈疾患・  
 消化器内視鏡の名医** インタビュー

- 究極の低侵襲手術 **NOTES**
- 目覚ましい成果をあげる **放射線治療**
- コロナ禍で力を発揮 **コールドクター**
- 自宅で血液透析のできる社会を  
**在宅血液透析**

徹底独自調査! シリーズ最多  
**脳・心臓・がん・放射線の  
 名医695人**

全25疾患・治療別/名医による  
 解説付き 最新治療実績ランキング  
**7998病院** 一挙掲載

医療新聞社



**最新治療データで探す  
 あなたの街の頼れる病院が見つかる!**

# 名医のいる病院

**2022**

## 最新治療データで探す 名医のいる病院 2022



医療新聞社

### 肝 胆膵がんの名医

永野 浩昭	山口大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科	肝胆膵外科手術・ 肝移植	早期がんに対する腹腔鏡下肝切除、進行がん に対する血管合併肝胆膵領域がん切除、さら には肝移植。
	山口県宇部市		
最終学歴	—	セカンド オピニオン	—
井岡 達也	山口大学医学部附属病院 腫瘍センター	膵がん、胆管が ん、化学療法、集 学的治療	豊富な経験をもとに、内科と外科治療の良い 部分を組み合わせて最新の治療に取り組ん でいます。
	山口県宇部市		
最終学歴	日本大学医学部	セカンド オピニオン	○

# Clinical and research conference

2021.2.13 - winter

時間	全体進行係：飯田通久 先生
7:30-7:33	教授挨拶 永野浩昭 教授
7:33-8:23	1. 各診療グループ報告 司会：鈴木伸明 先生
	上部消化管グループ 武田 茂 先生
	下部消化管グループ 鈴木伸明 先生
	肝胆膵グループ 徳光幸生 先生
	乳腺・内分泌グループ 前田訓子 先生
	腫瘍センター 井岡達也 先生
8:23-17:22	1. 研究者発表会議 2020年 研究総括： 裕 彰一 先生 午前司会： 武田 茂 先生 午後司会： 鈴木伸明 先生
中上裕有樹	Histopathological and immunological tumor responses and features of a novel neoadjuvant peptide vaccine, CYT001
徳久晃弘	Analysis of pancreatic cancer stem-like cells
古谷 圭	Search for biomarkers of colon cancer chemo-immunotherapy and future plan
千々松日香里	Search for biomarkers of colorectal cancer chemotherapy by comprehensive protein analysis of serum samples
兼定 航	Prediction of adverse events of triplet chemotherapy (FOLFIRINOX therapy and FOLFOXIRI therapy) by genetic polymorphisms for precision medicine
鄭 桓宇	Examination of the role of phosphorylation of Paxillin in cancer metastatic ability
木村祐太	Evasion from immune surveillance in cancer stem-like cells derived from a hepatoma cell line
山本常則	Quest for novel immune suppressive factors extrapolating from tumor microenvironment beyond Immunoscore and peripheral immune status of colorectal cancer
藤原康弘	Pancreatic cancer stem-like cells with high calreticulin expression can evade immune surveillance
鈴木伸明	Analysis about risk factors of anastomotic leakage after low anterior resection for rectal cancer
近藤潤也	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer
佐藤陽子	Multicenter prospective study of dedicated breast positron emission tomography for breast cancer
徐 明	Overexpression of miRNAs in the cancer is associated with malignant potential in colorectal cancer.
山田健介	Research report and future plan
中島千代	Relationship between postoperative infectious complications and non-cancer specific survival outcomes
中島正夫	Overcoming therapeutic resistance of αPD-1ab against solid tumor through combined novel peptide-vaccination and αPD-1ab
藤本拓也	Research report and future plan
西山光郎	Usefulness of prophylactic minitracheostomy and broad spectrum antibiotic after esophagectomy
松隈 聡	Phase II study of adjuvant chemotherapy with capecitabine for patients with biliary tract cancer who underwent major hepatectomy (KHBO2101)
松井洋人	Development of novel risk prediction system for postoperative pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy
新藤芳太郎	Hepatic artery resection and reconstruction using right gastroepiploic artery in pancreaticoduodenectomy for pancreatic cancer.
徳光幸生	Novel laparoscopic approaches as the total biopsy methods for suspected gallbladder cancer
渡邊裕策	Quality of life survey by reconstruction route after esophagectomy
友近 忍	TCR Sequencing of Advanced Colorectal Cancer Patients Receiving anti-EGFR
前田訓子	Preoperative diagnosis of SLN metastasis using CT-lymphography
吉田 晋	Impact of sarcopenia and intramuscular adipose for chemotherapy in colorectal cancer
飯田通久	Area under the CRP curve (AUCrP) may be a reliable indicator of survival after radical gastrectomy
恒富亮一	Cancer stem-like sphere cells from HCC cell lines & genome wide analysis for clinical application.
武田 茂	Efficacy of intraoperative recurrent laryngeal nerve monitoring during surgery for esophageal cancer
太田啓介	Future plan
関矢まり	Mechanisms of gemcitabine resistance in bile duct cancer cells: Relation with the cancer stem-like phenotype acquisition
酒井豊吾	Future plan
尤 曉琳	Future plan
17:22-18:02	4. 総括 永野浩昭 教授 「着任後5年間（研究）と今後の展望」

# 研究者発表会議

2021.7.17 - summer

時間	全体進行係：飯田通久 先生
8:30~8:33 開会の言葉	永野浩昭 教授
8:33~16:02 1. 研究者発表会議	司会：武田 茂先生(前半)、鈴木伸明先生(後半)
鍋屋まり	Retrospective study on clinical characteristics and treatment patterns of elderly breast cancer patients
太田啓介	Anti-tumor efficacy of CAR-T cells against cancer organoids.
新藤芳太郎	Second-line therapy after Gemcitabine, Cisplatin plus S-1 (GCS) for Patients with Advanced Biliary Tract Cancer (KHBO1401-3A)
徳久晃弘	Analysis of pancreatic cancer stem-like cells
古谷 圭	Search for biomarkers of colorectal cancer chemotherapy
徳光幸生	①Cystic plate isolation for hepatobiliary surgery ②Delirium in elderly patients ③Lap resection for S7/8 HCC ④LAGBY study
中上裕有樹	①Histopathological and mass cytometry analyses of hepatocellular carcinoma after administration of a novel neoadjuvant peptide vaccine, CYT001. ②CD4 and FOXP3 are the predictive marker combination for the recurrence of T3/T4a stage II colorectal cancer: Applying novel discrete Bayes decision rule.
恒富亮一	Cancer stem-like sphere cells from HCC cell lines & genome wide analysis for clinical application.
吉田 晋	Efforts for Surgical Education in Yamaguchi University
飯田通久	Risk factors for non-Gastric Cancer related death in elderly gastric cancer patients undergoing gastrectomy
武田 茂	Efficacy of nutrition intervention combined neoadjuvant chemotherapy for Esophageal Cancer
鈴木伸明	Analysis of perioperative factors of 80 years old or older colorectal cancer patients versus non-elderly.
千々松日香里	Search for biomarkers of colorectal cancer chemotherapy by comprehensive protein analysis of serum samples ①Prediction of adverse events of triplet chemotherapy (FOLFIRINOX therapy and FOLFOXIRI therapy) by genetic polymorphisms for precision medicine ②Examination of intraluminal exfoliated malignant cells in colon cancer (New clinical research)
兼定 航	Examination of the role of phosphorylation of Paxillin in cancer metastatic ability
鄭 桓宇	Evasion from immune surveillance in cancer stem-like cells derived from a hepatoma cell line
木村祐太	Quest for novel immune suppressive factors extrapolating from tumor microenvironment beyond Immunoscore and peripheral immune status of colorectal cancer
山本常則	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer
近藤潤也	Multicenter cohort study of elderly breast cancer patients in Yamaguchi
前田訓子	Pancreatic cancer stem-like cells with high calreticulin expression can evade immune surveillance.
藤原康弘	Multicenter prospective study of dedicated breast positron emission tomography for breast cancer
佐藤陽子	Overexpression of miRNAs in the cancer is associated with malignant potential in colorectal cancer.
徐 明	Preliminary analysis of neoadjuvant FOLFOXIRI for locally advanced rectal cancer and liver metastasis of colon cancer.
山田健介	Relationship between postoperative infectious complications and non-cancer specific survival outcomes
中島千代	Overcoming therapeutic resistance of aPD-1ab against solid tumor through combined novel peptide-vaccination and aPD-1ab
中島正夫	Usefulness of prophylactic minitracheostomy and broad spectrum antibiotic after esophagectomy
西山光郎	Portal vein thrombosis after laparoscopic liver resection
松隈 聡	Development of novel risk prediction system for postoperative pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy
松井洋人	Assessment of perioperative esophageal cancer patients' body composition using bioelectrical impedance analysis
渡邊裕策	Efficacy of sprayable absorbable adhesion barrier system (Adspray®) for temporary ileostomy and spraying on the abdominal wall after closure: A prospective observational study
友近 忍	
16:02-16:42 2. 総括	永野浩昭 教授 「着任後5年間（臨床）と今後の展望」

# 学位取得者報告

## 藤本拓也 平成20年卒



この度、令和3年2月に学位を取得させていただきました藤本拓也です。私の研究テーマは、各種固形癌に高発現していることがいわれているCathepsin Bというタンパク質が膵癌細胞に比べ膵癌幹細胞様細胞に高発現していること、また、切除標本の癌浸潤部におけるCathepsin B発現が予後と関連していることを明らかにしたものです。本研究が今後の癌幹細胞研究の発展および膵癌治療ターゲット研究発展の一助となれば幸いです。

学位をいただいた今、大学院生の期間を通じて自分で何か成しえたという感覚は全くありません。何もわからない状態で研究がスタートし、細胞の世話、実験手技の獲得、結果の評価、論文作成、投稿にいたるすべての行程で常にたくさんの人に支えられた結果だからです。足の裏に米粒がべったりついていても全く平気で過ごしていける性格の私を最後まで見捨てずにご指導・御指南いただいた永野教授をはじめ、論文作成において多大なご指導いただいた恒富先生、行き詰まった際にも鼓舞激励いただいた松隈先生、いつも気軽にご相談させていただいた裕先生、遠く昭和大学からアドバイスをいただいた吉村先生、同系列の研究テーマを頑張った藤原先生、いつも細胞のお世話をしてくれた佐野さんをはじめ研究助手の方々、感謝しきれません。本当にありがとうございました。

## 山田健介 平成22年卒



私の研究は、治癒切除大腸癌における腫瘍浸潤リンパ球と予後に関するものです。この分野では、当教室で行われてきたJeromeらとの国際コンソーシアムImmunoscoreが、非常に有名です。本研究では、これに続くさらなるバイオマーカーとして、CD3、CD8に加えて、CD4 およびFOXP3 陽性T細胞の腫瘍内浸潤が大腸癌患者の予後に与える意義を検討しました。近年、免疫チェックポイント阻害薬の出現で、免疫療法がより身近なものになっています。本研究も大腸癌免疫の理解と新規治療開発の一助となればと考えています。

本テーマを与えていただき実験から論文執筆にわたりご指導いただいた裕先生、永野先生に深謝申し上げます。そして、右も左もわからない私をととても親切に手伝っていただいた藤原さん、中上さん、竹之内さんをはじめ研究助手のみなさん、本当に感謝しています。また、ベッドフリー期間中に臨床を支えてくださった医局員の先生方、本当にありがとうございました。

# 新入局者あいさつ

## 兼定 弦 平成27年卒



令和3年度入局の兼定弦と申します。平成27年に山口大学を卒業し、愛媛県の市立宇和島病院で2年間の初期研修、同院で2年間の外科後期研修、その後、四国がんセンターで2年間の外科レジデントの修練を行いました。令和3年度より山口大学消化器腫瘍外科学講座に入局させていただきました。令和3年は宇部興産中央病院で勤務し、本年4月より山口大学医学部附属病院集中治療部に勤務させていただいております。集中治療部に専従して学ぶ機会が今までなかったため、今後の診療に活かせるよう取り組む所存です。外科医としては、手術技術向上のため一つ一つの手技に意味を持たせ、患者さんにベストな治療を提供できるよう綿密な手術プランを練るよう努めてまいります。まだまだ未熟な点もありご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 金城尚樹 平成31年卒



はじめまして。令和3年度に入局させていただきました金城尚樹と申します。私は平成31年に山口大学医学部を卒業し、関門医療センターで2年間の研修を行った後、1年間大学勤務し、現在宇部興産中央病院で勤務しております。山口大学第二外科に入局しようと思ったきっかけは、学生実習の際に見た先生方の仕事ぶりでした。その姿にはまだまだ道のりは遠いですが、今後とも精進していきたいと思っております。今年の4月からは宇部興産中央病院での勤務ですが、初めての事に戸惑いつつ修練に励んでおります。この病院に来させていただいたからには手術はもちろん周術期管理や薬物療法など様々な事を学び成長していきたいと思っております。そして来年以降も多くの事を経験し学び、いつかは山口県の消化器外科、ひいては山口県の医療に貢献出来ましたら幸甚です。ご迷惑をおかけすることも多いとは思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。申し上げます。

# 在籍教室員

(2021年12月31日時点)

## 教授・診療科長

氏名：永野浩昭（岡山大学医学部 昭和61年卒）  
専門：消化器外科、肝胆膵外科、移植外科

## 共同研究講座教授（先端がん治療開発学）

氏名：裕 彰一（山口大学医学部 昭和61年卒）  
専門：先端医療開発、免疫療法

## 准教授（腫瘍センター）

氏名：井岡達也（日本大学医学部 平成2年卒）  
専門：化学療法、集学的治療

## 診療准教授・副科長

氏名：武田 茂（山口大学医学部 平成3年卒）  
専門：上部消化管外科、食道外科

## 講師・病棟医長

氏名：鈴木伸明（愛媛大学医学部 平成7年卒）  
専門：下部消化管外科

## 講師

氏名：恒富亮一（山口大学農学部 平成16年卒）  
専門：癌の分子生物学

## 助教・医局長

氏名：飯田通久（山口大学医学部 平成11年卒）  
専門：上部消化管外科、胃外科

## 助教・外来医長

氏名：吉田 晋（山口大学医学部 平成11年卒）  
専門：下部消化管外科

## 助教

氏名：前田訓子（島根大学医学部 平成12年卒）  
専門：乳腺・内分泌外科

## 助教（手術部）

氏名：友近 忍（山口大学医学部 平成13年卒）  
専門：下部消化管外科

## 助教

氏名：渡邊裕策（山口大学医学部 平成15年卒）  
専門：上部消化管外科、食道外科

## 助教

氏名：徳光幸生（宮崎医科大学医学部 平成16年卒）  
専門：肝胆膵外科

## 助教

氏名：新藤芳太郎（山口大学医学部 平成16年卒）  
専門：肝胆膵外科

## 助教

氏名：松井洋人（山口大学医学部 平成17年卒）  
専門：肝胆膵外科

## 助教

氏名：松隈 聰（山口大学医学部 平成17年卒）  
専門：肝胆膵外科

## 助教（集中治療部）

氏名：小佐々貴博（山口大学医学部 平成27年卒）

## 学術研究員

氏名：徐 明（中国 大連医科大学 平成15年卒）

## 学術研究員

氏名：中上裕有樹  
（米国 ウェスタンミシガン大学 平成25年卒）

### **診療助教**

氏名：西山光郎（長崎大学医学部 平成19年卒）  
専門：上部消化管外科、食道外科

### **診療助教**

氏名：中島正夫（山口大学医学部 平成21年卒）  
専門：肝胆膵外科

### **診療助教**

氏名：中島千代（山口大学医学部 平成22年卒）  
専門：上部消化管外科、胃外科

### **診療助教**

氏名：山田健介（山口大学医学部 平成22年卒）  
専門：腫瘍内科

### **診療助教**

氏名：藤原康弘（山口大学医学部 平成22年卒）

### **診療助教**

氏名：鍋屋まり（山口大学医学部 平成26年卒）

### **診療助教**

氏名：渡邊孝啓（山口大学医学部 平成26年卒）

### **診療助教**

氏名：金城尚樹（山口大学医学部 令和元年卒）

### **大学院生**

氏名：山本常則（山口大学医学部 平成22年卒）

### **大学院生**

氏名：木村祐太（鹿児島大学医学部 平成22年卒）

### **大学院生**

氏名：太田啓介（山口大学医学部 平成25年卒）

### **大学院生**

氏名：兼定 航（山口大学医学部 平成25年卒）

### **大学院生**

氏名：徳久晃弘（山口大学医学部 平成25年卒）

### **大学院生**

氏名：古谷 圭（山口大学医学部 平成25年卒）

### **大学院生**

氏名：鄭 桓宇（中国遼寧何氏医学院 平成26年卒）

# 学会専門医、指導医、役員リスト

(2021年12月31日時点)

## 日本外科学会

### 専門医：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、前田訓子、友近 忍、渡邊裕策、徳光幸生  
新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、西山光郎、中島正夫、山田健介、中島千代、山本常則、徳久晃弘、太田啓介

### 指導医：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、渡邊裕策、新藤芳太郎

### 代議員：

永野浩昭、武田 茂

## 日本消化器外科学会

### 専門医：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、友近 忍、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡  
西山光郎、中島正夫、山田健介、中島千代、山本常則、山田健介、徳久晃弘

### 指導医：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎

### 理事・評議員：

永野浩昭

## 日本消化器病学会

### 専門医・指導医：

永野浩昭、井岡達也

### 財団評議員：

永野浩昭

### 学会評議員：

井岡達也

## 日本癌治療学会

### 臨床試験登録医：

永野浩昭

### 理事・代議員：

永野浩昭

## 日本癌学会

### 評議員：

永野浩昭、恒富亮一

## 日本臨床外科学会

### 評議員：

永野浩昭、武田 茂

## 日本内視鏡外科学会

### 技術認定医：

武田 茂 (食道)、飯田通久 (胃)、徳光幸生 (肝臓)

### 評議員：

永野浩昭

## **日本胃癌学会**

代議員：

永野浩昭、武田 茂、飯田通久

## **日本食道学会**

認定医：

武田 茂、西山光郎

専門医：

武田 茂

評議員：

永野浩昭、武田 茂

## **日本肝胆膵外科学会**

高度技能指導医・理事・評議員：

永野浩昭

評議員：

徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人

松隈 聡、中島正夫

## **日本肝臓学会**

専門医：

徳光幸生、松隈 聡

指導医・専門医：

永野浩昭

評議員：

永野浩昭

## **日本胆道学会**

指導医・評議員：

永野浩昭、井岡達也

## **日本膵臓学会**

指導医・評議員：

永野浩昭、井岡達也

## **日本乳癌学会**

認定医・専門医：

前田訓子

## **日本腹部救急医学会**

腹部救急認定医：

徳光幸生、徳久晃弘

評議員：

永野浩昭

## **日本外科感染症学会**

Infection Control Doctor

外科周術期感染管理認定医

評議員：

武田 茂、松隈 聡

## **日本臨床腫瘍学会**

がん薬物療法専門医・指導医・協議員：

井岡達也

がん薬物療法専門医：

松井洋人

## **日本がん治療認定医機構**

認定医：

永野浩昭、井岡達也、武田 茂、前田訓子

渡邊裕策、徳光幸生、松隈 聡、西山光郎

中島千代、山本常則

## **日本消化器内視鏡学会**

消化器内視鏡専門医・指導医：

井岡達也

## **日本消化器がん検診学会**

代議員・認定医（肝胆膵）・指導医：

井岡達也

## **日本腫瘍循環器学会**

評議員：

井岡達也

# 2021年 年間行事



青海島 長門市

月	医局行事・他	学会	研究会・セミナーなど
1	新年互礼会 Clinical & Research Conference 第2回CCST (Clinical Cadaver Surgical Training)		山口食道癌研究会 第29回日本癌病態治療研究会 第96回大腸癌研究会 第8回日本神経内分泌腫瘍研究会学術集会
2	外科専門医育成会議	第32回日本肝胆膵外科学会学術集会	
3	送別会	第93回日本胃癌学会総会 第33回日本内視鏡外科学会総会	山口県胃癌リモート講演会
4		第121回日本外科学会定期学術集会 第107回日本消化器病学会総会	山口乳癌研究会
5	青山会 (WEB配信)	第18回日本免疫治療学会学術集会	Breast Cancer Web Symposium in Yamaguchi 山口消化管セミナー 第43回日本癌局所療法研究会 第75回手術手技研究会 第42回癌免疫外科研究会
6		第33回日本肝胆膵外科学会学術集会 第57回日本肝臓学会総会 第39回日本肝移植学会学術集会	高齢者がん診療講演会 in Yamaguchi 第26回Cancer Forum in Yamaguchi 第30回日本癌病態治療研究会
7	研究者発表会議 医局納涼会	第92回胃癌学会総会 第29回日本乳癌学会学術総会 第25回日本がん免疫学会総会 第76回日本消化器外科学会総会 第30回日本がん転移学会学術集会	Cancer Total Management Seminar in Yamaguchi irAE Management WEB Seminar in Yamaguchi 第9回 山口膵・胆道疾患研究会 第95回大腸癌研究会 第57回日本肝癌研究会
8		第120回日本外科学会総会 第56回日本肝臓学会総会 第47回日本膵切研究会	YAMAGUCHI CRC Seminar 第48回日本膵切研究会
9		第96回中国四国外科学会総会 第57回日本移植学会総会 第80回日本癌学会学術総会	がん悪液質治療セミナー
10		第57回胆道学会総会 第58回外科代謝栄養学会学術集会 第4回日本腫瘍循環器学会学術集会 第59回日本癌治療学会学術集会 第29回日本消化器関連学会週間	JB・消化器外科WEBセミナー 第21回山口消化器病態研究会
11		第76回日本大腸肛門病学会学術集会 第83回日本臨床外科学会総会	山口大腸癌治療Up date on line 第10回 山口膵・胆道疾患研究会 Gastric Cancer Expert Meeting in Yamaguchi irAE Management WEB Seminar in Yamaguchi
12	忘年会	第34回日本内視鏡外科学会総会 第34回日本バイオセラピー学会学術集会 第34回日本外科感染症学会総会学術集会	第5回 山口消化管内視鏡外科研究会 KHBO Oncology Seminar 山口消化器・感染症フォーラム 大腸癌病診連携講演会 in Yamaguchi

# 1月 互例会



永野浩昭教授から新年のご訓示後に、各班のチーフの先生よりご挨拶いただきました。



武田 先生  
(上部消化管)



鈴木 先生  
(下部消化管)



前田 先生  
(乳腺・内分泌)



井岡 先生  
(抗癌剤治療担当)



裕 先生  
(研究担当)

## 1月 Clinical & Research conference



新年、新たな気持ちで今年の目標・抱負を表明！  
永野教授から着任後5年間の総括と各々から研究発表を行いました。



徳光先生より肝胆脾班の臨床報告

## 1月 第2回CCST (Clinical Cadaver Surgical Training)



永野教授



篠田教授  
(神経解剖学講座)



吉田先生



上部班渡邊先生（左）、下部班友近先生(右)の熱血指導の下、  
研修医・医学生が主体性を持って有意義な実習を行いました！



医師・学生ともに勉強になりました。お疲れ様でした。

3月

学位取得（藤本先生、山田先生）  
食道外科専門医取得（西山先生）



藤本先生、山田先生学位取得おめでとうございます。



西山先生おめでとうございます。

## 3月 送別会



藤本先生⇒済生会豊浦病院



山本先生⇒セントヒル病院



千々松先生⇒阿知須共立病院



酒井先生⇒徳山中央病院



尤先生⇒下関医療センター



新天地でのご活躍とご健勝を祈念いたします。

## 4月 新体制発足



セントヒル病院より  
藤原先生が赴任されました



新入局員の小佐々先生



新入局員の金城先生

## 5月 青山会総会（WEB配信）



コロナ禍のため青山会初のWEB配信による開催



会長の水田先生



永野先生と三井先生



運営本部



新藤先生が青山会賞を受賞されました。

**5月** 第42回癌免疫外科研究会（主催）



当番世話人の永野教授のご挨拶  
多数な著名な先生方にご参加して頂きました。



山口大学 岡 正朗 先生



岡山大学 藤原 俊義 先生



神奈川県立がんセンター 上野 誠 先生



東海大学 森 正樹 先生

# 5月 第42回癌免疫外科研究会（主催）



司会：北川 雄光

慶応義塾大学 北川 雄光 先生



基演者：辻 晃仁

香川大学 辻 晃仁 先生



和歌山県立医科大学 山下 裕機 先生



富山大学 藤井 努 先生



横山市立大学 遠藤 格 先生



金沢大学 宮下 知治 先生



松井先生の発表



皆様のおかげで盛大に開催できました。

## 7月 医局納涼会



井岡先生による乾杯！！



暑い夏を今年も乗り切ろう！



みんな日々の疲れを忘れるぐらい飲みました！！



永野教授もご満悦でした！

# 12月 忘年会



永野教授のご挨拶



司会進行をする太田先生



鈴木先生！！  
飲みますか？飲まれますか？

いやけ



今年もよく頑張りました。



美女に囲まれる武田先生！  
ややにやけ気味ですか？(笑)



病棟ではなかなかみれない！？  
優しい表情の新藤先生



## 各講演会

10月 JB・消化器外科WEBセミナー

特別講演:「膵癌の根治を目指した集学的治療戦略」  
演者:江口 英利 先生 (大阪大学消化器外科学 教授)



江口 英利 先生

10月 山口消化器病態研究会

特別講演:「肝切除と肝移植の適応拡大」  
演者:波多野 悦朗 先生 (京都大学肝胆膵移・植消化器外科 教授  
兼 兵庫医科大学消化器外科学講座・肝胆膵外科 主任教授)



波多野 悦朗 先生

## 各講演会

10月 第10回山口膵・胆道疾患研究会

特別講演：「膵癌外科の進歩—臓器温存膵切除」

演者：堀口 明彦先生 (藤田医科大学医学部 消化器外科講座 主任教授)



堀口 明彦先生

12月 山口消化器・感染症フォーラム

特別講演：「膵癌治療および膵切除に関する新たな話題」

演者：庄 雅之先生 (奈良県立医科大学消化器・総合外科学教室 教授)



庄 雅之先生

## 各講演会

12月 第5回山口消化管内視鏡外科研究会

特別講演1：「Embryological plane を大切にした  
結腸癌に対する腹腔鏡下手術と内視鏡外科学という研究」

演者：恵木 浩之先生 (愛媛大学消化器腫瘍外科 准教授)

特別講演2：「EBMとしての鏡視下胃切除とその先」

演者：市川 大輔先生 (山梨大学医学部外科学講座第一教室 教授)



恵木 浩之先生、市川 大輔先生

多数の著名な先生方に大変貴重なご講演をして頂きました。  
大変お忙しい中、誠にありがとうございました。  
今後とも何卒よろしくお願いいたします。

今年も新型コロナウイルス感染拡大のため、例年開催していた下記の各イベントは残念ながら中止となりました。

5月：医局説明会

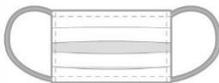
7月：医局旅行

8月：消化器外科学会 現地同門会

各学会、研究会はリモート開催もしくは中止となりました。

## 新型コロナウイルス 対策中

当院は患者様とスタッフの健康を守るため  
ウイルスに対する安全策を積極的に行っております

 <p>スタッフの マスク着用</p>	 <p>手洗いの徹底</p>
 <p>院内の除菌消毒</p>	 <p>定期的な換気</p>

感染しない・感染させない  
一人一人の心がけが世界を救います

新型コロナウイルス感染拡大が1日でも早く収束に向かい再びイベント開催を行えることを願っています。

## 編集後記

2021年も、「新型コロナウイルス」の影響を大きく受けた1年間であった。研究会や学会出張はめっきりなくなり、Web参加が当たり前になった。マイク付きのヘッドホンなど使ったこともなかったが、今では職場と自宅に2つ常備している。学会の発表スライドは事前にビデオ収録してWeb登録することが圧倒的に多くなった。収録された自分の声を聴いていると活舌の悪さに気分が悪くなり、思わず何回も収録し直してしまう。数年前では考えられなかった光景である。

コロナで生活スタイルは大きく変わったが、消化器外科領域も大きく変わりつつある。年々消化器外科領域のロボット支援手術の保険適用が拡大されてきているが、すでに適用となっている胃、食道、直腸、膵切除術に加え、今年度からさらに肝切除、結腸切除も適用が拡大され、さらにロボット支援胃切除は増点にもなっている。当科でもロボット支援手術症例は増加の一途であり、確実に大きな波がここまで迫ってきているといえる。今まではどこか夢物語というか、なんだか他人事のように思っていたが、ロボット手術が普及すれば5Gによる遠隔手術が通常診療として行われる日も近いのだろうか。実験段階ではあるが、すでに専用の高速回線を用いて30km離れた施設間では成功していると聞く技術ではある。

このような遠隔手術のメリットのうちのひとつに、医療格差の解消というのがあげられている。多くの報道では「都会の病院の技術を地方の病院へ」届けることが可能となる、という説明がなされている。しかし、大都会と地方とを結ぶ専用回線が出来るのは、いつのことになるだろうか。一方で山口県は、県内どの地域でも一定程度の都市型サービスが受けられる反面、他県との地域間競争を勝ち抜くための力が弱い、分散型の都市構造になっている。私は、長距離を隔てた大都会と地方を結ぶ遠隔技術よりも、山口県のような分散型の各地域同士を中距離の高速専用回線でつなぐ5G技術の方が早期実現可能で、県の医療水準向上と外科医師不足に貢献するのでは！と妄想してしまう（あくまで妄想です）。そんな、デメリットをメリットに変えるような、発想の転換をもって、山口県にフィットしたSociety 5.0が実現すればよいな、なんて思います。

令和4年5月

徳光 幸生



周南市立徳山駅前図書館（周南市）

**山口大学大学院医学系研究科**  
**消化器・腫瘍外科学 教室年報：2021**

令和4年5月発行

発行 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

---

編集責任者 徳光幸生

編集委員 中島正夫 徳久晃弘 鈴木有十夢

TEL : 0836-22-2264

FAX : 0836-22-2263

ホームページ : <http://www.yamadai-gesurgery.jp/>